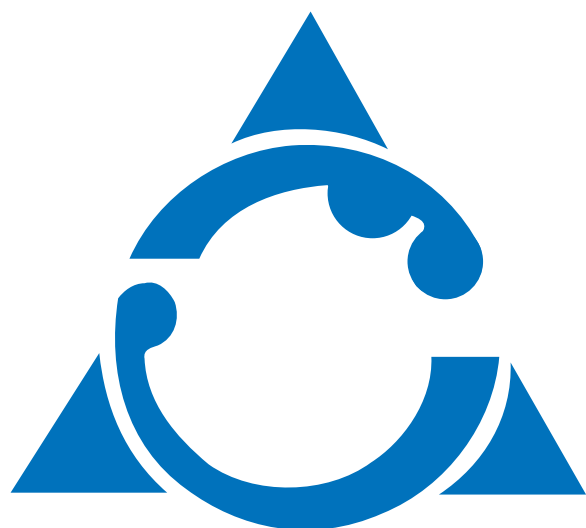


統計ごぼう

令和8年版（2026年）



和歌山県御坊市

御坊市の指標

●人口 20,543人 ●世帯数 10,635世帯 (令和8年4月1日現在)

●人口密度



1km²に467.8 人

●家族の人員



1世帯あたり1.93 人

●出 生



1日に 0.3 人

●死 亡



1日に 1.0 人

●転 入



1日に 1.8 人

●転 出



1日に 2.2 人

●結 婚



1ヶ月に 5.9 組

●離 婚



1ヶ月に 2.8 組

●市の予算



市民1人あたり 698,876 円

●市 税



市民1人あたり 161,455 円

●水道の利用



1日 市民1人あたり 455 ㍓

●乗用車・軽自動車 (令和6年3月31日現在)



1世帯に 1.63 台

●交通事故



1ヶ月に 2.4 件

●火 災



1ヶ月に 0.9件

●医 師 (令和7年12月31日現在)



市民147.8 人に 1 人
(歯科医含む)

●教師(幼・小・中・高) (令和8年5月1日現在)



児童・生徒 7.7 人に 1 人

●救急車出動



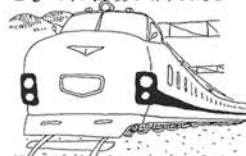
1日に 4.0 件

●ごみ処理量



1日に 20.1トン

●JR乗客数 (御坊駅)



1日に 1,416.4 人

発 刊 に あ た り

「統計ごぼう」令和8年版（2026年）をここに刊行いたします。

この統計書は、御坊市の自然、人口、経済、教育など各分野にわたる基本的な統計資料を本市独自の様式で収録し、現況と推移を明らかにしようとするものです。

本書により市勢の推移発展の経緯をご理解いただき、市民の皆様をはじめ、社会経済の中で、幅広くご利用いただければ幸いです。

なお、編集にあたっては、できる限り最新の資料を収録し、見やすく使いやすい統計書となるよう配慮しましたが、不備な点については今後とも引き続き各位のご指導を仰ぎながら、より一層内容の充実、整備に努めてまいりたいと考えています。

終わりに、本書の刊行にあたり、貴重な資料のご提供その他格別のご協力を賜りました関係各位のご厚意に対しまして、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月吉日

御坊市長 三 浦 源 吾

主要指標

区 分	国勢人口	世帯数	1世帯当 たり人員	面 積	人口密度	事業所数	製造業 事業所数 (4人以上)	製造業 従業者数	製造品 出荷額等
	R2.10.1					R3.6.1			
	人	世帯	人	km ²	人／km ²			人	万円
和歌山県	922,584	394,483	2.34	4,724.69	195.3	45,309	1,465	50,917	238,345,728
御 坊 市	23,481	10,123	2.32	43.91	534.8	1,732	37	988	3,435,294
和歌山市	356,729	157,666	2.26	208.84	1,708.1	16,223	521	22,691	126,603,693
海 南 市	48,369	20,088	2.41	101.06	478.6	2,450	128	4,387	20,545,848
橋 本 市	60,818	24,028	2.53	130.55	465.9	2,390	108	2,489	5,032,197
有 田 市	26,538	10,270	2.58	36.89	719.4	1,456	40	2,036	41,121,116
田 辺 市	69,870	31,215	2.24	1,026.91	68.0	4,486	101	2,111	3,844,670
新 宮 市	27,171	13,123	2.07	255.23	106.5	2,209	26	480	798,033
紀の川市	58,816	23,351	2.52	228.21	257.7	2,188	133	4,625	11,027,825
岩 出 市	53,967	21,999	2.45	38.51	1,401.4	1,594	44	1,480	1,925,778
日 高 郡	48,661	18,882	2.58	655.38	74.2	2,383	112	3,557	9,364,136
美 浜 町	6,867	2,863	2.40	12.77	537.7	320	7	110	317,321
日 高 町	7,673	2,896	2.65	46.19	166.1	278	9	115	319,993
由 良 町	5,364	2,261	2.37	30.94	173.4	319	10	461	1,714,788
印 南 町	7,720	2,993	2.58	113.62	67.9	393	11	728	1,735,811
みなべ町	11,818	4,277	2.76	120.28	98.3	627	56	1,375	3,385,246
日高川町	9,219	3,592	2.57	331.59	27.8	446	19	768	1,890,977

区 分	商 店 数	商業従 業者数	商業年間 商品販売 額	商店売場 面 積
	R3.6.1			
		人	百万円	m ²
和歌山県	10,111	65,415	1,968,238	1,054,609
御 坊 市	437	2,387	46,984	46,738
和歌山市	3,305	27,001	1,120,865	433,862
海南市	559	3,696	105,917	42,290
橋本市	513	3,552	74,440	71,039
有田市	361	1,814	33,107	25,891
田辺市	1,052	6,158	151,936	86,094
新宮市	549	2,977	72,720	66,917
紀の川市	488	3,261	87,667	53,544
岩出市	337	3,142	65,266	79,071
日高郡	524	1,988	42,645	22,725
美浜町	57	201	5,477	1,201
日高町	63	242	5,125	3,724
由良町	70	225	2,076	5,347
印南町	93	333	5,662	2,629
みなべ町	171	760	16,172	8,979
日高川町	70	227	2,957	845

も く じ

第1章 市の概要		
沿革・地勢	3	
気 象	4	
土地利用	5	
第2章 人 口		
国勢調査	9	
人 口	13	
第3章 産 業		
事業所	17	
農 業	17	
漁 業	19	
工 業	20	
商 業	22	
観光客入込状況	22	
レクリエーション施設		
利用状況	22	
第4章 市民生活		
住宅	27	
道路	28	
福祉	29	
保健衛生	32	
国民年金	33	
国民健康保険	33	
環境	34	
下水道	36	
水道	36	
電気	37	
たばこ	37	
第5章 運輸・通信		
自動車台数	41	
高速IC出入交通量	41	
乗客数	42	
港湾(日高港)	43	
郵便	44	
電話	44	
テレビ	44	
第6章 警察・消防		
警察	47	
消防	47	
第7章 教育・文化		
学校	51	
社会教育施設	54	
市内文化財	56	
文化財案内略図	59	
第8章 財政・行政		
財政	62	
行政	67	
第9章 議会・選挙		
議会	70	
選挙	75	
第10章 施設一覧		
市内の官公署		
及び主な施設	78	

利用上の注意

- 本文中及び統計表中で、○年とあるのは暦年間(1月～12月)、○年度とあるのは会計年度(4月～翌年3月)を示します。
- 数字の単位未満は四捨五入を原則としていますので、合計値と内訳の計が一致しない場合もあります。
- 統計表中に用いた符号は次のとおりです。
「0」 単位未満
「-」 該当数字のないもの
「…」 不詳又は未調査
「X」 数値の公表をさしひかえたもの

【問合せ先】

御坊市企画政策部企画政策課
〒644-8686 御坊市藺350番地の2
TEL. 0738-23-5518(直通)

第 1 章

市 の 概 要

市 の 概 要

【 気 象 】

令和7年中の年平均気温は17.0℃、最高極値が8月の36.9℃、最低極値が2月の-2.3℃となっている。降水量は年間1478.5mmで、月別では6月に288.5mmの最多降水量を記録している。

【 土 地 利 用 】

農用地において前年比で、田は2ha(0.5%)、畑は5ha(1.3%)の減少となっている。

平成31年からみると、減少しているのは田・畑、水面・河川・宅地・水路で、増加しているのは森林及び道路となっている。

●沿革・地勢

御坊市は、紀伊半島の海岸線のほぼ中央部、日高平野に位置し、東西約8.4km、南北約16.3km、総面積43.91km²と南北に細長い帯状の地形をなしている。

市の中央部を幹川流路延長127km、水量豊かな2級河川日高川が東西に貫流し、市域を河北、河南に区分している。

温暖な気候と自然環境に恵まれた当地方は、昔から紀州材の集散、加工等が盛んで、肥沃な平野では米、麦、大豆、甘藷、綿等が生産され、江戸時代には、それらを酒、醤油、酢、砂糖にして日高大廻船で大坂、江戸へ移出していた歴史がある。

明治22年の町村制実施により御坊、湯川、藤田、野口、塩屋、名田の6ヶ村が成立、同30年には御坊村が御坊町になった。

昭和28年7月18日、当地方は和歌山県下を襲った未曾有の大水害にみまわれ、御坊町の市街地を中心に壊滅的打撃をうけた。翌年の昭和29年4月には、この水害の復興及び行政の合理化、効率的な運営を目指して、御坊町、湯川村、藤田村、野口村、塩屋村、名田村の1町5村が合併し、住民登録人口が、31,844人の「御坊市」が誕生した。以来、紀中地域の産業、経済、教育、文化、行政等の中核をなす商業と農業が主体の田園都市へと発展してきた。

また、この間昭和34年4月には日高郡印南町明神川の一部、昭和53年11月には、日高郡日高町荊木の一部が本市に編入された。

文化的には、熊野参詣時の史跡が随所に見られる歴史のある町で、平成11年4月には、市内の堅田遺跡から日本最古の「ヤリガンナ」の鋳型が発見され、最も古い青銅器の製作地として注目を集めている。

御坊市の位置

東経 135° 08' 27" ～ 135° 12' 58"
 北緯 33° 48' 47" ～ 33° 57' 10"
 東西 8.4 km
 南北 16.3 km
 面積 43.91km²
 海拔（最高）367.4m

市役所の位置

東経 135° 09' 08"
 北緯 33° 53' 29"



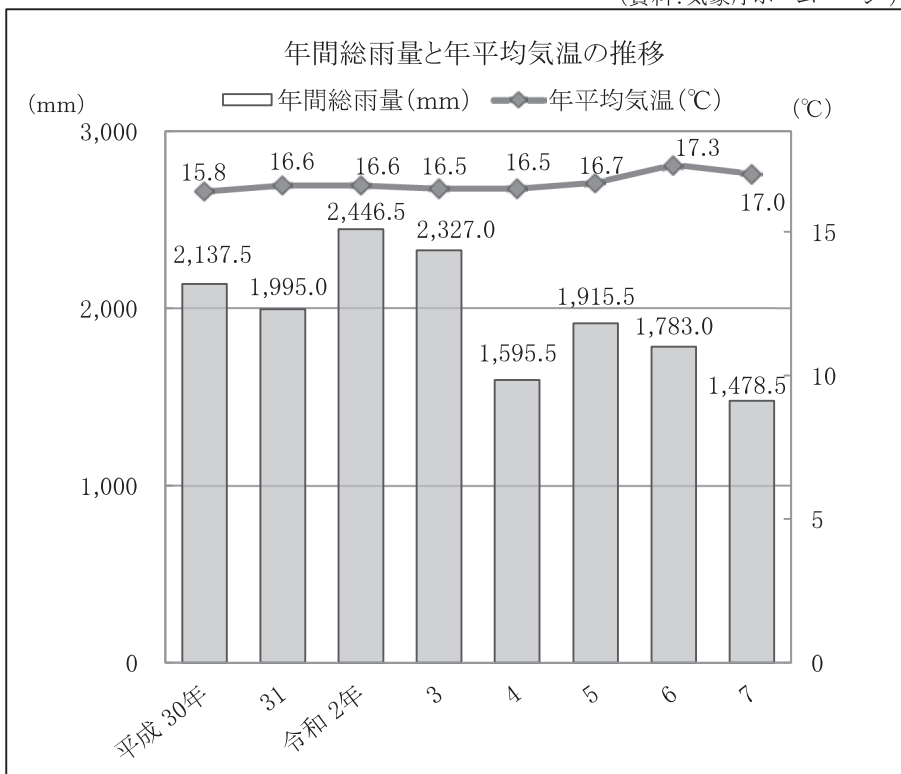
第1章 市の概要

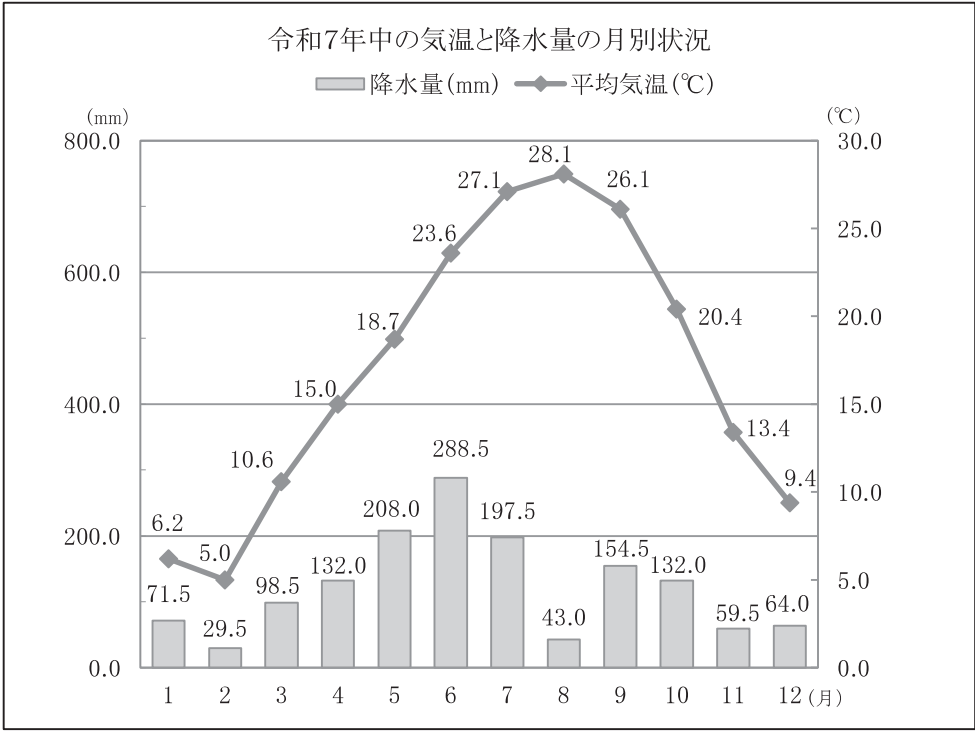
● 気 象

(川辺地域気象観測所測定値)

区 分	気 温			降水量	風 速		日照時間
	年平均	最高極値	最低極値	総 量	年平均	最大風速	
	℃	℃	℃	mm	m/s	m/s	h
平成 30年	16.4	36.1	-4.3	2,137.5	2.5	24.3	2,261.1
31	16.6	35.1	-1.4	1,995.0	2.3	13.6	2,130.8
令和 2年	16.6	38.4	-2.3	2,446.5	2.3	12.7	2,156.2
3	16.5	34.7	-2.1	2,327.0	2.3	11.8	2,130.2
4	16.5	36.2	-2.0	1,595.5	2.2	13.0	2,184.6
5	16.7	35.5	-2.8	1,915.5	2.3	13.9	2,262.6
6	17.3	37.1	-2.2	1,783.0	2.3	11.3	2,202.4
7	17.0	36.9	-2.3	1,478.5	2.3	11.1	2,263.2
令和7年 月 別	平均気温	最高極値	最低極値	降水量	平均風速	最大風速	日照時間
	℃	℃	℃	mm	m/s	m/s	h
1月	6.2	16.4	-0.6	71.5	2.8	8.9	197.8
2月	5.0	14.9	-2.3	29.5	3.1	10.6	154.1
3月	10.6	25.6	-0.4	98.5	2.5	10.3	161.0
4月	15.0	28.5	2.8	132.0	2.5	11.1	213.8
5月	18.7	27.6	8.6	208.0	2.4	8.5	142.7
6月	23.6	32.9	14.0	288.5	2.0	6.5	178.5
7月	27.1	35.3	22.0	197.5	1.9	7.7	285.1
8月	28.1	36.9	22.7	43.0	1.9	6.1	250.6
9月	26.1	36.1	18.4	154.5	1.8	6.4	194.9
10月	20.4	31.5	8.7	132.0	1.8	6.6	130.9
11月	13.4	22.0	5.1	59.5	2.0	7.6	173.7
12月	9.4	21.4	1.5	64.0	2.5	9.6	180.1

(資料:気象庁ホームページ)





●土地利用
状 況

(各年10月1日現在)

区 分	合 計	農用地			森 林	水面・河川・水路	道 路	宅 地	その他
		田	畑	採草放牧地					
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
平成31年	4,391	433	391	3	1,568	282	237	564	913
令和 2年	4,391	429	390	3	1,568	282	238	566	915
3	4,391	427	387	3	1,570	282	239	565	918
4	4,391	424	386	3	1,570	282	239	571	916
5	4,391	410	380	－	1,569	281	238	556	957
6	4,391	408	375	－	1,570	281	238	574	945

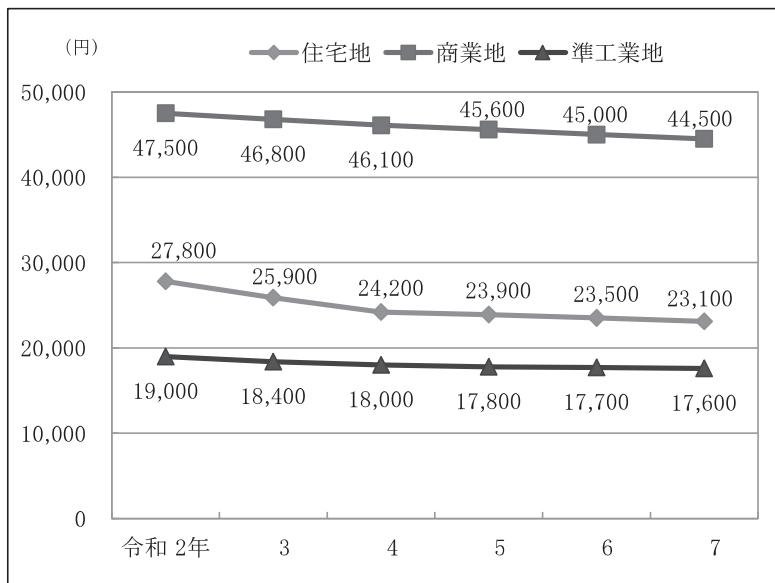
(資料:和歌山県地域振興課「土地利用現況把握調査」)

第1章 市の概要

市内用途別
宅地の平均価格

	住宅地	商業地	準工業地
	円	円	円
令和 2年	27,800	47,500	19,000
3	25,900	46,800	18,400
4	24,200	46,100	18,000
5	23,900	45,600	17,800
6	23,500	45,000	17,700
7	23,100	44,500	17,600

(資料:都市建設課土地対策室)



第 2 章

人

口

人 口

【国勢調査関係人口】

令和2年国勢調査の総人口は、23,481人、男11,404人、女12,077人となっている。総人口は前回調査時から1,320人（5.3%）の減少、性別では男572人（4.8%）の減少、女748人（5.8%）の減少となっている。

また世帯数は10,123世帯で、前回調査時から210世帯（2.1%）の増加となっている。

【住民基本台帳人口】

本市の住民基本台帳人口は、令和8年4月1日現在で20,543人となっている。世帯数は10,635世帯で1世帯あたり1.93人である。

令和7年の人口動態をみると、自然増減では244人の減少、社会増減では168人の減少となっており、人口動態の中で出生の占める割合は5.5%、死亡が18.2%、転入が33.8%、転出が42.5%で、減少（死亡、転出）が増加（出生、転入）を上回っている。

高齢化率（65歳以上人口が総人口に占める割合）においても33.9%と年々上昇している。

●国勢調査

地区別人口
と世帯の推移

区 分	総 数	性 別		世帯数	地 区 別 人 口						
		男	女		御 坊	湯 川	藤 田	野 口	塩 屋	名 田	明神川
	人	人	人	世帯	人	人	人	人	人	人	人
大正 14 年	22,655	11,007	11,648	4,518	10,943	2,988	1,544	1,448	2,735	2,997	…
昭和 5 年	25,920	—	—	—	13,168	3,653	1,672	1,480	2,894	3,053	…
10	27,629	13,092	14,537	5,491	14,629	3,828	1,716	1,408	2,959	3,089	…
15	26,885	12,987	13,898	5,434	13,988	3,800	1,817	1,418	2,849	3,013	…
22	31,203	15,168	16,035	6,922	15,648	4,232	2,290	1,740	3,548	3,745	…
25	31,382	15,275	16,107	6,772	16,074	4,256	2,268	1,676	3,552	3,556	…
30	31,683	15,325	16,358	7,174	16,923	4,239	2,234	1,572	3,370	3,345	…
35	30,700	14,730	15,970	7,438	16,363	4,377	2,072	1,510	3,150	3,027	201
40	30,040	14,435	15,605	7,859	15,786	4,518	1,975	1,415	3,038	3,116	192
45	30,573	14,816	15,757	8,368	15,316	4,976	2,344	1,329	3,049	3,382	177
50	30,272	874	984	836	12	—	3,456	—	—	—	—
55	30,398	56	50	50	14,475	5,381	2,511	1,284	3,097	3,338	186
60	30,450	14,959	15,439	8,933	13,051	6,361	3,062	1,294	3,165	3,282	183
平成 2 年	29,133	14,813	15,637	9,015	11,652	7,225	3,405	1,505	3,267	3,215	181
7	28,510	14,196	14,937	9,179	10,536	7,255	3,407	1,490	3,100	3,177	168
12	28,034	13,797	14,713	9,286	9,993	7,208	3,425	1,560	3,048	3,123	153
17	27,053	13,594	14,440	9,833	9,264	7,283	3,626	1,680	2,946	3,088	147
22	26,111	13,103	13,950	9,856	8,709	7,099	3,628	1,787	2,704	2,992	134
27	24,801	12,620	13,491	9,993	7,987	6,909	3,733	1,916	2,510	2,924	132
令和 2 年	23,481	11,976	12,825	9,913	7,199	6,720	3,669	1,948	2,335	2,806	124
7	21,015	11,404	12,077	10,123	6,747	6,501	3,617	1,919	2,128	2,447	122
		10,122	10,893	9,750	—	—	—	—	—	—	—

※昭和29年 4月 1日 市制施行

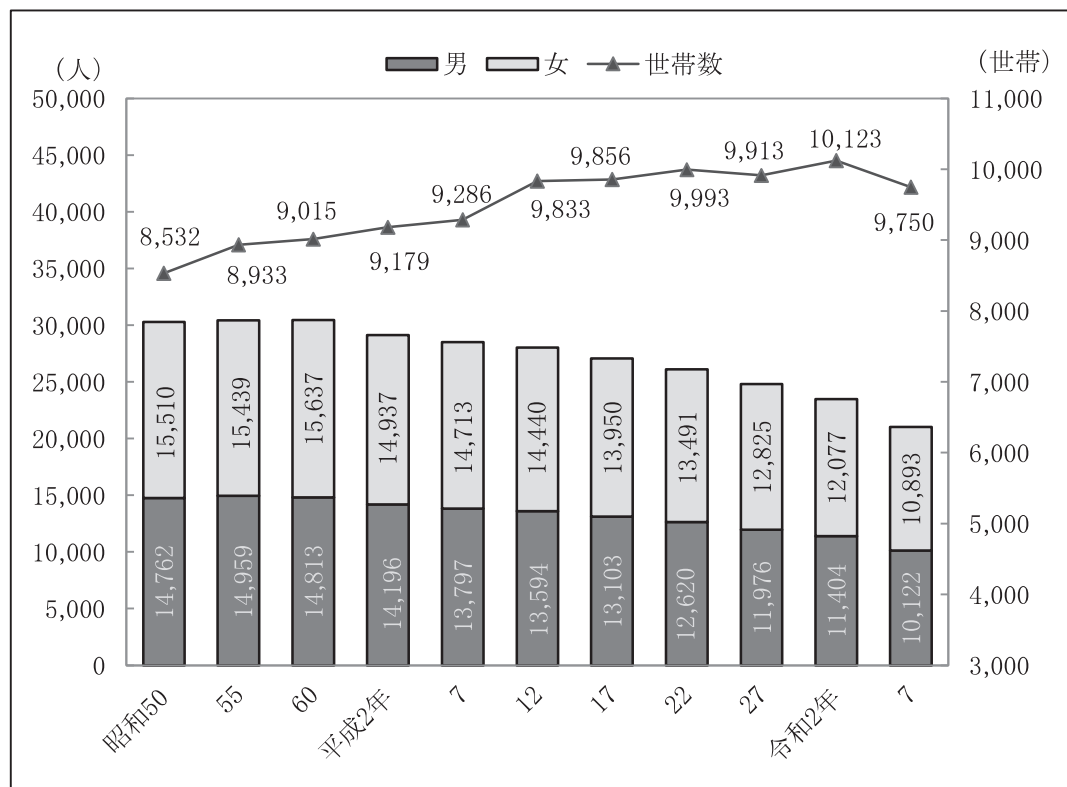
※令和7年は速報値を掲載

(資料:総務省統計局「国勢調査」)

34年 4月 1日 明神川 編入

53年11月 1日 荊 木 編入

(荊木は旧町村名湯川に含む。)



第2章 人口

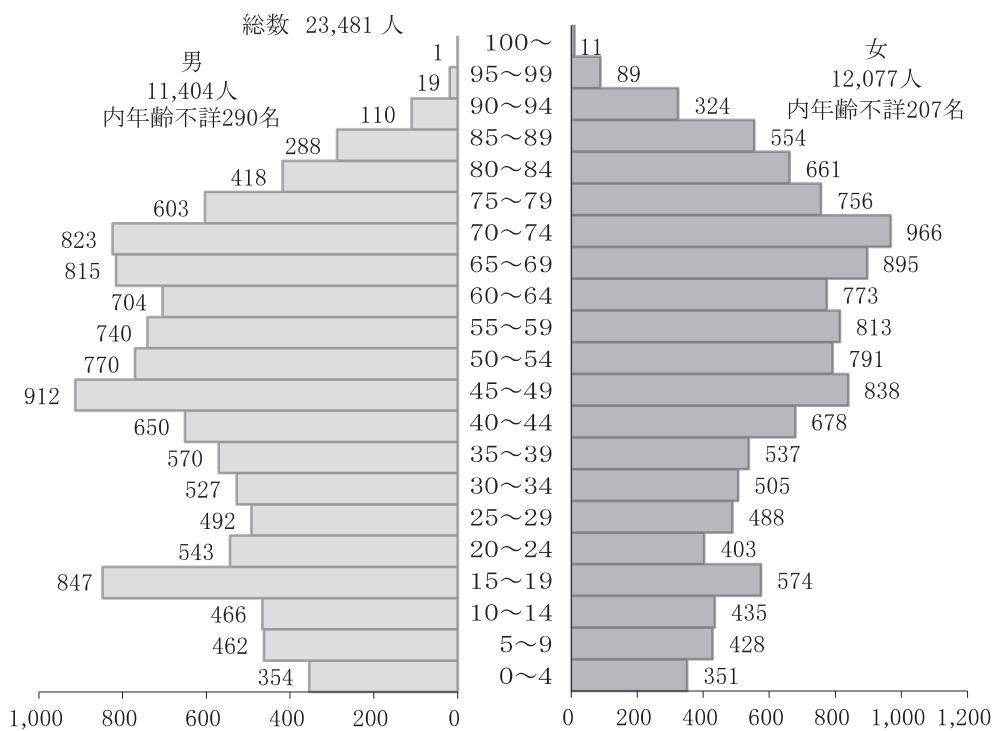
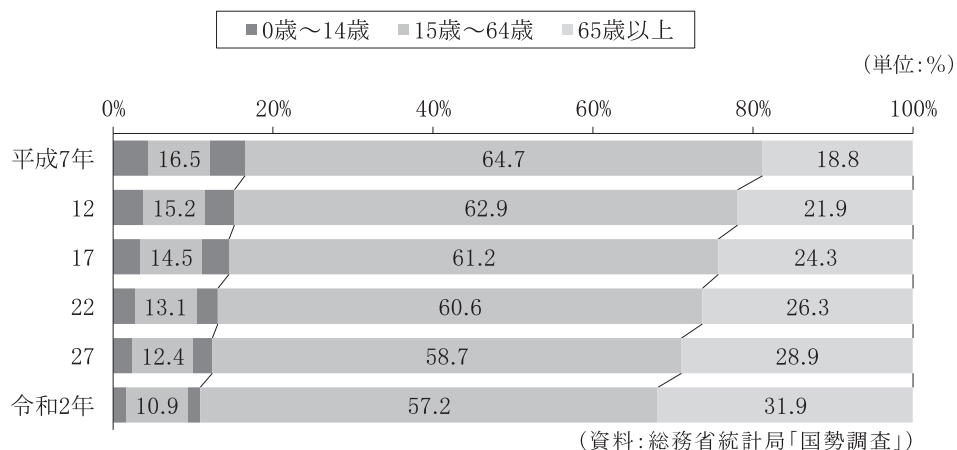
年 齢 別 人口の推移

区 分	0歳～14歳	構成比	15歳～64歳	構成比	65歳以上	構成比	総 計
	人	%	人	%	人	%	人
平成7年	4,705	16.5	18,449	64.7	5,356	18.8	28,510
12	4,263	15.2	17,625	62.9	6,143	21.9	28,034
17	3,889	14.5	16,437	61.2	6,531	24.3	27,053
22	3,393	13.1	15,682	60.6	6,815	26.3	26,111
27	3,057	12.4	14,462	58.7	7,118	28.9	24,801
令和2年	2,496	10.9	13,155	57.2	7,333	31.9	23,481

※総計は年齢不詳を含む。

(資料:総務省統計局「国勢調査」)

※構成比は総計から年齢不詳を差し引いて算出している。

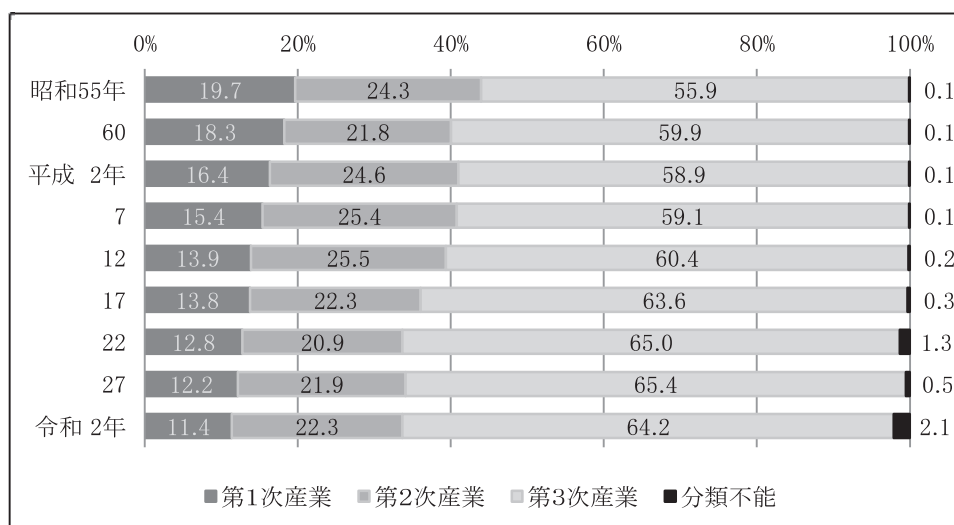


産業別
就業人口

区 分	平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
合 計	人	%	人	%	人	%
	11,277	871.0	11,261	100.0	10,979	100.0
第 一 次 産 業	1,444	12.8	1,370	12.2	1,252	11.4
農 業	1,341	11.9	1,279	11.4	1,170	10.7
林 業	9	0.1	12	0.1	13	0.1
漁 業・水産養殖業	94	0.8	79	0.7	69	0.6
第 二 次 産 業	2,359	20.9	2,467	21.9	2,444	22.3
鉱 業	1	0.1	0	0.0	0	0.0
建設業	966	8.6	987	8.8	992	9.0
製造業	1,392	12.2	1,480	13.1	1,452	13.2
第 三 次 産 業	984	836.0	12	65.4	7,047	64.2
電気・ガス・熱供給水道業	50	50.0	162	1.4	122	1.1
情報通信業	74	0.7	77	0.7	61	0.6
運輸・郵便業	390	3.5	347	3.1	325	3.0
卸・小売業	1,989	17.6	1,807	16.0	1,674	15.2
金融・保険業	228	2.0	211	1.9	179	1.6
不動産・物品賃貸業	61	0.5	105	0.9	86	0.8
学術研究・専門技術サービス	174	1.5	184	1.6	206	1.9
宿泊・飲料サービス業	663	5.9	633	5.6	620	5.6
生活関連サービス・娯楽業	462	4.1	438	3.9	366	3.3
教育・学習支援業	538	4.8	488	4.3	549	5.0
医療・福祉	1,405	12.5	1,673	14.9	1,707	15.5
複合サービス業	174	1.5	211	1.9	205	1.9
その他サービス業	507	4.5	543	4.8	480	4.4
公務	485	4.3	484	4.3	467	4.3
分類不能の産業	141	1.3	61	0.5	236	2.1

※平成22年より第三次産業の分類区分が変更

(資料:総務省統計局「国勢調査」)

産業別人口
の推移

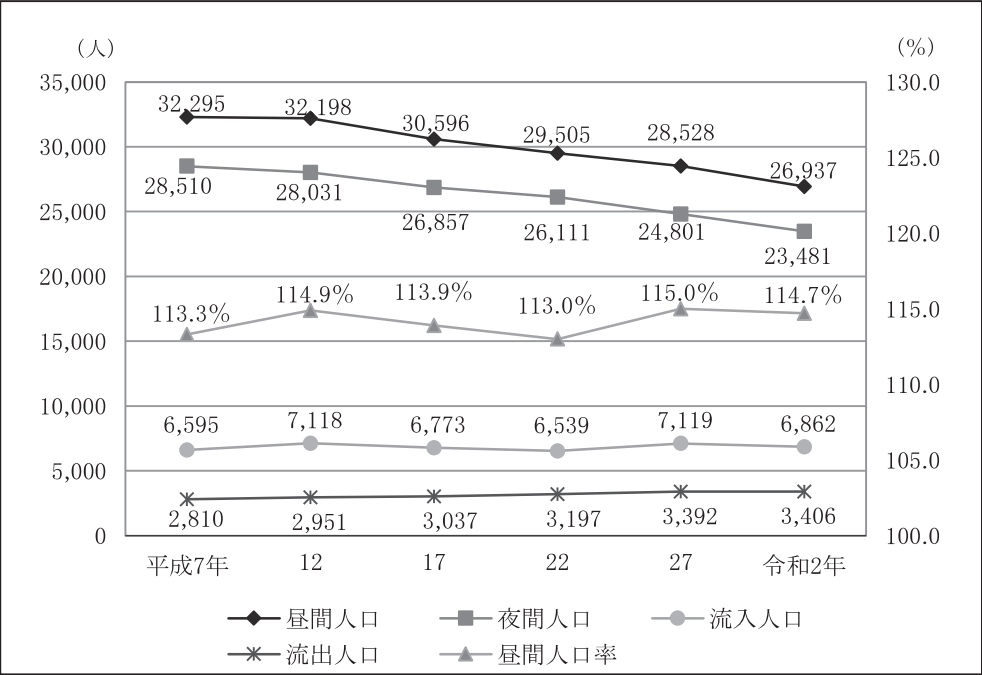
(資料:総務省統計局「国勢調査」)

第2章 人口

昼間・夜間・
通勤・通学別
流出入人口
の推移

区 分	昼間人口	夜間人口	流 入 人 口			流 出 人 口		
			総 数	通 勤	通 学	総 数	通 勤	通 学
	人	人	人	人	人	人	人	人
平成 7 年	32,295	28,510	6,595	4,904	1,691	2,810	2,429	381
12	32,198	28,031	7,118	5,548	1,570	2,951	2,547	404
17	30,593	26,857	6,773	5,492	1,281	3,037	2,598	439
22	29,505	26,111	6,539	5,299	1,240	3,197	2,801	396
27	28,528	24,801	7,119	5,767	1,352	3,392	2,991	401
令和 2 年	26,937	23,481	6,862	5,670	1,192	3,406	3,039	367

※夜間人口は年齢不詳を含む。 (資料:総務省統計局「国勢調査」)



人口集中地区別
(DID)
人口、面積、人口密度

区 分	人 口				面 積	
	令和2年	平成27年	平成27年～令和2年 増加数	増加率	令和2年	平成27年
総 数	人 5,163	人 6,224	人 △ 1,061	% △ 17.0	km ² 1.60	km ² 1.77

区 分	人口密度	人口集中地区が総数に占める割合			
	令和2年	人 口		面 積	
	人/km ²	令和2年	平成27年	令和2年	平成27年
総 数	3,226.9	% 22.0	% 25.1	% 3.6	% 4.0

※人口集中地区は、都市的地域の特質を明らかにする統計上の地域単位として、昭和35年国勢調査時に設定されたものである。

※人口集中地区は、次の3条件により設定する。

①令和2年国勢調査基本単位区を基礎単位地域とする。

②市区町村内の境界内で人口密度の高い基本単位区(原則として1平方キロメートル当たり4,000人以上)が隣接していること。

③それらの地域の人口が令和2年国勢調査時に5,000人以上有すること。

(資料:総務省統計局「国勢調査」)

● 人 口

地区別人口
及び世帯数

区 分	令和8年4月1日現在(住民基本台帳人口)				面 積	人 口 密 度	昭和29年	令和2年	
	人 口 総 数	男	女	世帯数			市制施行 住民登録 人	国勢調査 人	国勢調査 世 帯 数
総 計	人 20,543	人 9,763	人 10,780	世帯 10,635	km ² 43.91	人/km ² 467.8	人 31,844	人 23,481	世帯 10,123
御 坊	5,975	2,816	3,159	3,246	2.96	2,018.6	16,663	6,747	3,103
湯 川	5,603	2,685	2,918	3,010	8.58	653.0	4,415	6,365	2,944
荊 木	123	57	66	64	0.04	3,075.0	—	136	64
藤 田	3,228	1,551	1,677	1,682	3.45	935.7	2,223	3,617	1,634
野 口	1,758	835	923	817	6.61	266.0	1,652	1,919	741
塩 屋	1,957	930	1,027	958	8.02	244.0	3,435	2,128	896
名 田	1,804	837	967	810	12.34	146.2	3,456	2,447	697
明神川	95	52	43	48	1.93	49.2	—	122	44

(資料: 市民環境課、総務省統計局「国勢調査」)

外 国 人
住 民 推 移

(各年4月1日現在)					
	令和4年	5	6	7	8
男	人 75	人 114	人 133	人 150	人 152
女	118	168	191	203	230
計	193	282	324	353	382

(資料: 市民環境課)

人口動態

(各年1月1日現在)						
区 分	自 然 動 態			社 会 動 態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
令和2年	人 135	人 333	人 △ 198	人 672	人 840	人 △ 168
3	132	340	△ 208	666	835	△ 169
4	123	316	△ 193	740	888	△ 148
5	116	354	△ 238	688	960	△ 272
6	98	359	△ 261	585	805	△ 220
7	105	349	△ 244	648	816	△ 168

(資料: 市民環境課)

第2章 人口

年齢男女別
人口

年 齢	合 計	男	女
	人	人	人
総 数	20,543	9,763	10,780
0～4	539	262	277
0	105	54	51
1	97	39	58
2	110	55	55
3	100	49	51
4	127	65	62
5～9	612	306	306
5	103	50	53
6	119	62	57
7	117	57	60
8	154	75	79
9	119	62	57
10～14	844	444	400
10	165	80	85
11	157	80	77
12	182	93	89
13	187	112	75
14	153	79	74
15～19	886	445	441
15	179	90	89
16	182	81	101
17	165	85	80
18	177	97	80
19	183	92	91
20～24	877	448	429
20	160	87	73
21	199	92	107
22	166	91	75
23	181	97	84
24	171	81	90
25～29	919	493	426
25	195	87	108
26	205	109	96
27	200	111	89
28	173	101	72
29	146	85	61

年 齢	合 計	男	女
	人	人	人
60～64	1,466	690	776
60	304	145	159
61	282	131	151
62	316	161	155
63	294	137	157
64	270	116	154
65～69	1,387	665	722
65	288	151	137
66	271	123	148
67	256	124	132
68	282	141	141
69	290	126	164
70～74	1,505	682	823
70	310	147	163
71	291	127	164
72	284	130	154
73	291	142	149
74	329	136	193
75～79	1,659	745	914
75	333	157	176
76	348	155	193
77	356	151	205
78	365	165	200
79	257	117	140
80～84	1,056	424	632
80	158	54	104
81	220	99	121
82	234	94	140
83	233	103	130
84	211	74	137
85～89	755	265	490
85	188	68	120
86	127	48	79
87	147	61	86
88	152	54	98
89	141	34	107

(令和8年4月1日現在)

年 齢	合 計	男	女
	人	人	人
30～34	865	442	423
30	189	97	92
31	173	87	86
32	165	74	91
33	177	93	84
34	161	91	70
35～39	992	516	476
35	188	98	90
36	178	94	84
37	200	112	88
38	203	96	107
39	223	116	107
40～44	1,092	561	531
40	222	125	97
41	200	100	100
42	242	124	118
43	211	104	107
44	217	108	109
45～49	1,279	638	641
45	256	120	136
46	220	99	121
47	260	141	119
48	237	123	114
49	306	155	151
50～54	1,692	854	838
50	304	147	157
51	336	185	151
52	374	197	177
53	341	156	185
54	337	169	168
55～59	1,512	746	766
55	310	153	157
56	305	146	159
57	325	168	157
58	304	149	155
59	268	130	138

年 齢	合 計	男	女
	人	人	人
90～94	435	114	321
90	130	36	94
91	94	23	71
92	86	25	61
93	71	20	51
94	54	10	44
95～99	142	18	124
95	51	5	46
96	38	5	33
97	22	4	18
98	19	1	18
99	12	3	9
100～104	27	5	22
100	9	2	7
101	10	1	9
102	5	2	3
103	3	0	3
104	0	0	0
105～109	2	0	2
105	1	0	1
106	0	0	0
107	0	0	0
108	1	0	1
109	0	0	0
総数	20,543	9,763	10,780
0～14歳	1,995	1,012	983
15～64歳	11,580	5,833	5,747
65歳以上	6,968	2,918	4,050
75歳以上	4,076	1,571	2,505

(資料:市民環境課)

第 3 章

産

業

産 業

【事業所】

令和3年経済センサス-活動調査による本市の事業所数は1,732事業所で、従業者数は11,448人となっており、前回調査（平成28年経済センサス-活動調査）から、事業所は92事業所が減少、従業者数は539人減少している。

事業所の産業別構成比をみると、卸売業・小売業が484事業所と最も多く、次いで宿泊業・飲食サービス業240事業所、医療・福祉が157事業所と続いている。

【農業】

2020年（令和2年）農林業センサスによると農家件数は744戸で前回調査（平成27年）の837戸から11.1%減少している。農業人口は1,795人で前回センサスの2,203人から408人（18.5%）減少している。地区別では湯川地区、名田地区で農業人口の62.3%を占めている。

【漁業】

漁業の状況をみると令和6年における漁業経営体数は82経営体、水揚量は1,844tとなっており、前年から経営体は9減少、水揚量は605t増加している。

水揚状況をみると、さばの水揚量は1,268tで水揚全体の68.8%を占めており、あじの水揚量が455tで24.7%、かつお31t、海老7t、海藻類6t、いさき6t、さわら5t、太刀魚4t、いわし4tと続いている。

【製造業（工業）事業所】

令和3年経済センサス活動調査によると、4人以上の事業所（工場）数は37事業所、従業者数は988人、製造品出荷額等は3,435,294万円となっている。

分類別にみると、事業所（工場）数は食料品が9事業所と多く、次いで木材6事業所、繊維、窯業・土石製品、金属が3事業所と続いている。

製造品出荷額等では、金属製品が700,218万円で全体の20.4%を占めている。次いで食料品233,198万円、木材・木製品170,111万円と続いている。

【商業】

令和3年経済センサス-活動調査によると、商店数は437店、従業者数は2,387人となっている。

平成28年経済センサス-活動調査から商店数は15店（3.3%）減少、従業者数は114人（4.6%）減少となっている。

【観光客入込状況】

令和7年でみると、総数は233,764人で前年から8,617人の増加となっている。内訳は宿泊客60,344人（前年比12.4%減）、日帰客173,420人（同11.0%増）となっている。

● 事業所

状 況

(令和3年6月1日現在)

区 分	事業所数	従業者数
総 数	1,732	11,448人
農 林 漁 業（個人経営を除く）	10	84
鉱 業，採 石 業，砂 利 採 取 業	-	-
建 設 業	139	700
製 造 業	89	1,223
電 気・ガ ス・熱 供 給・水 道 業	1	86
情 報 通 信 業	7	65
運 輸 業，郵 便 業	21	393
卸 売 業，小 売 業	484	2,832
金 融 業，保 険 業	28	347
不 動 産 業，物 品 賃 貸 業	102	251
学 術 研 究，専 門・技 術 サ ー ビ ス 業	76	315
宿 泊 業，飲 食 サ ー ビ ス 業	240	1,250
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業，娛 楽 業	154	454
教 育，学 習 支 援 業	54	338
医 療，福 祉	157	2,188
複 合 サ ー ビ ス 事 業	15	295
サ ー ビ ス 業（他 に 分 類 さ れ な い も の）	155	627

(資料:総務省統計局「令和3年経済センサス-活動調査」)

※公務及び事業内容等不詳を含まない。

● 農 業

農 家 数

区 分	農 家 総 数	専 兼 別 農 家 数			規 模 別 農 家 数					農 業 人 口
		専 業 農 家	第 1 種 兼 業 農 家	第 2 種 兼 業 農 家	0.3ha 未 満	0.3～ 0.5	0.5～ 1.0	1.0～ 1.5	1.5ha 以 上	
合 計	戸 744	戸 -	戸 -	戸 -	戸 30	戸 100	戸 230	戸 103	戸 71	人 1,795
御 坊	35	-	-	-	1	3	10	-	4	49
湯 川	184	-	-	-	5	22	53	33	30	441
藤 田	84	-	-	-	-	11	21	14	6	151
野 口	113	-	-	-	2	17	37	16	6	249
塩 屋	91	-	-	-	2	11	24	7	9	174
名 田	212	-	-	-	20	35	74	32	13	678
明神川	25	-	-	-	-	1	11	1	3	53

(資料:農林水産省「2020年農林業センサス」)

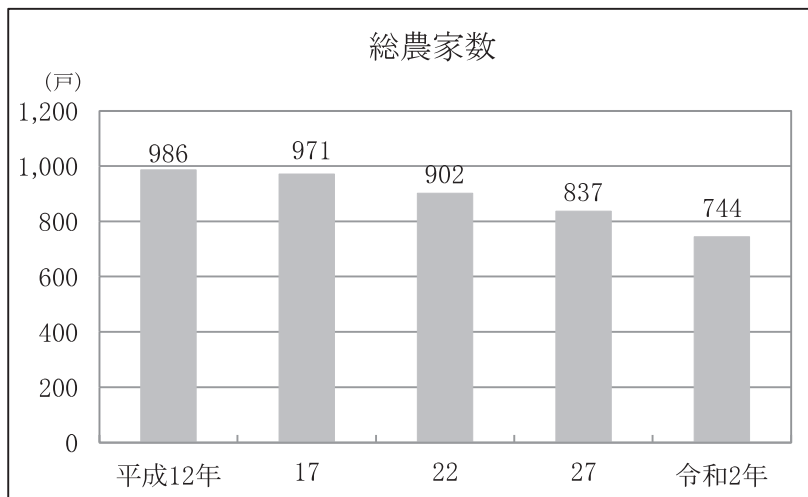
※2020年農林業センサスより調査項目の変更に伴い、専兼別農家数の集計結果無し。

第3章 産業

農家数等 経年変化

区 分	総農家数	農業人口
	戸	人
平成12年	986	4,379
17	971	3,129
22	902	2,594
27	837	2,203
令和2年	744	1,795

(資料:農林水産省「農林業センサス」)



専兼別農家数 経年変化

区 分	専 兼 別 農 家 数		
	専業農家	第1種 兼業農家	第2種 兼業農家
	戸	戸	戸
平成12年	278	193	318
17	329	150	259
22	315	100	238
27	314	85	238
令和2年	-	-	-

※平成12年以降は販売農家のみ (資料:農林水産省「農林業センサス」)

※2020年農林業センサスより調査項目の変更に伴い、専兼別農家数の集計結果無し。

規模別農家数 経年変化

区 分	規 模 別 農 家 数					
	例 外 規 定	0.3ha 未満	0.3ha～ 0.5ha	0.5ha～ 1.0ha	1.0ha～ 1.5ha	1.5ha 以上
	戸	戸	戸	戸	戸	戸
平成12年	2	225	182	374	137	66
17	-	34	177	322	141	64
22	-	23	136	293	124	77
27	-	30	125	266	112	75
令和2年	-	30	100	230	103	71

※平成17年以降は販売農家のみ (資料:農林水産省「農林業センサス」)

● 漁 業
状 況

漁 港 名	平成 31 年				令和 2 年			
	登 録 漁 船		水 揚 量	漁 業 経営体数	登 録 漁 船		水 揚 量	漁 業 経営体数
	隻 数	総トン数			隻 数	総トン数		
合 計	隻 179	t 464	t 1,451	91	隻 169	t 444	t 1,408	92
塩 屋	75	303	1,418	40	69	292	1,374	37
祓井戸	21	36	1	13	22	37	2	14
野 島	19	13	7	10	17	11	6	11
加 尾	16	9	7	6	16	10	6	8
上 野	37	88	16	18	35	79	18	18
下楠井	11	15	2	4	10	15	2	4

漁 港 名	令和 3 年				令和 4 年			
	登 録 漁 船		水 揚 量	漁 業 経営体数	登 録 漁 船		水 揚 量	漁 業 経営体数
	隻 数	総トン数			隻 数	総トン数		
合 計	隻 161	t 424	t 1,924	91	隻 153	t 406	t 2,024	89
塩 屋	62	272	1,910	37	59	256	2,014	32
祓井戸	22	37	0	14	23	38	0	13
野 島	17	11	2	10	18	12	2	12
加 尾	16	10	4	7	15	9	2	10
上 野	34	78	7	18	28	73	5	17
下楠井	10	16	1	5	10	18	1	5

漁 港 名	令和 5 年				令和 6 年			
	登 録 漁 船		水 揚 量	漁 業 経営体数	登 録 漁 船		水 揚 量	漁 業 経営体数
	隻 数	総トン数			隻 数	総トン数		
合 計	隻 146	t 396	t 1,239	91	隻 143	t 391	t 1,844	82
塩 屋	57	248	1,227	37	56	247	1,830	33
祓井戸	22	37	2	14	21	33	1	13
野 島	16	11	4	10	16	11	4	10
加 尾	15	9	1	7	16	10	2	9
上 野	27	73	5	18	25	72	7	14
下楠井	9	18	0	5	9	18	0	3

(資料: 紀州日高漁業協同組合、産業振興課)

第3章 産業

主要魚貝類 水揚状況

区 分	総 数	さ ば	あ じ	しらす	え そ	いわし	太刀魚
	t	t	t	t	t	t	t
平成31年	1,451	623	673	0	0	9	36
令和2年	1,407	582	689	0	0	7	16
3	1,924	1,062	761	0	0	1	10
4	2,024	1,098	837	0	0	5	5
5	1,239	807	324	0	0	1	6
6	1,844	1,268	455	0	0	4	4

区 分	さ ば	あわび類	かつお	いさき	海 老	海藻類	その他
	t	t	t	t	t	t	t
平成31年	16	0	4	6	8	25	51
令和2年	21	0	2	7	11	25	47
3	8	0	7	5	11	12	47
4	8	0	3	3	10	9	46
5	6	0	19	4	9	4	59
6	5	0	31	6	7	6	58

(資料:紀州日高漁業協同組合、産業振興産課)

● 工 業

事業所の現状 (全数調査結果)

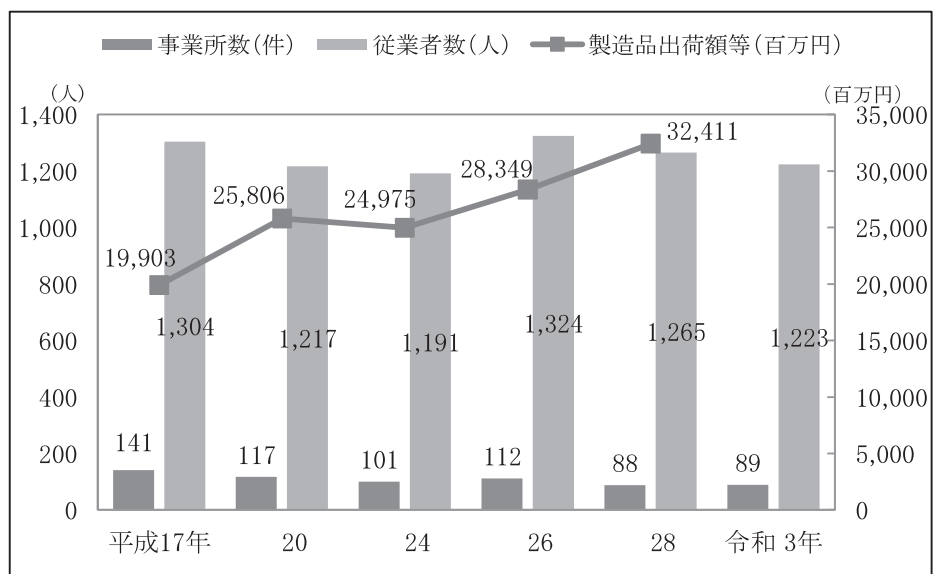
(平成17年～平成20年、平成26年 12月31日現在、平成24年 2月1日現在、平成28年～令和3年 6月1日現在)

区 分	事業所数		従 業 者 数		製造品出荷額等	
	実 数	指 数 H17年=100	実 数	指 数 H17年=100	実 数	指 数 H17年=100
	事業所		人		百万円	
平成17年	141	100.0	1,304	100.0	19,903	100.0
20	117	83.0	1,217	93.3	25,806	129.7
24	101	71.6	1,191	91.3	24,975	125.5
26	112	79.4	1,324	101.5	28,349	142.4
28	88	62.4	1,265	97.0	32,411	125.6
令和3年	89	63.1	1,223	93.8	-	-

(資料:和歌山県企画部調査統計課「和歌山県の工業」)

(総務省統計局「平成26年経済センサス-基礎調査」「令和3年経済センサス-活動調査」)

※令和3年経済センサス-活動調査では製造品出荷額等の調査項目がないため本表には記載なし



産業別工業
の状況
(従業員4人以上
の事業所)

区 分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
		人	万円
合 計	37	988	3,435,294
食 料 品	9	139	233,198
飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料	—	—	—
織 維	3	52	61,422
木 材 ・ 木 製 品	6	126	170,111
家 具 ・ 装 備 品	—	—	—
パ ル プ	1	63	X
印 刷 ・ 同 関 連	1	4	X
化 学	2	68	X
石 油 製 品 ・ 石 炭 製 品	—	—	—
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	2	45	X
ゴ ム 製 品	1	34	X
な め し 革 ・ 同 製 品 ・ 毛 皮	—	—	—
窯 業 ・ 土 石 製 品	3	29	54,729
鉄 鋼	—	—	—
非 鉄 金 属	—	—	—
金 属 製 品	3	158	700,218
は ん 用 機 械	1	20	X
生 産 用 機 械	2	96	X
業 務 用 機 械	1	136	X
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路	—	—	—
電 気 機 械	—	—	—
情 報 通 信 機 械	—	—	—
輸 送 機 械	1	4	X
そ の 他	1	14	X

(資料:令和3年経済センサス-活動調査)

※Xは、公表をさしひかえる数値

※平成20年「日本標準産業分類」改訂により産業分類を変更

※平成21年「日本標準産業分類」改訂により産業分類を変更

※個人経営の事業所を含みません。

第3章 産業

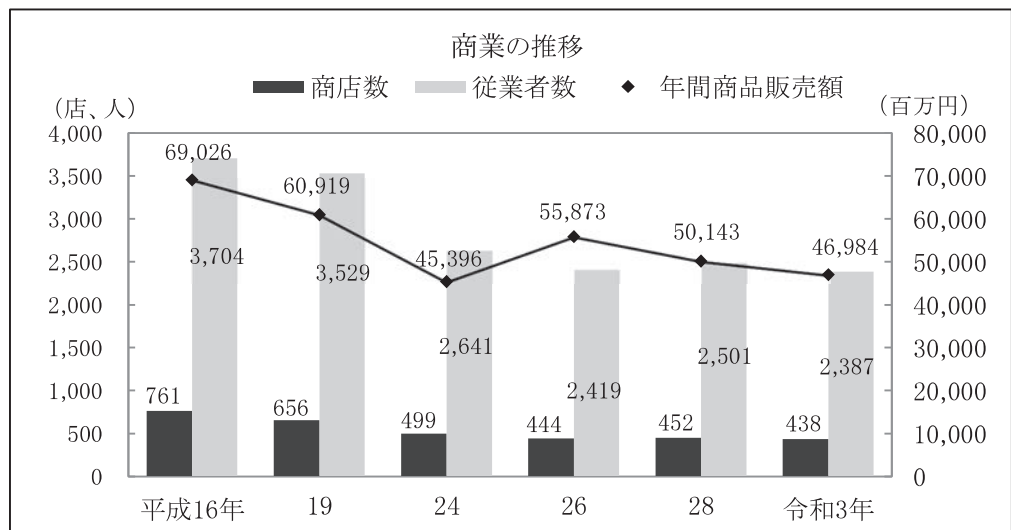
● 商 業

商業の推移

(平成16・19・28・令和3年6月1日、平成24年2月1日、平成26年7月1日現在)

区 分	総 数			卸 売 業			小 売 業		
	商店数	従業者数	年間商品販売額	商店数	従業者数	年間商品販売額	商店数	従業者数	年間商品販売額
	店	人	百万円	店	人	百万円	店	人	百万円
平成16年	761	3,704	69,026	124	843	28,406	637	2,861	40,620
19	656	3,529	60,919	118	752	23,719	538	2,777	37,200
24	499	2,641	45,396	79	501	12,817	420	2,140	32,580
26	444	2,419	55,873	72	469	24,535	372	1,950	31,338
28	452	2,501	50,143	65	410	16,508	387	2,091	33,635
令和3年	437	2,387	46,984	62	384	18,546	375	2,003	28,438

(資料:経済産業省「商業統計調査」、総務省統計局「経済センサス-活動調査」)
※年間商品販売額が不明の事業所は含めない。



● 観 光 客 入込状況

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 客
		人	人	
令和2年	230,449	63,548	166,901	
3	230,563	58,904	168,279	
4	246,984	63,756	183,228	
5	229,305	69,230	160,075	
6	225,147	68,853	156,294	
7	233,764	60,344	173,420	

(資料:産業振興課)

● レクリエー ション施設 利用状況

区分	運動公園	キャンプ場	ゴルフ場
	人	人	人
令和2年	39,215	16,840	8,844
3	40,277	16,270	9,582
4	47,504	28,345	8,957
5	48,917	21,274	7,095
6	56,508	18,467	6,519
7	69,969	15,127	6,882

(資料:産業振興課)

第 4 章

市 民 生 活

市民生活

【住 宅】

令和5年住宅・土地統計調査による本市の住宅戸数は、総数10,020戸で、木造6,590戸、鉄筋・鉄骨コンクリート造1,920戸、鉄骨造1,480戸であった。

【道 路】

実延長でみると、国道は16,863.0m、県道26,545.0m、市道243,309.2mとなっている。

国道の舗装済延長は16,863.0m、舗装率100%、県道の舗装済延長は26,545.0mで舗装率は100%となっている。市道は舗装済延長239,989.0mで98.6%の舗装率となっている。

【生活保護】

令和7年度末現在における本市の状況は、被保護実世帯数387世帯、被保護実人員475人、保護率21.77%であった。

保護費総額は808,936千円で前年から1.6%増加している。

【福祉医療費】

令和7年度末現在の福祉医療費の合計は3,784,296,891円（前年比1.0%減）であった。

令和7年度のこども医療は55,309,789円で令和2年度の45,410,397円から、21.8%増加している。また、令和7年度の重度心身障害児者医療は52,801,049円で令和2年度の57,936,907円から、8.9%減少している。

【要介護認定の状況】

令和8年4月1日現在の要介護認定者は1,714人で、総人口の8.3%であった。うち65歳以上の要介護認定者は1,709人で65歳以上人口の24.5%となっている。

【検診受診状況】

令和6年度末における各種がん検診の受診率は、肺がん検診9.1%、胃がん検診16.0%、大腸がん検診9.4%となっている（対象者14,347人）。また、乳がん検診21.4%（対象者7,806人）、子宮がん検診22.2%であった（対象者9,669人）。

特定健診（メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健診）の受診率は36.5%となっている（対象者3,789人）。

【医療施設数及び医療従事者数】

令和7年度末現在の医療施設数は、病院で3施設637病床、診療所33、歯科診療所14であった。

医療従事者は令和7年12月31日現在で、医師115人、歯科医師24人、薬剤師34人となっている。

【国民年金】

令和7年度末の加入者総数は2,892人で、同年度末住民基本台帳人口20,543人の14.1%にあたる。

加入内訳は第1号が2,865人、任意27人であり、前年度比で加入者総数は5.3%減少、令和2年度比で15.6%減少している。

【国民健康保険】

令和6年度末の加入状況は、加入世帯数3,448世帯で同年度末住民基本台帳世帯数10,635世帯の32.4%を占め、被保険者数については5,471人で同年度住民基本台帳人口の26.6%となっている。

費用総額は233,418万円で、一人当たり医療費は426,646円であった。

平成31年度比で、被保険者数は18.4%減少し、費用総額は12.3%減少、一人当たりの医療費は7.6%増加している。

【ごみ処理】

令和7年度におけるごみ処理量合計は7,352.89tで同年度における市民1人あたりのゴミ処理量は0.36tとなる。

前年度と比較すると、燃えるごみが2.4%減少、資源ごみが5.7%減少、燃えないごみが17.7%減少、燃える大型ごみ11.0%増加、燃えない大型ごみが23.8%増加、小型プラスチックごみが0.6%増加している。

【し尿処理】

令和7年度におけるし尿処理量合計は16,698.08klで、前年度と比較すると0.4%増加しており、市民1人あたりのし尿処理量は0.8klとなる。

また水洗化率は51.30%となっている。

【大気汚染物質測定状況】

令和7年度における大気汚染物質量は、全局年平均値でみると、二酸化硫黄0.000ppm、二酸化窒素0.002ppm、浮遊粒子状物質0.013mg/m³となっている。

第4章 市民生活

【下水道】

平成4年度に策定した農業集落排水事業基本計画に基づき、平成6年度は富安地区、平成7年度は上野・楠井地区、平成8年度は野島地区、平成14年度は加尾地区で事業着手しており、事業進捗率は、全地区で100％となっている。

また水洗化率は富安地区83％、上野・楠井地区90％、野島地区91％、加尾地区84％である。

平成24年度から塩屋処理区の公共下水道の使用がスタートし、令和8年3月31日現在1,950人に供用されている。普及率は9.5％である。

【水道】

令和7年度末における給水人口は20,460人、給水戸数12,075戸、年間総給水量3,402,381 m^3 （前年比3.6％増）で、給水人口1人あたりの年間給水量は166.3 m^3 、給水戸数1戸あたりは281.8 m^3 となる。

【電気消費量】

平成27年度末における電灯、電力等の需要口総数は21,980口（前年比0.1％増）、消費総量は77,967千kwh（同5.8％減）となっている。

【たばこ消費量】

令和7年における年間たばこ消費量は、39,092,507本（前年比2.0％減）で、令和2年度比では6.5％減少している。

● 住 宅
状 況

住宅の建て方、構造、階数別住宅数

構 造	総 数	一 戸 建 て			長 屋 建 て		
		計	1階	2階以上	計	1階	2階以上
	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
住 宅 総 数	10,020	7,580	1,890	5,690	290	20	270
木 造	6,590	6,110	1,770	4,340	190	10	180
鉄筋・鉄骨コンクリート造	1,920	740	100	640	100	10	90
鉄 骨 造	1,480	720	30	690	－	－	－
そ の 他	30	30	－	30	－	－	－

構 造	共 同 住 宅						その他
	計	1階	2階	3～5階	6～10階	11階以上	
	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
住 宅 総 数	2,110	－	1,450	650	－	－	40
木 造	280	－	270	10	－	－	10
鉄筋・鉄骨コンクリート造	1,070	－	500	570	－	－	10
鉄 骨 造	750	－	680	70	－	－	20
そ の 他	－	－	－	－	－	－	－

(資料:総務省「令和5年住宅・土地統計調査」)

住宅の種類・構造、建築の時期

区 分	総 数	住宅の種類		構 造			
		専用住宅	店舗その他の併用住宅	木 造	鉄筋・鉄骨コンクリート造	鉄骨造	その他
	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
総 数	10,020	9,460	560	6,590	1,920	1,480	30
S45年以前	1,330	1,180	150	1,160	140	20	10
S46 ～ S55	1,820	1,740	80	1,210	410	200	－
S56 ～ H2	1,710	1,580	130	1,090	310	310	－
H 3 ～ H12	1,390	1,300	90	810	340	240	－
H13 ～ H22	1,420	1,400	20	960	170	270	10
H23 ～ R2	1,370	1,320	50	870	290	210	－
R3 ～ R5.9	100	100	－	70	10	20	－

※建築の時期「不詳」を含む。

(資料:総務省「令和5年住宅・土地統計調査」)

※住宅・土地統計調査について

標本調査による推定値であるため、1位を四捨五入して10位までを有効数字として表章した。
したがって、表中の個々の数字の合計が必ずしも総数とは一致しない。
また、平均値については、それぞれ表章単位未満を四捨五入して表章とした。

第4章 市民生活

推 移

(各年10月1日現在)

区 分	住 宅 数	世 帯 数	世帯人員	1住宅あたり 居 住 室 数	1住宅あたり 居住室数の 畳 数	1住宅あたり 延 面 積
	戸	世帯	人	室	枚	m ²
平成 5年	8,840	8,880	27,300	5.77	34.05	113.32
10	9,360	9,370	27,420	5.50	31.72	106.38
15	9,480	9,530	27,210	5.70	35.19	118.05
20	9,320	9,400	25,200	5.67	36.14	121.07
25	9,500	9,570	24,440	5.57	36.03	120.51
30	9,320	9,340	21,860	5.20	35.66	111.03
令和5年	10,020	10,100	21,860	5.26	36.12	108.14

区 分	1人あたり 居住室の畳数	1室あたり人員
	枚	人
平成 5年	11.03	0.54
10	10.84	0.53
15	12.23	0.51
20	13.31	0.48
25	13.99	0.46
30	15.15	0.45
令和5年	16.22	0.42

(資料:総務省「住宅・土地統計調査」
平成5年まで「住宅統計調査」)

公営住宅 の 状 況

(令和8年3月31日現在)

区 分	所 在 地	管 理 戸 数
県 営 住 宅	下富安団地	富 安 96 戸
	第二吉田団地	吉 田 18 戸
	藤田団地	吉 田 48 戸
市 営 住 宅	市内各地	758 戸
計		920 戸

(資料:日高振興局、建築住宅課)

● 道 路

整備状況

(令和8年4月1日現在)

区 分	実 延 長	改良済延長 (改良率)	舗装済延長 (舗装率)
	m	m %	m %
国 道	42 号	13,555.0	13,555.0 (100.0)
	425 号	3,308.0	3,308.0 (100.0)
	小 計	16,863.0	16,863.0 (100.0)
県 道	御坊美山線	3,276.0	3,276.0 (100.0)
	御坊由良線	440.0	440.0 (100.0)
	御坊中津線	4,101.0	4,101.0 (100.0)
	日高印南線	6,145.0	6,145.0 (100.0)
	一般県道(6路線)計	12,583.0	12,583.0 (100.0)
	小 計	26,545.0	21,934.0 (82.6)
市 道	一級市道 (18路線)	30,712.5	30,280.1 (98.6)
	二級市道 (25路線)	34,509.6	34,027.3 (98.6)
	その他市道 (642路線)	178,087.1	175,249.2 (98.4)
	小 計 (685路線)	243,309.2	239,989.0 (98.6)
合 計		286,717.2	213,721.6 (74.5)

(資料:紀南河川国道事務所、日高振興局、都市建設課)

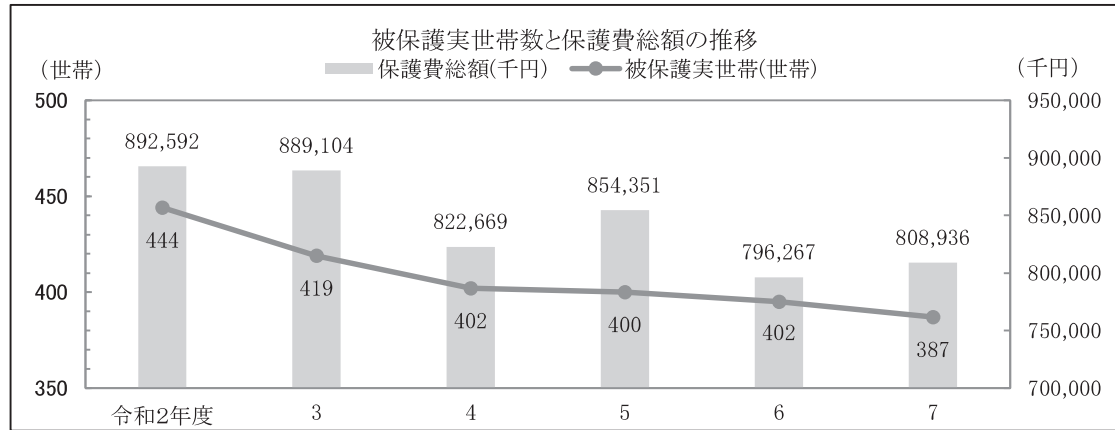
● 福 祉

生活保護費
の 推 移

(各年度末現在)

区 分	各 年 度 末 現 在			保護費 総 額	生活 扶助	医療 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	介護 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助	施設 扶助
	被保護 実世帯数	被保護 実人数	保護率										
	世帯	人	‰	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
令和2年度	444	573	24.65	892,592	231,184	548,789	75,281	2,646	19,176	0	1,586	2,182	11,748
3	419	542	23.43	889,104	221,963	552,509	72,045	2,481	22,085	0	1,545	1,623	14,853
4	402	507	21.91	822,669	214,830	489,969	70,012	2,410	24,341	0	1,604	1,770	17,733
5	400	509	22.24	854,351	215,461	523,912	69,607	2,363	25,331	432	946	2,086	14,213
6	395	492	22.03	796,267	207,993	477,016	67,349	2,992	25,009	419	1,338	1,318	12,833
7	387	475	21.77	808,936	202,180	497,813	66,916	3,012	22,351	464	1,004	1,021	14,175

(資料:社会福祉課)



(各年度末現在)

福祉医療費
の 推 移

区 分	後期高齢者医療	老人医療	重度心身障害 児者医療	ひとり親医療
	円	円	円	円
令和2年度	3,266,119,688	1,105,744	57,936,907	30,474,279
3	3,292,264,764	1,606,148	51,419,060	29,817,082
4	3,545,172,416	765,428	59,159,466	30,481,319
5	3,606,509,421	1,210,227	61,125,206	32,193,381
6	3,660,482,949	731,075	56,944,924	29,136,053
7	3,624,659,430	180,705	52,801,049	30,237,070

区 分	乳幼児医療	こども医療費	計
	円	円	円
令和2年度	20,053,129	45,410,397	3,421,100,144
3	23,061,453	46,665,373	3,444,833,880
4	22,756,160	48,023,638	3,706,358,427
5	27,267,179	57,876,737	3,786,182,151
6	20,777,675	54,729,770	3,822,802,446
7	21,108,848	55,309,789	3,784,296,891

(資料:保険年金課、こども支援課、社会福祉課)

身体障害者
知的障害者
精神障害者
の 現 況

(令和8年4月1日現在)

区 分		身体障害者		知的障害者		精神障害者		合 計	
		うち児童	うち児童	うち児童	うち児童	うち児童	うち児童	うち児童	うち児童
重 度	身体1・2級 療育A 精神1級	415	7	58	10	15	0	488	17
そ の 他	身体3～6級 療育B 精神2・3級	560	3	133	40	264	20	957	63
合 計		975	10	191	50	279	20	1,445	80

(資料:社会福祉課)

第4章 市民生活

保 育 所

(令和8年4月1日現在)					
区 分	公私の別	定 員	入所児童数	職 員 数	開設年月日
		人	人	人	
つばさ 保 育 園	公	100	70	24	平成17年 4月 1日
わかば 保 育 園	公	60	38	23	昭和46年 4月 1日
しらゆり 保 育 園	公	50	40	18	昭和48年 7月 1日
愛 徳 保 育 園	私	90	95	27	昭和43年10月 1日
しんせい保 育 園	私	120	135	25	昭和56年 4月 1日
たんぽぽ乳幼児保育園	私	50	32	10	平成14年 4月 1日

(資料:こども支援課)

学童保育所

(各年4月1日現在)												
区 分	御坊子どもクラブ			藤田子どもクラブ			河南子どもクラブ			湯川子どもクラブ		
	支援員数	定員	児童数	支援員数	定員	児童数	支援員数	定員	児童数	支援員数	定員	児童数
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
令和 3年	7	90	82	3	40	43	2	30	30	3	32	35
4	7	90	89	3	40	36	2	30	30	3	32	34
5	7	90	91	4	40	31	2	30	33	3	32	35
6	6	90	76	3	40	36	2	32	35	5	60	62
7	7	90	79	2	40	27	5	32	35	5	60	62
8	11	90	69	2	40	21	3	32	35	3	60	51

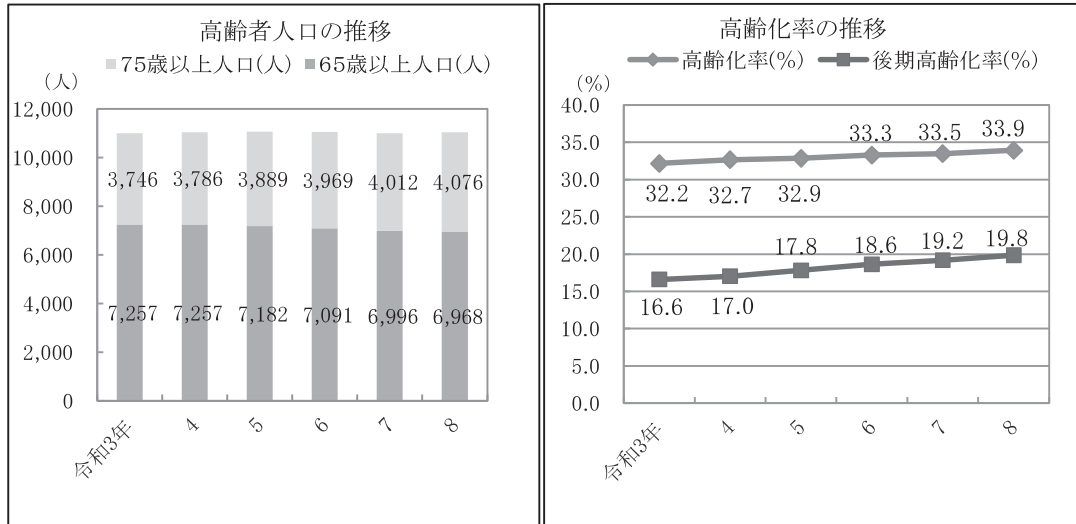
(資料:こども支援課)

高齢者比率
の推移

(各年4月1日現在)

区 分	全 体	総人口	65歳以上 人 口	高齢化率	75歳以上	後期高齢化率
	総世帯数				人 口	
	世帯	人	人	%	人	%
令和3年	10,808	22,567	7,257	32.2	3,746	16.6
4	10,795	22,223	7,257	32.7	3,786	17.0
5	10,890	21,851	7,182	32.9	3,889	17.8
6	10,788	21,314	7,091	33.3	3,969	18.6
7	10,695	20,903	6,996	33.5	4,012	19.2
8	10,635	20,543	6,968	33.9	4,076	19.8

※外国人住民・世帯を含む。(資料:市民環境課)

要介護認定
の状況

(令和8年4月1日現在)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	人	人	人	人	人	人	人	人
64歳以下	2	7	2	4	4	2	3	24
65歳以上 75歳未満	25	35	27	30	24	17	23	181
75歳以上	243	197	261	223	208	219	158	1,509
計	270	239	290	257	236	238	184	1,714

(資料:健康長寿課)

介護保険施設
入所の状況

(令和8年4月1日現在)

施設の区分	入 所 者
	人
介護老人福祉施設	260
介護老人保健施設	94
介護医療院	2

(資料:健康長寿課)

第4章 市民生活

● 保健衛生

各種検診受診
状 況

(各年度末現在)

区 分	対象者数 (※40歳以上)	肺 が ん 検 診			胃 が ん 検 診			大 腸 が ん 検 診		
		受 診 者 数	内要精 検者数	受診率	受 診 者 数	内要精 検者数	受診率	受 診 者 数	内要精 検者数	受診率
	人	人	人	%	人	人	%	人	人	%
令和4年度	14,702	1,246	55	9.6	966	81	18.2	1,355	80	10.2
5	14,539	1,259	59	9.7	702	55	16.6	1,281	84	9.6
6	14,347	1,166	20	9.1	870	49	16.0	1,238	77	9.4

区 分	乳 が ん 検 診				子 宮 頸 が ん 検 診			
	対象者数 (※40歳以上女性)	受 診 者 数	内要精 検者数	受診率	対象者数 (※20歳以上女性)	受 診 者 数	内要精 検者数	受診率
	人	人	人	%	人	人	人	%
令和4年度	8,015	280	23	23.0	9,963	502	20	23.6
5	7,920	814	31	19.2	9,848	963	25	20.8
6	7,806	364	22	21.4	9,669	568	10	22.2

(資料:保険年金課)

※胃がん検診において、平成30年度から国の指針に従い、40～49歳はエックス線検診のみとした。

※乳がん検診及び子宮頸がん検診において、令和4年度から国の指針に従い、2年に1回の受診頻度とした。

区 分	対 象 者 数 (40歳～74歳の 国民健康保険加入者)	特 定 健 診		
		受 診	内臓脂肪 症候群 該当者数	受 診 率
	人	人	人	%
令和4年度	4,182	1,463	277	35.0
5	3,971	1,450	302	36.5
6	3,789	1,384	284	36.5

(資料:保険年金課)

※特定健診とはメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した生活習慣病予防のための健診

医療施設数
及び医療
従事者数

(各年度末現在)

区 分	医 療 施 設 数				
	保健所	病 院		診療所	歯 科 診療所
		施 設	病 床		
令和2年度	1	3	659	33	18
3	1	3	649	34	18
4	1	3	649	33	18
5	1	3	649	32	16
6	1	3	649	33	15
7	1	3	637	33	14

(資料:御坊保健所)

※病床:一般病棟、精神科病棟、感染病床棟の合計

(各年12月31日現在)

区 分	医 療 従 事 者 数		
	医 師	歯科医師	薬剤師
	人	人	人
令和2年	103	25	31
3	102	23	28
4	111	26	30
5	109	23	28
6	115	24	34

(資料:御坊保健所)

※医療従事者数:病院、一般診療所(保健所含まず)、歯科診療所の常勤者

● 国民年金

加入状況

(各年度末現在)			
区 分	加入者総数	第1号	任 意
	人	人	人
令和2年度	3,425	3,396	29
3	3,340	3,310	30
4	3,210	3,183	27
5	3,112	3,072	40
6	3,054	3,020	34
7	2,892	2,865	27

(資料:保険年金課)

年金
受給権者数

(各年度末現在)					
区 分	受給権者 総 数	老 齢	障 害	遺 族	寡 婦
	人	人	人	人	人
令和2年度	8,036	7,302	659	62	13
3	8,203	7,467	664	61	11
4	7,953	7,220	671	52	10
5	7,866	7,141	667	48	10
6	7,785	7,071	657	47	10
7	7,766	7,055	654	47	10

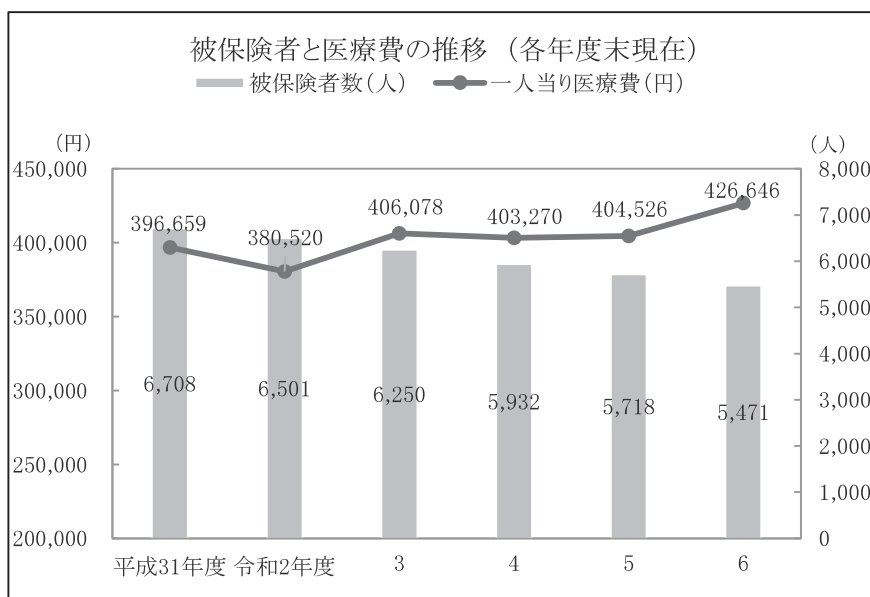
(資料:保険年金課)

● 国民健康
保 険

状 況

(各年度末現在)				
区 分	加入世帯数	被保険者数	費用総額	一人当り医療費
	世帯	人	万円	円
平成31年度	3,930	6,708	266,079	396,659
令和2年度	3,853	6,501	247,377	380,520
3	3,788	6,250	253,799	406,078
4	3,653	5,932	239,220	403,270
5	3,552	5,718	231,308	404,526
6	3,448	5,471	233,418	426,646

(資料:保険年金課)



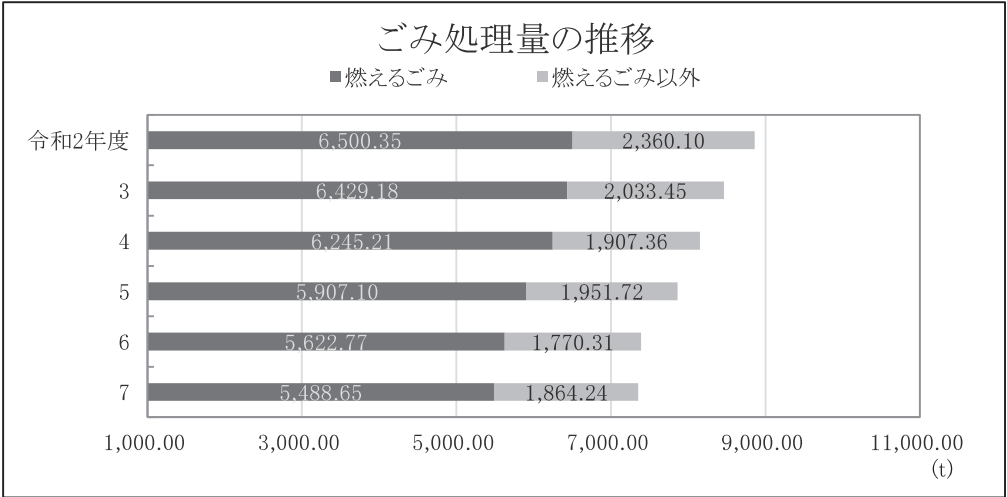
第4章 市民生活

● 環 境

ごみ処理 状 況

(各年度末現在)								
区分	合計	燃えるごみ	資源ごみ	燃えないごみ	燃える大型ごみ	燃えない大型ごみ	小型プラスチックごみ	その他
令和2年度	8,860.45	6,500.35	222.58	329.80	1,239.62	343.87	193.90	30.33
3	8,462.63	6,429.18	218.52	311.09	1,061.08	230.14	179.66	32.96
4	8,152.57	6,245.21	207.37	257.35	1,040.76	197.94	165.47	38.47
5	7,858.82	5,907.10	188.85	252.19	1,097.60	203.56	166.59	42.93
6	7,393.08	5,622.77	166.14	235.27	989.15	182.46	158.87	38.42
7	7,352.89	5,488.65	156.68	193.70	1,098.25	225.83	159.75	30.03

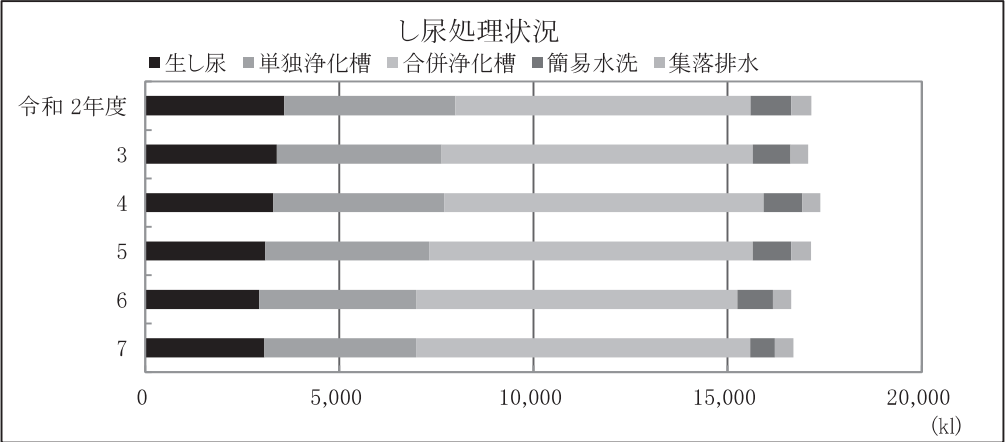
(資料:市民環境課)



し尿処理 状 況

(各年度末現在)							
区 分	合 計	生し尿	簡易水洗	単独浄化槽	合併浄化槽	集落排水	水洗化率
	kl	kl	kl	kl	kl	kl	%
令和 2年度	17,150.00	3,580.36	1,042.37	4,408.55	7,605.45	513.27	42.20
3	17,078.35	3,394.72	967.96	4,238.55	8,018.53	458.59	42.80
4	17,391.58	3,296.72	991.85	4,400.73	8,233.73	468.55	46.00
5	17,143.78	3,095.88	991.38	4,217.81	8,334.67	504.04	49.10
6	16,633.47	2,935.95	913.97	4,033.79	8,281.21	468.55	49.39
7	16,698.08	3,073.31	640.43	3,905.06	8,601.89	477.39	51.30

※単独浄化槽は水洗化率に含まない。(資料:市民環境課)



大気汚染
物質測定
状況

二酸化硫黄の経年変化(年平均値)

区 分	御坊局	湯川局	藤田局	野口局	塩屋局	名田局	全局平均
	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm
令和2年度	0.001	0.004	0.005	0.003	0.004	0.004	0.004
3	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
4	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001
5	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
6	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
7	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

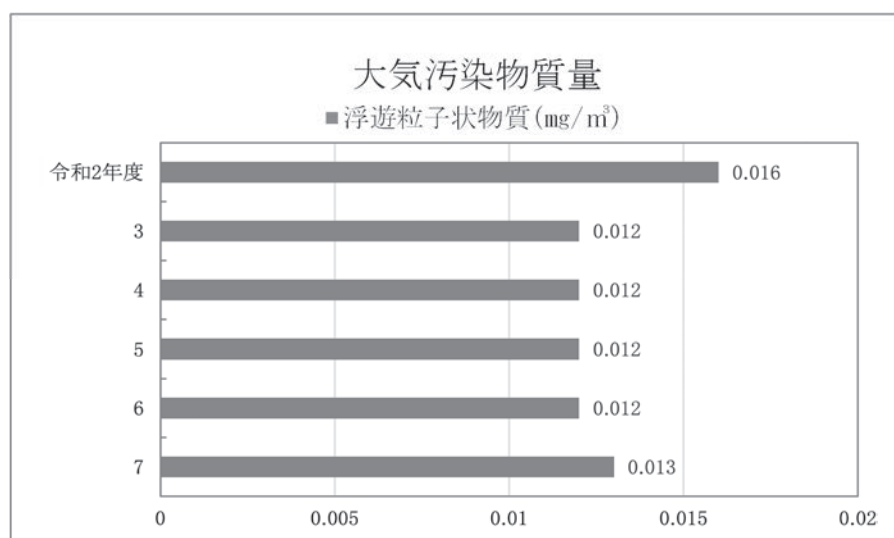
二酸化窒素の経年変化(年平均値)

区 分	御坊局	湯川局	藤田局	野口局	塩屋局	名田局	全局平均
	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm
令和2年度	0.004	0.003	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003
3	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.003
4	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.003
5	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.003
6	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
7	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002

浮遊粒子状物質の経年変化(年平均値)

区 分	御坊局	湯川局	藤田局	野口局	塩屋局	名田局	全局平均
	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³
令和2年度	0.013	0.018	0.016	0.015	0.016	0.016	0.016
3	0.013	0.012	0.012	0.011	0.012	0.012	0.012
4	0.014	0.012	0.012	0.011	0.012	0.012	0.012
5	0.014	0.011	0.011	0.012	0.012	0.012	0.012
6	0.013	0.012	0.012	0.012	0.012	0.012	0.012
7	0.015	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013

(資料:市民環境課)



※二酸化硫黄・二酸化窒素は数値がほぼ一定のためグラフを作成していない。

第4章 市民生活

● 下水道

状況

農業集落排水事業の計画と進捗状況							
(令和8年3月31日現在)							
区 分	事業開始年度	管路延長	処理計画人口	現在処理 区域内人口	水洗便所 設置済 人 口	水洗化率	事業進捗率
		km	人	人	人	%	%
富安地区	平成 6年度	10.7	1,110	673	521	83	100
上野・楠井地区	平成 7年度	9.8	2,100	1,058	892	90	100
野島地区	平成 8年度	2.0	470	245	226	91	100
加尾地区	平成14年度	2.1	1,050	250	169	84	100

*水洗化率とは加入戸数のうち開始戸数の割合をいう。(資料:上下水道事務所)

公共下水道事業(塩屋処理区)の計画と進捗状況

全体計画面積	認可区域内 面積	供用開始面積
ha	ha	ha
92.0	78.0	72.4

住民基本台帳人口	全体計画人口	供用開始人口	普及率
人	人	人	%
20,543	2,200	1,950	9.5

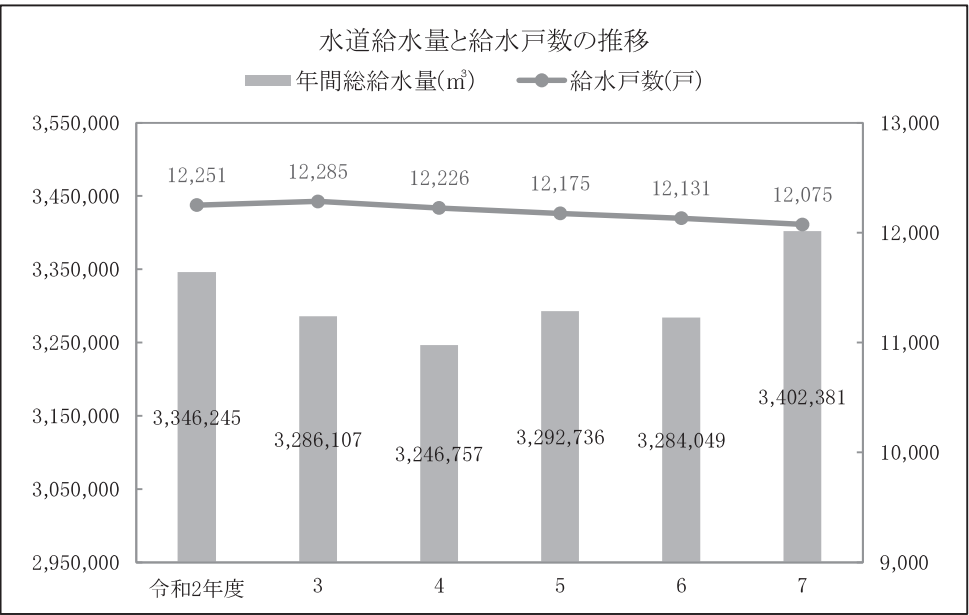
*普及率＝供用開始人口/住民基本台帳人口(外国人住民含む)

● 水道

給水量

(各年度末現在)							
区 分	給水人口	給水戸数	年間総 給水量	1日平均 給水量	1日最大 給水量	1日1人平均 給水量	1日1人最大 給水量
	人	戸	m ³	m ³	m ³	ℓ	ℓ
令和2年度	22,476	12,251	3,346,245	9,167	10,176	407	452
3	22,134	12,285	3,286,107	9,003	10,017	406	452
4	21,763	12,226	3,246,757	8,895	10,151	408	466
5	21,228	12,175	3,292,736	8,996	10,438	423	491
6	20,819	12,131	3,284,049	8,997	10,195	432	489
7	20,460	12,075	3,402,381	9,321	10,514	455	513

(資料:上下水道事務所)



● 電 気

需要口数と
消費量

区 分	需要口総数 (年度末)				消費総量 (年度末)			
	電 灯	電 力	その他		電 灯	電 力	その他	
					千kwh	千kwh	千kwh	千kwh
平成22年度	21,915	18,867	3,048	－	93,562	76,211	17,351	－
23	21,952	18,957	2,995	－	89,817	73,610	16,207	－
24	21,945	19,001	2,944	－	87,245	71,750	15,495	－
25	21,882	19,002	2,880	－	86,141	70,693	15,448	－
26	21,952	19,104	2,848	－	82,456	67,242	15,214	－
27	21,980	19,163	2,817	－	77,967	64,637	13,330	－

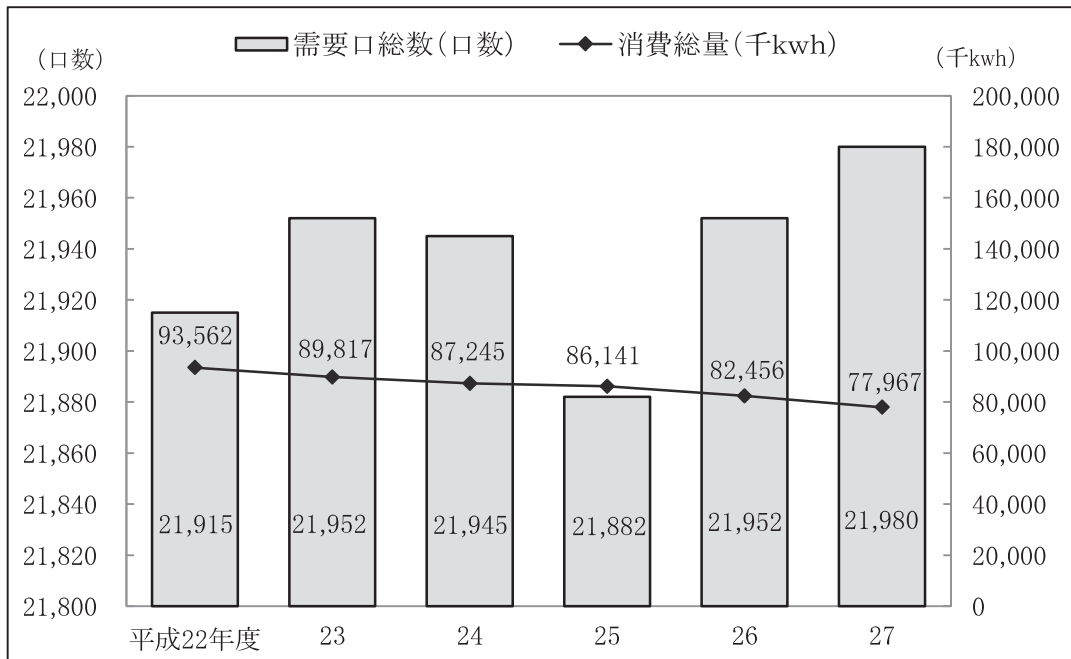
※平成18年度より規制分野のみ開示

(資料: 関西電力株式会社)

※特定規模需要(高圧)を除く。

※その他は電灯・電力に含む。

※平成28年度より電力小売全面自由化開始により、集計が不可能となったため統計データなし。



● たばこ

消費量

年(各年3月～2月)	令和2年	3	4	5	6	7
消費量(本)	41,812,084	41,203,625	41,068,531	41,342,058	39,874,943	39,092,507

(資料: 税務課)

第 5 章

運 輸 ・ 通 信

運輸・通信

【自動車台数】

令和6年度末における登録自動車総数は20,063台で、前年比で120台の減少であった。このうち乗用車（普通・小型）は5,848台、軽自動車は11,439台で全体の86.2%を占めており、住民基本台帳1世帯あたりにすれば1.89台の所有となる。

原動機付自転車は2,547台である。

【御坊IC・御坊南IC出入交通量】

令和6年度末における御坊IC出入交通量は、年間1,648,536台、前年度比で2.3%減少している。1日平均でみると4,517台である。また御坊南ICの出入交通量は678,068台、前年度より1.9%の減少で、1日平均1,858台となっている。

【鉄道乗客数】

令和7年度末におけるJR御坊駅の年間乗客数は517,000人（前年比0.6%増）でJR道成寺駅は22,000人（同8.3%減）となっている。

私鉄の紀州鉄道の年間乗客数は92,900人（同0.8%増）となっており、そのうち御坊駅での乗客数が50,166人と最も多く、全体の54.0%となっている。

【日高港海上出入貨物総数】

令和6年末における日高港の海上出入貨物数は、内国貿易の移出が148,074t、移入が177,989tとなっている。

品目でみると、内国貿易の鉱産品の移入が144,655tで内国移入の81.3%を占めており、次いで化学工業品で29,884tとなっている。

【電話加入数】

令和7年度末現在の本市域の加入電話数は2,539件（前年比8.3%減）で、公衆電話数は4件減少して22件となっている。

【テレビ受信契約数】

令和6年度末におけるNHKテレビ受信契約数は7,949件（前年比1.2%減）で、うち2,702件（同1.7%減）が衛星放送の契約となっている。

● 自動車
在籍台数

(各年度末現在)

区 分	自動車 総 数	乗 用 車		ト ラ ッ ク			バス	特種(殊) 自動車	軽自動車	その他	原 動 機 自 転 車
		普通	小型	普通	小型	被けん引車					
平成31年度	20,377	2,772	3,278	367	568	1	55	446	11,592	1,298	2,950
令和2年度	20,470	2,850	3,199	371	569	1	51	457	11,660	1,312	2,847
3	20,469	2,916	3,107	381	576	1	50	455	11,660	1,323	2,731
4	20,347	2,941	3,021	385	579	1	43	450	11,597	1,330	2,655
5	20,183	3,020	2,882	382	580	2	39	459	11,487	1,332	2,568
6	20,063	3,082	2,766	373	573	2	42	458	11,439	1,328	2,547

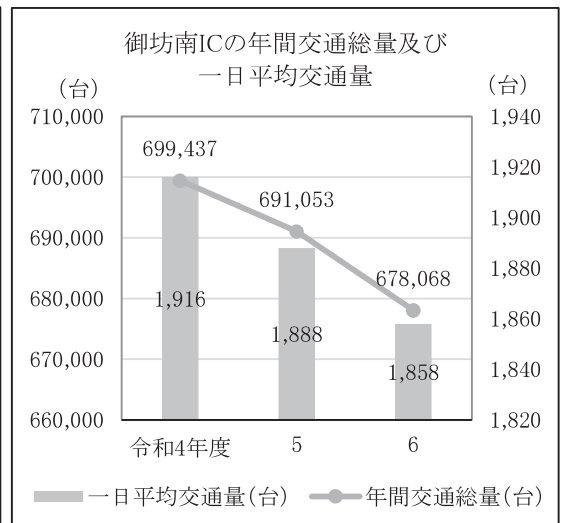
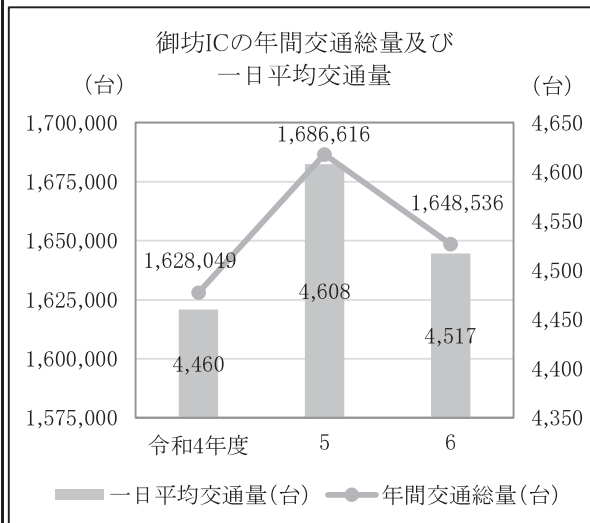
※普通、小型の種別は道路運送車両に基づく。(資料:和歌山県「和歌山県統計年鑑」、税務課)
 ※特種(殊)自動車とは、タンクローリー等の特種用途車及びロードローラー等の大型特殊自動車をいう。
 ※軽自動車とは、126cc以上250cc以下の二輪車、660cc以下の三輪車及び四輪車をいう。
 ※その他は250ccを超える小型二輪車、耕耘機等の小型特殊自動車である。
 ※原動機付自転車とは、125cc以下の二輪車をいう。(50cc以下のミニカーを含む)
 ※税務資料による非課税車を含む。

● 高速IC
出 入
交通量

(各年度末現在)

令和4年度				令和5年度				令和6年度			
御坊IC		御坊南IC		御坊IC		御坊南IC		御坊IC		御坊南IC	
年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量	年間交 通総量	1日平均 交通量
台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台
1,628,049	4,460	699,437	1,916	1,686,616	4,608	691,053	1,888	1,648,536	4,517	678,068	1,858

※平成30年度より情報公開見直しにより月別の数値は公表していない。(資料:西日本高速道路株式会社 関西支社)



第5章 運輸・通信

●乗客数

鉄道乗客数

(各年度末現在)			
J R	乗客総数	J R御坊駅 乗客数	J R道成寺駅 乗客数
	人	人	人
令和 5年度	548,000	522,000	26,000
6	539,000	514,000	24,000
7	539,000	517,000	22,000

(資料:JR西日本和歌山支社)

※乗客数は百人以下四捨五入で算出

(各年度末現在)							
紀州鉄道	乗客総数	御坊駅 乗客数	学門駅 乗客数	紀伊御坊駅 乗客数	市役所前駅	乗客数	西御坊駅 乗客数
	人	人	人	人	人	人	人
令和 5年度	95,082	50,735	4,745	21,535		4,197	13,870
6	92,205	49,790	4,610	21,207		3,688	12,910
7	92,900	50,166	4,645	21,367		3,716	13,006

(資料:紀州鉄道株式会社)

バス乗客数

(令和8年3月31日現在)						
区 分	市内運行 路線名	運 行 系 統			運行本数 ()内日祝	年間乗客数
		発着停留所名	終着停留所名	運行距離		
熊野御坊 南海バス(株)	日高川線	御坊南海バス前 (高津尾	川 原 河 経 由)	往 32.9	7 (6)	25,549
				復 32.9	7 (6)	
	日裏線	御坊南海バス前	川又観音口	往 32.4	3 (0)	2,415
				復 32.4	3 (0)	
	阿尾線	御坊南海バス前	田 杭 浜	往 15.6	5 (5)	31,577
				復 15.6	7 (6)	
	日の岬パーク線	御 坊 駅	海 猫 島	往 10.5	7 (7)	32,303
				復 10.5	7 (7)	
	印南線	御 坊 駅	印 南 駅	往 15.8	12 (8)	69,296
				復 15.8	11 (8)	
中紀バス(株)	御坊・白崎線	白 崎 西 (御坊本町・内原経由)	大 浜 通 り	21.1	4 (0)	20,398

(資料:熊野御坊南海バス株式会社、中紀バス株式会社)

● 港 湾

日高港
入港
船舶数

(各年12月31日現在)

		計	外航商船	外航自航	内航商船	内航自航	漁 船	避難船	その他	鉄道連絡船
平成31年	隻数	222	-	-	222	-	-	-	-	-
	総トン数	182,541	-	-	182,541	-	-	-	-	-
令和2年	隻数	389	7	-	382	-	-	-	-	-
	総トン数	262,646	39,911	-	222,735	-	-	-	-	-
3	隻数	344	-	-	344	-	-	-	-	-
	総トン数	374,420	-	-	374,420	-	-	-	-	-
4	隻数	235	-	-	232	-	-	-	3	-
	総トン数	346,721	-	-	346,065	-	-	-	656	-
5	隻数	344	-	-	342	-	-	-	2	-
	総トン数	374,420	-	-	374,271	-	-	-	149	-
6	隻数	239	4	-	227	-	-	-	8	-
	総トン数	218,144	28,105	-	178,428	-	-	-	11,611	-

(資料:和歌山県県土整備部港湾空港局「和歌山県港湾統計」)

(令和6年分)

(単位:トン)

日高港
海上出入
貨物総数

		合 計	フェリーを 除く合計	農水産品	林産品	鉱産品	金属機械 工業品	化 学 工業品
計	計	327,387	327,387	-	6,750	286,479	1,324	29,884
	出	148,074	148,074	-	6,250	141,824	-	-
	入	179,313	179,313	-	500	144,655	1,324	29,884
外国貿易	計	1,324	1,324	-	-	-	1,324	-
	出	-	-	-	-	-	-	-
	入	1,324	1,324	-	-	-	1,324	-
内国貿易	計	326,063	326,063	-	6,750	286,479	-	29,884
	出	148,074	148,074	-	6,250	141,824	-	-
	入	177,989	177,989	-	500	144,655	-	29,884

		軽工業品	雑工業品	特殊品	分類不能	フェリー
計	計	-	-	2,950	-	-
	出	-	-	-	-	-
	入	-	-	2,950	-	-
外国貿易	計	-	-	-	-	-
	出	-	-	-	-	-
	入	-	-	-	-	-
内国貿易	計	-	-	2,950	-	-
	出	-	-	-	-	-
	入	-	-	2,950	-	-

(資料:和歌山県県土整備部港湾空港局「和歌山県港湾統計」)

日高港
海上出入
貨物推移

(単位:トン)

		平成31年	令和2年	3	4	5	6
計	計	307,089	462,073	626,460	564,419	621,657	327,387
	出	7,285	24,910	8,223	8,728	8,223	148,074
	入	299,804	437,163	618,237	555,691	613,434	179,313
外国貿易	計	-	2,676	-	-	-	1,324
	出	-	1,238	-	-	-	-
	入	-	1,438	-	-	-	1,324
内国貿易	計	307,089	459,397	626,460	564,419	621,657	326,063
	出	7,285	23,672	8,223	8,728	8,223	148,074
	入	299,804	435,725	618,237	555,691	613,434	177,989

(資料:和歌山県県土整備部港湾空港局「和歌山県港湾統計」)

第5章 運輸・通信

● 郵便

市内
郵便機関数

(令和8年3月31日現在)

日本郵便株式会社				郵便ポスト	切手類 販売所
総数	御坊郵便局	郵便局	簡易局		
21	1	15	5	151	49

(資料:日本郵便株式会社 御坊郵便局)

※御坊郵便局管内(御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町)

● 電話

加入数

(各年度末現在)

区 分	加入電話			公衆電話数
	総数	事務用	住宅用	
令和 2年度	3,755	1,050	2,705	47
3	3,425	877	2,548	40
4	3,111	830	2,281	36
5	2,967	838	2,129	32
6	2,770	797	1,973	26
7	2,539	1,790	749	22

(資料:NTTビジネスソリューションズ)

※御坊市内と日高郡美浜町(三尾は除く)、日高町の一部及び日高川町の一部を含む。
(20、22、23、24、29、32局)

● テレビ

受信契約
状況

(各年度末現在)

区 分	放送受信契約数	うち衛星契約数
平成31年度	8,555	2,922
令和 2年度	8,433	2,876
3	8,339	2,831
4	8,240	2,790
5	8,044	2,750
6	7,949	2,702

(資料:和歌山県「和歌山県統計年鑑」)

第 6 章

警 察 · 消 防

警 察 ・ 消 防

【 交 通 事 故 発 生 状 況 】

令和7年中に発生した交通事故は29件（前年比12.1％減）で、死者0名、負傷者は33名と前年並みとなっている。

【 刑 法 犯 罪 】

令和7年中の認知件数は211件で、前年比で110件増加、検挙件数は158件で、前年比で83件の増加であった。

犯罪の内訳でみるとその他を除くと窃盗犯罪が最も多く、認知件数は72件、検挙件数は63件となっている。

【 火 災 の 状 況 】

令和7年中の火災発生件数は11件と前年並みとなっている。罹災世帯数は4世帯、罹災人員は4名で、死傷者は2名となっている。

【 救 急 車 の 出 場 状 況 】

令和7年中の救急車の出場件数は1,454件（前年比11.3％減）であった。

事故別にみると、急病が897件で全体の61.7％を占め、以下一般負傷239件、交通事故82件、労働災害と自尊行為が11件と続いている。

● 警 察

交通事故
発生状況

(各年12月31日現在)				
区 分	件 数 (人身事故)	死 者	負傷者	免許保有者数
	件	人	人	人
令和2年	34	0	38	15,845
3	23	0	25	15,845
4	27	0	29	15,497
5	28	0	35	15,241
6	33	3	33	15,103
7	29	0	33	－

※高速道路は含まない。

(資料:御坊警察署)

※運転免許保有者数は令和6年に限り6月30日現在。システム変更に伴い、令和7年から調査不能。

刑法犯罪
罪 種 別
認知件数

(各年12月31日現在)								
区 分		総 数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
令和2年	認知件数	138	1	10	103	2	3	19
	検挙件数	75	1	8	51	2	3	10
3	認知件数	87	0	16	47	4	0	20
	検挙件数	94	0	16	67	4	0	7
4	認知件数	94	0	13	57	4	2	18
	検挙件数	67	0	9	49	4	1	4
5	認知件数	84	0	9	56	5	1	13
	検挙件数	50	0	7	35	0	0	8
6	認知件数	101	1	15	65	5	2	13
	検挙件数	75	1	15	46	5	2	6
7	認知件数	211	5	43	72	12	1	78
	検挙件数	158	5	37	63	4	1	48

(資料:御坊警察署)

※「認知件数」とは、犯罪について、被害の届出、告訴、告発及びその他の端緒により、警察においてその発生を認知した事件の数

※「検挙件数」とは、刑法犯において、警察で事件を送致、送付又は微罪処分した件数及び被疑者の数

● 消 防

火災の状況

(各年12月31日現在)									
区 分	火 災 発生件数	焼 損 面 積	罹 災			死 傷 者			損害額
		建 物	林 野	棟 数	世帯数	人 員	死 者	傷 者	
	件	m ²	a	棟	世帯	人	人	人	千円
令和2年	8	90	0	5	5	7	0	1	1,768
3	13	181	0	7	2	3	0	1	13,216
4	12	654	0	16	12	21	0	5	43,053
5	13	1,212	15	12	2	5	1	0	46,997
6	11	1,757	0	10	3	10	0	3	1,040
7	11	127	5	6	4	4	1	1	8,880

(資料:消防本部)

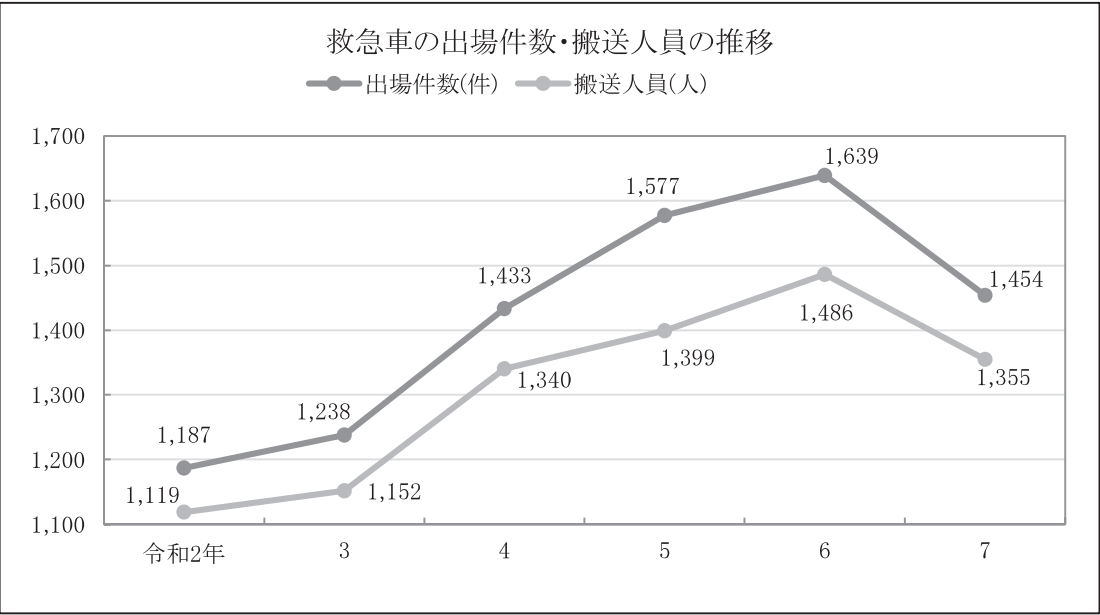
第6章 警察・消防

消防力の状況

(令和8年4月1日現在)																	
消防職員	消防分団	消防団員	総数	車 両 等										消火水利			
				ポンプ車	積載ポンプ車	小型動力付車	救急車	救助工作車	広報車	はしご車	高所放水車	大型化学消防車	原液搬送車	その他	防火水槽	消防井戸	消火栓
人	分団	人	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台			
50	6	210	45	10	19	3	1	3	1	1	1	1	1	5	129	49	664
(資料:消防本部)																	

救急車の出場状況

(各年12月31日現在)													
区 分	出場件数	火災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員
令和2年	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	人
1	1,187	0	0	0	101	9	2	174	2	8	702	189	1,119
3	1,238	1	0	1	85	13	4	198	1	10	718	207	1,152
4	1,433	2	0	3	100	19	8	187	3	11	885	215	1,340
5	1,577	0	0	3	99	10	6	233	3	14	991	218	1,399
6	1,639	2	0	2	98	13	0	222	7	10	1,057	228	1,486
7	1,454	2	0	3	82	11	7	239	3	11	897	199	1,355
(資料:消防本部)													



第 7 章

教 育 · 文 化

教育・文化

【学校の状況】

令和8年5月1日現在での本市の学校数は19校である。

学校別にみると、幼稚園が4校（市立3、私立1）、小学校6校（市立6）、中学校5校（市立4、県立1）、高等学校2校（県立）、高等専門学校1校（国立）、専修学校1校（一部事務組合立）である。

児童・生徒・学生数でみると、幼稚園児は91人（前年比2.2％減）、小学生は825人（同6.6％減）、中学生は523人（同0.9％減）で、高校生は1,078人（同2.7％減）、高等専門学校の学生は838人（同1.5％減）となっている。

【図書館】

令和7年度末現在の蔵書数は登録図書78,349冊、AV資料1,399点、登録図書以外8,068冊であった。

利用状況については、個人での貸出者数は年間23,556人（前年度比3.3％減）、貸出資料数は83,773点（同2.2％減）であった。

【文化財】

本市の文化財は、国指定の史跡2件、登録有形文化財（建造物）11件、県指定の史跡3件、有形文化財3件、天然記念物2件、無形民俗文化財4件、市指定の史跡8件、有形文化財6件（美術工芸品5、建造物1）、天然記念物4件、無形民俗文化財1件である。

平成11年4月、堅田遺跡から発掘された青銅器「ヤリガンナ」を作る鋳型は、弥生時代前期のものと判明。平成23年3月15日、県の有形文化財に指定された。

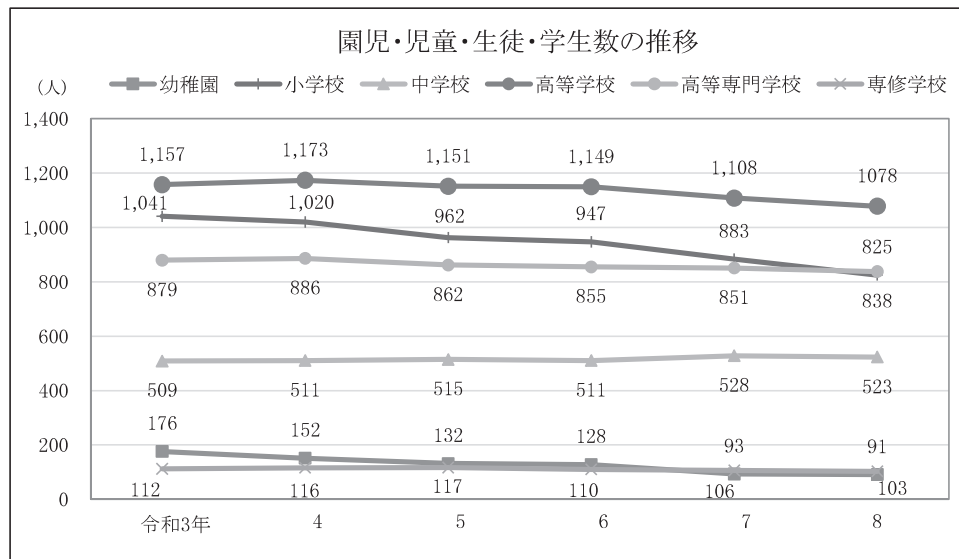
青銅器の鋳型は、弥生時代中期に九州で始まったとされていたそれまでの考古学の定説を覆す大発見として注目されている。

● 学 校
状 況

区 分	幼稚園			小学校			中学校			高等学校			高等専門学校			専修学校		
	園数	教員数	園児数	学校数	教員数	児童数	学校数	教員数	生徒数	学校数	教員数	生徒数	学校数	教員数	学生数	学校数	教員数	学生数
令和3年	6	39	176	6	106	1,041	5	71	509	2	115	1,157	1	63	879	1	11	112
4	6	40	152	6	108	1,020	5	68	511	2	115	1,173	1	56	886	1	10	116
5	5	29	132	6	102	962	5	69	515	2	112	1,151	1	56	862	1	10	117
6	5	36	128	6	109	947	5	72	511	2	117	1,149	1	57	855	1	10	110
7	4	32	93	6	111	883	5	69	528	2	116	1,108	1	57	851	1	11	106
8	4	34	91	6	109	825	5	72	523	2	113	1,078	1	56	838	1	11	103

(資料:教育委員会、日高高等学校附属中学校、日高高等学校、紀央館高等学校、和歌山工業高等専門学校、日高看護専門学校)

※中学校については、所在地が市内の学校を対象としている(大成中学校は含んでいない。)

幼稚園
(幼稚園型認定こども園)

区 分	園児数 合 計	(令和8年5月1日現在)		学級数	教員数
		男	女		
総 数	91	43	48	14	34
市 立					
湯 川 幼稚園	19	11	8	3	7
塩 屋 幼稚園	10	5	5	3	6
名 田 幼稚園	16	6	10	3	6
私 立					
御 坊 幼稚園	46	21	25	5	15

(資料:教育委員会)

第7章 教育・文化

小 学 校

(各年5月1日現在)

区 分	御 坊 小 学 校					湯 川 小 学 校				
	児童数合計			学級数	教員数	児童数合計			学級数	教員数
		男	女				男	女		
令和 3年 4 5 6 7 8	人	人	人		人	人	人			人
	351	179	172	16	32	261	142	119	13	19
	352	178	174	16	31	260	137	123	15	23
	358	183	175	17	31	238	126	112	14	22
	328	171	157	17	28	231	120	111	15	24
	316	171	145	17	31	221	108	113	12	22
	268	150	118	16	32	189	90	99	10	17

区 分	藤 田 小 学 校					野 口 小 学 校				
	児童数合計			学級数	教員数	児童数合計			学級数	教員数
		男	女				男	女		
令和 3年 4 5 6 7 8	人	人	人		人	人	人			人
	141	59	82	8	14	103	53	50	7	13
	140	61	79	9	16	102	55	47	7	12
	141	64	77	9	15	100	57	43	7	11
	139	65	74	9	14	97	51	46	7	11
	142	67	75	9	15	96	51	45	8	14
	125	60	65	9	14	90	45	45	8	15

区 分	塩 屋 小 学 校					名 田 小 学 校				
	児童数合計			学級数	教員数	児童数合計			学級数	教員数
		男	女				男	女		
令和 3年 4 5 6 7 8	人	人	人		人	人	人			人
	92	46	46	9	13	108	63	45	7	12
	87	44	43	8	12	100	58	42	7	12
	89	50	39	9	14	94	53	41	8	14
	86	49	37	9	13	81	45	36	8	12
	91	48	43	8	14	81	44	37	8	13
	85	39	46	9	15	68	32	36	9	16

区 分	市 立 小 学 校 (6 校)				
	児童総数			学 級 数 総 数	教 員 数 総 数
		男	女		
令和 3年 4 5 6 7 8	人	人	人		人
	1056	542	514	60	103
	1041	533	508	62	106
	1020	533	487	64	107
	962	501	461	65	102
	947	489	458	62	109
	825	416	409	61	109

(資料:教育委員会)

中 学 校

(各年5月1日現在)

区 分	御 坊 中 学 校					湯 川 中 学 校				
	生徒数 合 計	男	女	学級数	教員数	生徒数 合 計	男	女	学級数	教員数
令和 3年	人	人	人		人	人	人	人		人
4	128	70	58	8	22	117	56	61	6	16
5	125	66	59	8	21	128	68	60	7	17
6	137	67	70	7	22	114	63	51	6	15
7	147	65	82	7	21	114	66	48	6	16
8	172	86	86	8	21	101	63	38	5	16
9	178	91	87	9	24	109	60	49	5	16

区 分	河 南 中 学 校					名 田 中 学 校				
	生徒数 合 計	男	女	学級数	教員数	生徒数 合 計	男	女	学級数	教員数
令和 3年	人	人	人		人	人	人	人		人
4	101	49	52	5	13	43	22	21	3	10
5	91	46	45	4	11	49	23	26	3	9
6	94	41	53	6	13	53	32	21	3	9
7	81	38	43	5	14	55	34	21	3	10
8	92	52	40	5	13	49	33	16	3	9
9	78	50	28	4	12	44	26	18	4	10

区 分	市 立 中 学 校 (4 校)					組 合 立 大 成 中 学 校			県 立 日 高 高 等 学 校 附 属 中 学 校		
	生徒 総数	男	女	学級 総数	教員総数	御坊市関係 生徒数合計	男	女	生徒数 合 計	男	女
令和 2年	人	人	人		人	人	人	人	人	人	人
3	393	197	192	22	61	72	48	31	120	60	60
4	389	203	190	22	58	79	48	43	120	64	56
5	393	203	195	22	59	91	40	46	120	58	62
6	397	203	194	21	61	66	27	39	118	53	65
7	414	234	180	21	59	53	23	30	114	56	58
8	409	227	182	22	62	54	26	28	109	55	54

(資料:教育委員会、日高高等学校附属中学校)

(各年5月1日現在)

区 分	卒 業 者 の 進 路								
	卒業 者数	高等学校等進学者 進学者数	進学率	専修学校 高等課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	公共職業能力 開発施設等 入 学 者	就 職 者 数	左記 以外 の者	死亡 不詳
令和2年	人	人	%		人	人	人	人	
3	210	207	98.6	-	-	-	1	2	-
4	170	168	98.8	-	-	-	2	-	-
5	168	168	100.0	-	-	-	-	-	-
6	174	172	98.9	-	-	-	2	-	-
7	166	163	98.2	-	-	-	-	3	-
8	171	170	99.4	-	-	-	-	1	-

(資料:和歌山県調査統計課「学校基本調査の概要」)

中 学 校
卒 業 者
の 進 路

第7章 教育・文化

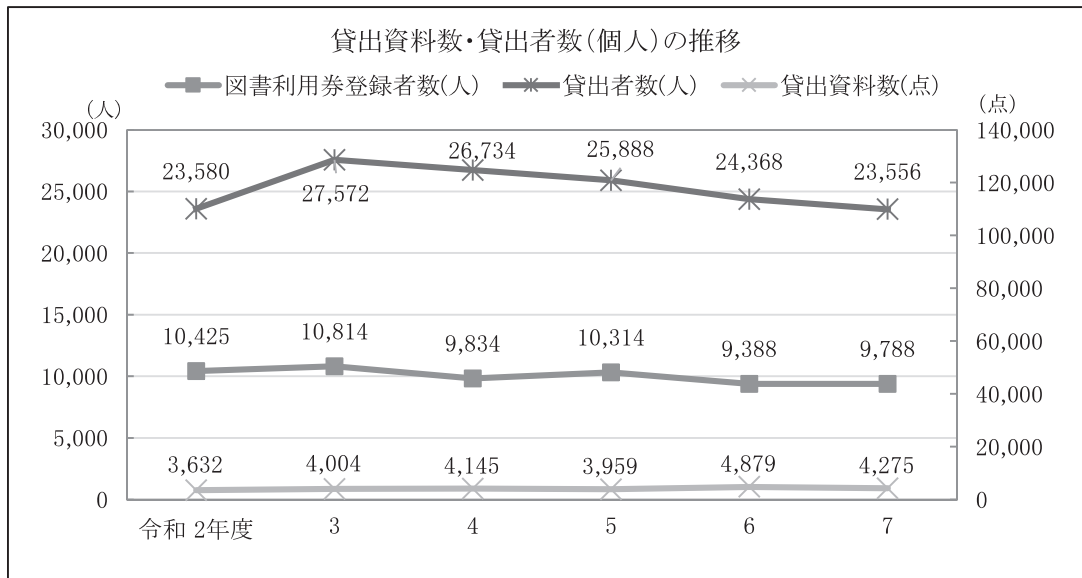
● 社 会 教育施設

(1) 図 書 館

利用状況

(各年度末現在)								
区 分	開 館 日 数	個 人			団 体			
		図書利用券 登 録 者 数	貸出者数	貸出資料数	登録数	利 用 団 体 数	利 用 回 数	貸出資料数
	日	人	人	点	団体	団体	回	点
令和2年度	250	10,425	23,580	78,401	71	36	211	3,632
3	270	10,814	27,572	89,952	73	37	236	4,004
4	270	9,834	26,734	90,168	73	43	261	4,145
5	270	10,314	25,888	90,381	75	41	226	3,959
6	270	9,388	24,368	85,659	76	44	286	4,879
7	269	9,788	23,556	83,773	76	39	243	4,275

(資料:市立図書館)



(令和8年3月31日現在)

分 類 別 蔵書冊数

区 分	登録図書 ※①												
	総数	総記	哲学	歴史	社会 科学	自然 科学	技術	産業	芸術	言語	文学	近代 文学	レファ レンス
計	78,349	1,192	1,597	4,314	6,104	3,856	3,198	1,449	3,957	652	10,347	13,791	1,661
一 般	45,887	865	1,437	3,461	5,067	1,886	2,433	1,042	2,659	344	7,528	8,536	1,291
児 童	32,462	327	160	853	1,037	1,970	765	407	1,298	308	2,819	5,255	370

区 分	登録図書							AV資料			その他		
	郷土	文庫	マンガ	絵本	紙芝居	点字	その他	総数	CD	ビデオ DVD	総数	ボード ゲーム	紙芝居舞 台等
計	3,954	4,163	1,981	13,098	1,316	68	1,651	1,399	1,039	360	53	49	4
一 般	3,756	4,142	615	0	0	34	791						
児 童	198	21	1,366	13,098	1,316	34	860						

登録図書以外※②	新 聞 7 紙
・閉架図書 5,297 冊	紀州新聞 日高新報 朝日新聞
・点字図書 240 冊	産経新聞 毎日新聞 読売新聞 日経新聞
・雑 誌 41誌/1,701冊	・縮刷版・CD版 毎日新聞
・地図パンフレット 830 冊	

(資料:市立図書館)

※①コンピュータで書誌情報を管理している図書を「登録図書」として記載している。

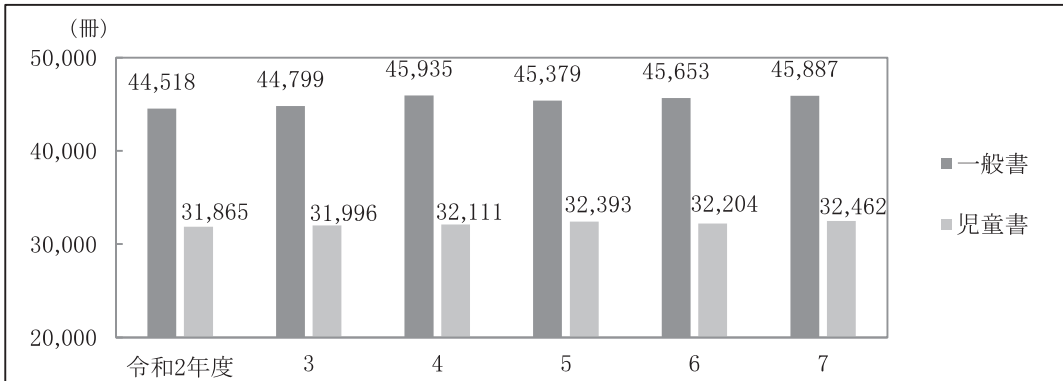
※②閉架図書や点字図書の一部は、コンピュータ管理される前の古い資料として書庫に保管している。

蔵書数の推移

(各年度末現在)

区 分	蔵書総数	一 般 書		児 童 書
		冊	冊	
令和2年度	76,383	44,518	31,865	
3	76,795	44,799	31,996	
4	78,046	45,935	32,111	
5	77,772	45,379	32,393	
6	77,857	45,653	32,204	
7	78,349	45,887	32,462	

(資料:市立図書館)

(2) その他
利用状況

(各年度末現在)

区 分	中央公民館		地区館、分館									
			塩屋公民館		藤田分館		湯川分館		野口分館		名田分館	
	総件数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数
令和2年度	件	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人
3	1,067	15,276	292	2,930	218	3,118	111	2,229	64	823	55	915
4	1,126	19,173	324	3,263	194	2,500	122	2,130	69	1,407	61	1,102
5	1,329	25,860	328	3,886	228	2,688	106	2,112	88	2,173	54	990
6	1,417	28,409	352	4,907	212	2,499	128	2,289	99	1,882	53	963
7	1,285	25,167	344	5,488	215	3,272	133	2,536	96	1,904	54	800
7	1,293	24,210	346	5,283	214	3,804	161	2,876	106	1,817	52	770

区 分	地区館、分館					
	島分館		菌分館		明神川分館	
	開館日数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数
令和2年度	日	人	日	人	日	人
3	19	236	11	187	24	303
4	20	262	12	231	16	218
5	19	235	9	131	61	646
6	18	350	12	297	79	645
7	11	187	13	259	88	751
7	28	454	14	299	77	688

区 分	市民文化会館		体 育 館		武 道 館		勤労青少年ホーム		歴史民俗資料館		児童センター	
	総件数	延人数	総件数	延人数	総件数	延人数	総件数	延人数	開館日数	延人数	開館日数	延人数
	件	人	件	人	件	人	件	人	日	人	日	人
令和2年度	271	11,349	482	10,340	406	9,515	1,001	23,389	182	1,358	239	3,180
3	297	19,531	487	12,030	348	6,687	969	20,940	214	1,766	260	3,549
4	370	31,362	431	16,993	475	9,163	1,039	23,197	210	1,485	250	3,483
5	474	44,440	447	16,327	624	13,071	1,004	19,912	216	1,475	245	3,575
6	466	45,447	433	13,155	625	13,144	1,128	21,209	213	1,256	244	4,252
7	403	35,397	455	15,684	594	13,217	1,089	20,018	215	1,758	236	3,384

(資料:教育委員会)

第7章 教育・文化

市内文化財

◎史跡

名 称	指定種別	指定年月日	所在地等	概 要
道成寺境内	国 指 定	平25.3.27	藤田町吉田 日高郡日高川町	寺伝によれば大宝元年(701)に文武天皇の勅願により、紀大臣道成が天皇夫人宮子の生誕の地に創建されたとあり、和歌山県内に現存するなかでは最も古い寺院。白鳳期に現在の本堂と同じ場所に仏堂が建設され、8世紀後半には観世音寺式の伽藍が完成した。道成寺は安珍・清姫説話の舞台として、「道成寺もの」と呼ばれる能や歌舞伎の古典芸能でもよく知られており、千手観音菩薩立像などの仏像・絵巻・建造物等、多くの文化財を有している。
熊野参詣道 紀伊路 塩屋王子跡 愛徳山王子跡北東参詣道	国 指 定	平30.2.13	塩屋町北塩屋 藤田町吉田	熊野参詣道は、霊場「熊野三山」への参詣のために中世・近世を通じて利用された道である。塩屋王子跡は、王子社の中でも古く、奉幣行事や歌会などが催された記録が残る。また、儒学者 仁井田 好古が記した石碑が残るなど、近世以来の状況が良好に保存されている。また、古来より「美人王子」と呼ばれている。 愛徳山王子跡北東参詣道は、藤田町吉田の八幡山の北麓、史跡道成寺の北西約650メートルに位置し、現在も住時の面影を残した土道が約150メートル残されている。
岩内古墳群 1号墳・3号墳	県 指 定	昭54.6.9 (1号墳) 昭55.2.14 (3号墳、名変)	岩内	1号墳は、横穴式石室を持ち、一辺の最長が19.3mの方形で、7世紀中頃に造営された県内でも数少ない終末期古墳の一つ。有間皇子の墓ではないかとの説がある。 3号墳は、直径約28mの円墳で、周囲に幅約5mの周溝をもつ。昭和54年度に発掘調査され、内部主体として2基の割竹式木棺が確認され、多数の遺物が出土している。築造年代は古墳時代中期前半と考えられている。
仏井戸・上野王子旧地 (熊野参詣道紀伊路)	県 指 定	平24.7.20	名田町上野	室町時代に造像されたと推定される三尊の石仏を祀る石組遺構。普段は、地下水中に没している。仏井戸の附近が、熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ上野王子の旧地にあたると考えられている。紀伊路と深い関係を持ち、地下の水中に石仏を安置するという全国的にも貴重な遺構であり、中世の民間信仰のあり方を考える上で重要なもの。
亀山城跡	県 指 定	平28.3.15	湯川町丸山	日高地方を拠点として有田・牟婁地方に勢力を伸ばした、室町幕府奉公衆である湯川氏の拠点。頂上部に大規模な土塁や高い切岸を巡らせる2段の主郭部と、派生する小尾根部上と山腹を取り巻くように長く伸びる腰曲輪及び帯曲輪を階段状に配置する構造をもつ。県内最大規模を誇る中世山城で、中世末期に日高地方を拠点として勢力を伸ばした湯川氏の軍事力を示す城跡として学術的価値は極めて高い。
善童子王子跡	市 指 定	昭45.5.12	湯川町富安	熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ。 「中右記」(1109)に大般若経を有していることあり、平安時代末期には所在していた。仁和寺蔵の「熊野縁起」(1326)には、准五体王子にあげられているなど、王子社の中でも歴史が古く重要な位置を占めていた。
愛徳山王子跡	市 指 定	昭45.5.12	藤田町吉田	熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ。 「後鳥羽院熊野御幸記(明月記)」(1201)に王子社の名が初めて記されており、仁和寺蔵の『熊野縁起』(1326)には、准五体王子に位置付けられるなど鎌倉時代を通じてかなり重要な王子であった。
海士王子跡	市 指 定	昭45.5.12	藤田町吉田	熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ。 「海士王子」周辺は、道成寺創建にかかわった文武天皇夫人宮子の生誕の地(九海士の里)との伝承があり、「海士王子」に祀られていた御神体の木像は、明治時代に八幡神社に合祀されたときに、道成寺に移され「宮子姫」の像として祀られている。
上野王子跡	市 指 定	昭44.5.8	名田町上野	熊野三山への参詣道「紀伊路」に設けられた熊野九十九王子社の一つ。 上野の地は中世宿所として相当重きをなしていた。王子の位置については、もとは現在の「仏井戸」附近にあったが、参詣道の移動した江戸時代初め頃に現在地に移ったと考えられる。
小竹八幡宮旧跡 (通称元宮)	市 指 定	昭45.9.12	菌	小竹八幡神社の旧地。元は相当の大社であったが、天正13年(1585)年豊臣秀吉の紀州攻めで焼失し、延宝6年(1678年)徳川頼宣の別館のあった舊御殿跡(現在地)に遷座した。「日本書紀」所載の小竹祝(はふり)にゆかりのある小竹宮跡とわれている。
広畑1号古墳	市 指 定	昭47.6.14	名田町野島	6世紀後半頃に造営された直径10m、高さ5mの円墳で全長4.26mの横穴式石室を有する。羨道部が一部破壊されている以外ほぼ完存している。構築方法も、技術的に優れており、紀南地方に残存する古墳の中では、代表的な古墳と考えられる。
広畑2号古墳	市 指 定	昭47.6.14	名田町野島	6世紀後半頃に造営された直径10m、高さ5mの円墳で全長5.1mの横穴式石室を有する。羨道部が一部破壊されている以外ほぼ完存している。構築方法も、技術的に優れており、紀南地方に残存する古墳の中では、代表的な古墳と考えられる。
秋葉山古墳	市 指 定	昭48.7.12	名田町野島	6世紀後半頃に造営された直径13m、高さ3mの円墳で横穴式石室を有する。羨道入口部には床面を両側から叩き固めた墓道がつくられていた。玄室には、棺台を納置するところとして、一段高く石を敷きつけていた。羨道上部の蓋石に人面様の彫刻が見つかっている。6世紀後半代の築造であるが追葬が繰り返されているようである。

◎有形文化財（美術工芸品）

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
木造阿弥陀如来坐像	県 指 定	昭55.2.16	藤田町藤井（専念寺）	像高86.7センチ、定印を結び跏趺坐(けっかふざ)する阿弥陀如来で、一木割彫造(いちぼくわりはぎづくり)・彫眼・漆箔の像。細かく刻まれた螺髪、こじんまりとして慈悲にあふれた面相、整然と彫られた衣文などに平安時代後期の彫刻の特徴がよくあらわれている。
堅田遺跡出土 ヤリガンナ鋳型 附弥生土器	県 指 定	平23.3.15	塩屋町南塩屋（御坊市歴史民俗資料館）	ヤリガンナ鋳型は、砂岩製で縦6.5cm、横6.0cm、厚さ6.1cmの破片。弥生時代前期新段階後半頃の特徴を示す弥生土器と共に出土した。堅田遺跡では、青銅器生産が行われていた可能性が高く、青銅器生産が行われていたとすれば国内最古の例となる。日本の青銅器生産を考えると貴重。
岩内1号墳・3号墳 出土遺物	県 指 定	平25.5.30	塩屋町南塩屋（御坊市歴史民俗資料館）	1号墳の出土遺物は、銅装大刀、銅鍔金具、漆塗木棺片、鉄釘、須恵器、土師器などであり、和歌山県の古墳時代終末期の葬送儀礼と工芸技術を示す重要な考古資料。3号墳の出土遺物は、仿製振文鏡、巴形銅器、銅釦、鉄釦、鉄製直刀、鉄剣、鉄鍔、鉄鏃、勾玉、管玉、小玉などであり、古墳時代中期前半における葬送儀礼と当時の副葬品の良好なセツト関係を示す重要な考古資料。
普請帳	市 指 定	昭45.5.12	湯川町小松原	江戸時代久保田家初代武蔵が創建した新屋の建築入用覚書き帳。
木造阿弥陀如来立像	市 指 定	昭62.12.24	野口	像高145.6cm。来迎印を結ぶ阿弥陀如来。一木造、彫眼の像で、頭・軀幹部を両袖まで含めて一材より彫出し、内剃り(うちぎり)をまったく施さず、両手にかかる天衣・両手首先・両足先を削ぎ付ける。造立は、平安時代の一木彫成像を思わせるものもあるが、作風などから室町時代初期のものであると考えられる。
木造十一面観音菩薩立像	市 指 定	平31. 1. 21	湯川町富安（鳳生寺）	像高112.7cm。平安時代中期に恵心僧都が鳳生寺に住し種作したと伝えられ、観音堂（現存せず）に祀られて「会下谷（えげだに）の観音さま」と地域の人々から崇められてきた。11世紀初頭頃の造像と推定され、道成寺彫刻群を除けば、日高平野における最古級の彫像である。和歌山県中部地方の平安時代中期～後期の標準的作例としての重要性とともに、道成寺文化圏における造像環境を捉える上で貴重な情報を有している。
木造菩薩形坐像	市 指 定	平31. 1. 21	湯川町富安（鳳生寺）	像高60.6cm。鳳生寺の本尊である。体の穏やかな抑揚は平安時代後期の特徴を示し、目尻の切れ上がった生氣のある顔つきは次の時代（鎌倉時代）のものに近い。これらのことから、平安時代末期、12世紀後半の像と判断され、日高郡の中でもかなり古い像のひとつである。
伊藤博文の書「御坊餐」	市 指 定	平31. 1. 21	塩屋町南塩屋（御坊市歴史民俗資料館）	たて35.5cm、よこ142.0cm。御坊小学校の校長室に古くより掛けられていた書で、「御坊小学校100年史」（昭和49年）にも写真入りで紹介されている。伊藤博文は、初代内閣総理大臣を務めるなど明治国家に多大な貢献をした人物で、絹本に墨書で「御坊餐」（ごぼうこう）と右書しており、落款も押されている。御坊小学校への揮毫といえる。

◎建造物

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
堀河屋又兵衛家住宅（主屋・土蔵）	国 登 録 有形文化財	平26.10.7	御坊	日高御坊の寺内町中心部に位置する町家。本瓦葺（ほんがわらぶき）の主屋は前面に出格子をたて、軒先に当地でオダレと呼ぶ幕板を設ける。土蔵とともに寺内町の歴史的な景観を構成する。
堀河屋野村（店舗兼主屋・土蔵・第一仕込蔵・第二仕込蔵・作業蔵）	国 登 録 有形文化財	平26.10.7	菌	もと廻船問屋で、現在は醤油醸造を手がける。店舗兼主屋は、軒高が低く、座敷部分に出格子をたて、木部にベンガラを塗るなど、当地の近世町家のたたずまいを伝える。敷地内には、醸造関係の道具などを納めていた土蔵、第一仕込蔵、第二仕込蔵、作業蔵など、醤油醸造所の景観を特徴付ける建物が一連で残る。
伊藤家住宅（主屋・離れ）	国 登 録 有形文化財	平27.3.26	御坊	御坊寺内町の中心部、日高別院の北東方の東町通りに西面する。主屋は二階の立ちの高い町屋で、正面一階には出格子、軒先には「オダレ」と呼ばれる雨除け板を取り付けるなど、この地域の歴史的意匠を遺している。2階は鼠隊喰壁に白色の額縁窓を二ヶ所設け、鮮やかな色彩の対比を見せている。敷地奥には良質なつくりの離れも残る。
佐竹家住宅（主屋・離れ）	国 登 録 有形文化財	平27.3.26	御坊	御坊寺内町の中心部、日高別院の北東側で東町通りに東面する。主屋はつし二階の町屋で、正面1階外観は、出格子と腰の板壁、その上部は黒漆喰。2階は黒漆喰と二ヶ所の格子窓で構成されている。間口の広い町屋で寺内町の歴史的景観に寄与する。主屋に渡り廊下を介して建つ離れは洗練された意匠である。
なかがわ（旧中川家住宅）（主屋・東蔵・西蔵）	国 登 録 有形文化財	平27.11.17	御坊	御坊寺内町に建つ、林業家であった中川家の住宅。主屋は入母屋屋根を重層させた風格ある外観を見せ、ヒノキの良材を多用し、和洋の意匠など随所に近代的手法を取り入れる。離座敷は旧屋敷からの移築(昭和前期)で、座敷飾りに明治前期の意匠の特徴を見せる。御坊における上質な近代和風住宅のひとつとして高い価値を有し、格調高い表構えは、御坊の歴史的景観に大きく寄与する。
伊勢屋（北蔵、南蔵）	国 登 録 有形文化財	平30.3.27	菌	中心市街地の南西部(舊地域)に位置しており、近くに小竹(しの)八幡神社が鎮座している。江戸時代より酒造業を営む。北蔵と南蔵は、明治から大正、昭和にかけて建築、拡張されたもので、酒造業の繁栄過程を物語る。南蔵は、牛梁を連ねた上に梁を組む小屋組が壮麗である。当家や御坊の酒造業の歴史を知るうえで貴重な遺構である。
笹野家住宅（主屋・離座敷・土蔵・表門及び塀）	国 登 録 有形文化財	平30.5.10	菌	小竹(しの)八幡神社から東へ約 150メートルに位置している。昭和前期に建設された主屋は、伝統的手法を基調としつつ、応接間の洋風意匠など随所に近代的手法を取り入れる。離座敷は旧屋敷からの移築(昭和前期)で、座敷飾りに明治前期の意匠の特徴を見せる。御坊における上質な近代和風住宅のひとつとして高い価値を有し、格調高い表構えは、御坊の歴史的景観に大きく寄与する。
瀬戸家住宅（主屋、座敷、旧女中部屋及び風呂、文庫蔵、穀蔵、西蔵、表門及び塀）	国 登 録 有形文化財	平30.11.2	藤田町藤井	日高川下流右岸に所在し、広い屋敷は日高川にほぼ接するように構えられている。主屋、座敷は、大阪の葛野建築事務所が設計したもので大正時代後期から昭和時代前期にかけて建設された。良材を駆使し、洗練された和風意匠の近代住宅として質が高い。北側の街路に接しては、良好な歴史的景観を形成しており、集落の歴史的景観の核をなす大規模な和風住宅として価値が高い。
橋本太次兵衛家住宅（新座敷・旧米穀集荷事務所・土塀）	国 登 録 有形文化財	令2.4.3	湯川町小松原	旧熊野街道沿いに位置し、広大な屋敷を構えている。新座敷は、上質な近代和風建築である。旧米穀集荷事務所は街道沿いに建つ洋館で、戦後は湯川郵便局舎としても使われ、地域社会のシンボルにもなっている。これらの建築群は近代における当地方屈指の大地主によるもので、地主経営と接客空間の一端を伝える貴重な地域の文化財であり、当地の歴史的景観の形成に寄与する。
久保田家住宅（主屋・新座敷・長屋門・塀）	国 登 録 有形文化財	令3.6.24	湯川町小松原	旧熊野街道沿いに屋敷を構え、近世・近代に地域の要職を務めた家の邸宅である。近世の主屋や長屋門のほか、近代の新座敷や塀が残る。主屋は、普請帳(市指定文化財)が残されており、文化5年(1808)の建設であることが知られる。これらの建築群は当地方の素封家の住まいと接客空間の一端を伝える貴重な文化財であるとともに、熊野街道沿いにおいて当地の歴史的景観の形成に寄与する。

第7章 教育・文化

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
菌家住宅 (主屋・人形蔵、離れ、西土蔵、東土蔵、南土蔵、片廂)	国 登 録 有形文化財	令6.8.15	菌	新町通りに位置する旧廻船業の屋敷。主屋は通りに南面し、中央東寄りを戸口、西は出格子構え、東は下見板張の洋風意匠。建ちの低い町家で、地域の歴史的な景観の核をなす。片廂は倉庫を兼ね、屋敷構えを印象づける長大な塀。住まいや屋敷、土蔵群など多数の歴史的建物群からなり、今も歴史的風致の色濃い菌の集落景観の形成に大きく寄与している。
日高別院 (本堂・表門・裏門・鼓楼・鐘樓)	市指定	平10.1.21	御坊	現在の日高別院は、文禄4年(1595年)和歌山鷺森の有力者佐竹伊賀守の尽力によって新しく堂宇を建立したのをはじまりとする。日高御坊・御坊所・御坊様と尊称され、御坊市の市名の起源となった由緒深い寺院。現存している建物は江戸時代中・後期に建てられたものである。文政8年(1825年)に落成した本堂は、真宗寺院として県内随一の規模を有している。

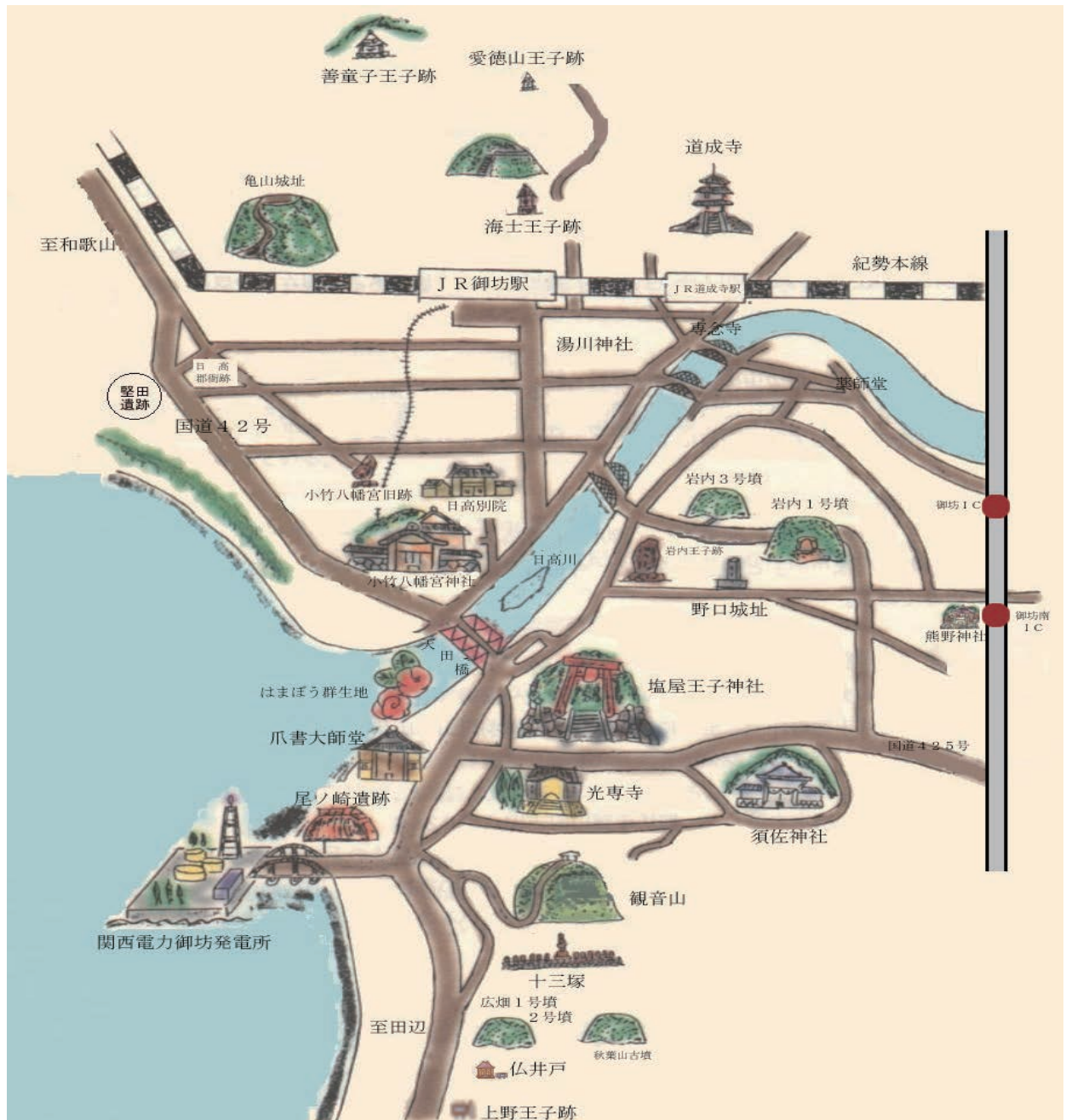
◎天然記念物

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
日高別院の公孫樹	県 指 定	昭33.4.1	御坊 (本願寺日高別院)	日高別院の門に入って本堂までの広場にあり、胸高の幹周りが4.6mを超える立派な巨樹で、樹冠も相当に大きい。この樹は、文禄年間に坊舎をこの地に移したときに植樹されたものといわれており、樹齢は400年以上と考えられる。樹勢旺盛で、枝葉はよく繁茂し、壮観である。
光専寺の柏檜	県 指 定	昭33.4.1	塩屋町南塩屋 (光専寺)	ビャクシンはイブキともいい、海岸に生える常緑高木で、本県では海岸の崖地に自生しているのをみかける。樹齢が長く、大木となるので寺院や神社、特に浄宗寺院に植えられることが多い。このビャクシンは県下でも最大級のもので、幹周約7m、樹高約15mにおよぶ。樹齢は600年以上と推定される。
樟	市 指 定	昭43.3.25	湯川町小松原 (湯川神社)	湯川神社の社殿のある石垣の下にある高さ約21m、幹周約8.8mの大樹。「天正13年の春、豊大閣の大軍のため亀山城下一円兵戦となり、当神社も惨禍を受け神林僅かに1・2株の老樟を残すのみとなった」との伝説があり、恐らくその樟であろうと想像されており、樹齢1000年以上と推定されている。
ハマボウ(浜朴)の群生	市 指 定	昭43.4.24	塩屋町北塩屋	日本の湿地海岸に分布する落葉低木のアオイ科の植物。王子川・日高川河口部に位置し、県下最大、全国でも五指に入る規模の大きな群生地。初夏には鮮やかな黄色の花を咲かせる。
塩屋王子神社の社叢	市 指 定	昭54.5.28	塩屋町北塩屋 (塩屋王子神社)	社叢は暖地性の常緑樹林で沿海暖地の天然林を代表するものである。クスノキ3株・ヤマモモ2株・イスノキ1株等の巨樹は何れも樹齢200年以上と推定される。また、ナギの木が社殿の左右にある。古木、老木が多く、樹種も極めて豊富で本県南部沿海地の照葉樹林の原植生の片鱗を残している。
古田春三家の屋敷林	市 指 定	平1.5.24	湯川町富安	クスノキ2本、クロガネモチ1本の大樹がある。屋敷林として大樹がままとって残されていることが当地方では珍しい。

◎民俗文化財

名 称	種 別	指定等年月日	所在地等	概 要
戯瓢踊	県 指 定 国 選 択	昭30.9.6 昭49.12.4	御坊 (戯瓢踊保存会)	小竹八幡神社の秋季祭礼(10月5日)に奉納される踊。宵宮(10月4日)には本願寺日高別院で奉納される。各々が瓢箪・太鼓・鼓・鉦を持って、列や輪になりながら踊る。『紀伊国名所図会』に初代藩主徳川頼宣が踊りを賞賛したとの記述があり、奉納前には9代藩主徳川治貞から下賜されたといわれる「四恩状」が奉読される。
御坊下組の雀踊	県 指 定	昭56.7.13	菌 (御坊下組の雀踊保存会)	小竹八幡神社の秋季祭礼の10月5日に、氏子組の一つである下組により奉納される踊。雀踊の起源は、江戸時代初期に京都から京舞の師匠を呼んで伝授されたものといわれ、太棹三味線と義太夫節調の踊り唄にあわせてゆったり力強く踊る。先奴が化粧前垂れを絡めるほかは、みな奴装束を着用し、笠を被る。歌詞は、春夏秋冬の景色をゆつくと歌い囃し、踊り手もゆるやかに雀の姿や祭礼の喜びをあらわしながら踊る。
御坊祭	県 指 定	令8.3.18	菌 日高郡美浜町 (御坊祭保存会)	毎年10月4日・5日に行われる御坊市菌に鎮座する小竹八幡神社の祭礼。10組の氏子組ごとに織差し、戯瓢踊・奴踊・雀踊などの多彩な芸能を奉納する。また、一般に太鼓台と呼ばれる四つ太鼓を若衆が力を合わせて担ぎ上げ、その上で反り返っては太鼓を叩く乗り子の姿が多くの人々を魅了する。御坊市を中心とする日高地域には同種様式の祭礼が複数存在するが、御坊祭はそのなかで最大規模を有する。
おとう祭	県 指 定	昭60.7.26	塩屋町南塩屋 (須佐神社)	須佐神社に古来から伝わる奉幣神事。毎年3月10日に行われる。氏子5組から各組1人ずつ子どもが「おとう」に選ばれる。「おとう」は精進の後、祭の当日、土を踏まずに駕籠や背負われたりして神社に参入する。社務所でお蔵いを受けてお神酒を頂き、長床の儀式、白洲の儀式の後、神前で約2mの大きな幣を振って拝する。
菌のはちこめ踊り	市 指 定	平6.12.9	菌 (菌民俗芸能保存会)	菌地区に伝わる盆踊りで、河内音頭の流れをくみ江戸時代頃から始められたといわれている。名称の「はちこめ」とは、この地域の方言で、豪勢に物を取り込んだり、作物などを籠へ沢山入れることを「はちこむ」とか「はちこめ」といい、踊りの所作のうち左手を抱えるようにして右足を踏み込み、同じく右手で強くはたきこむようにするところからきている。

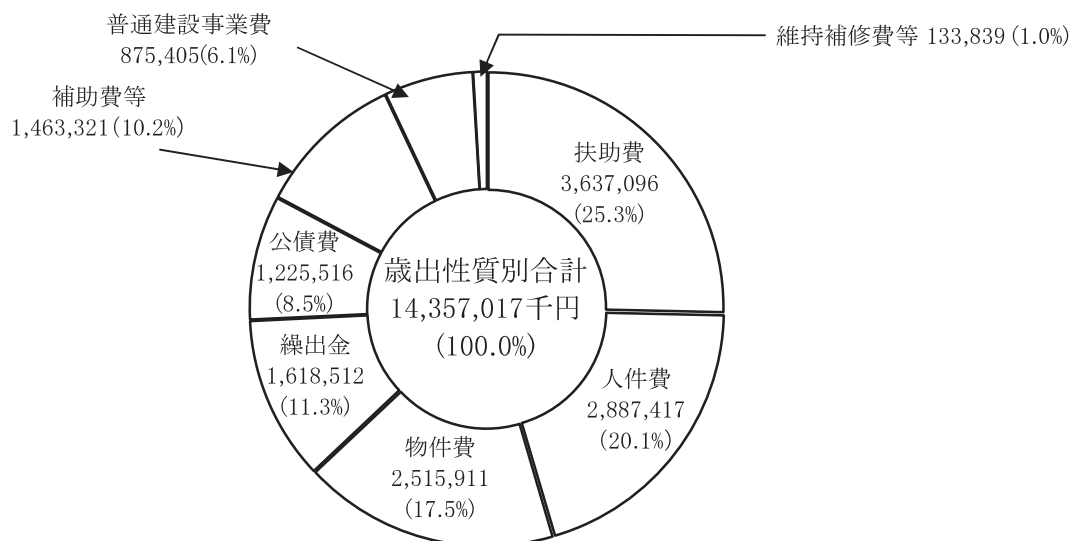
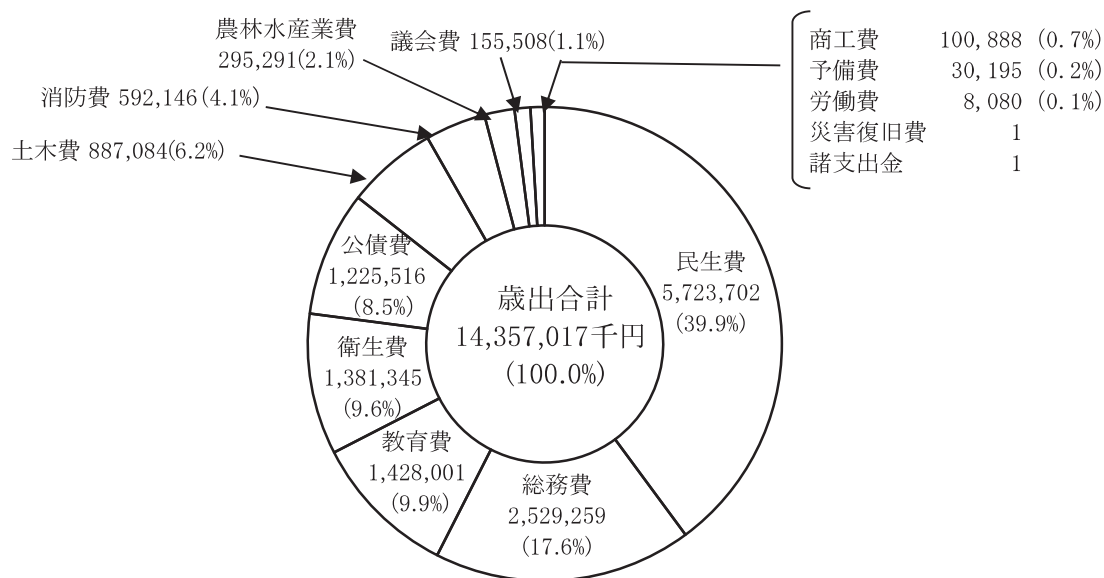
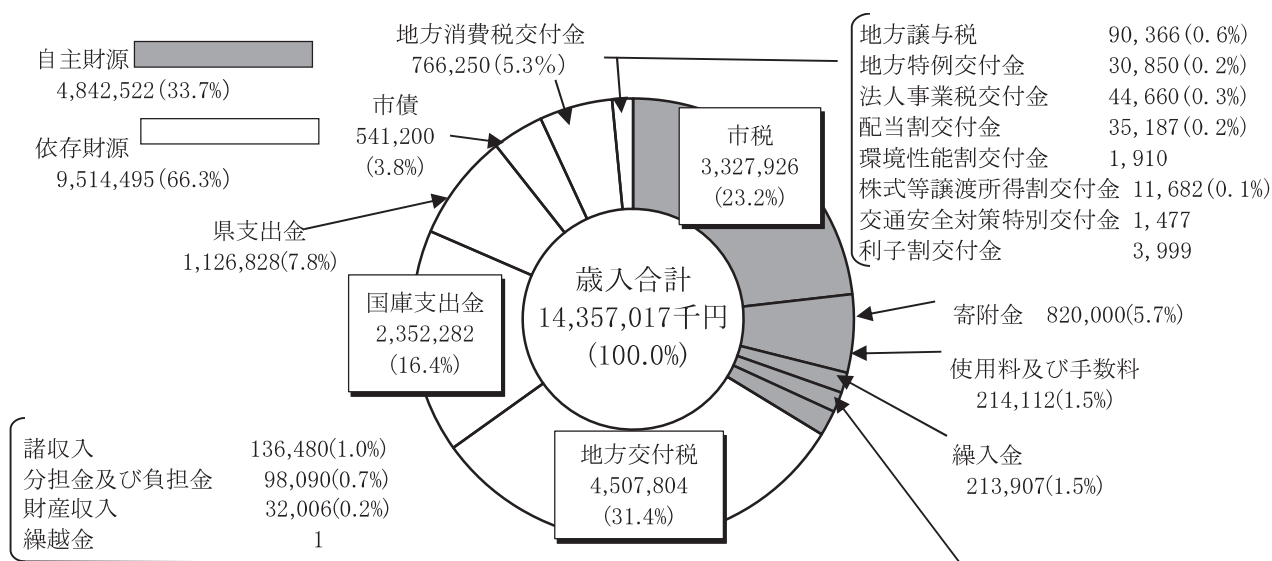
◎文化財案内略図



第 8 章

財 政 ・ 行 政

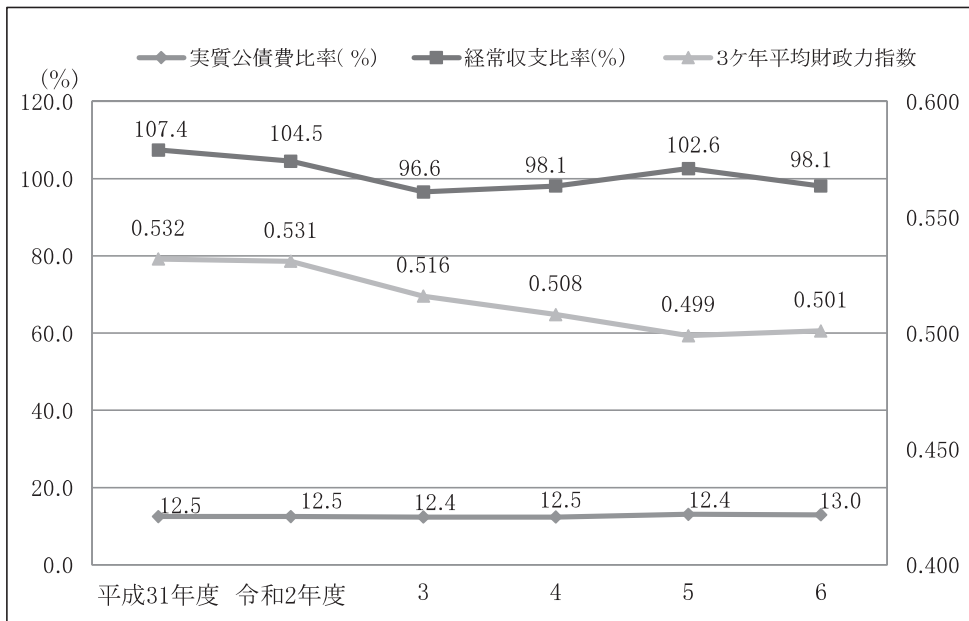
令和8年度一般会計当初予算



財政力指数

区 分	財政力指数		実質公債費 比率	経常収支比率
	単 年	3ヶ年平均		
			%	%
平成31年度	0.529	0.532	12.5	107.4
令和2年度	0.528	0.531	12.5	104.5
3	0.491	0.516	12.4	96.6
4	0.506	0.508	12.4	98.1
5	0.510	0.499	13.1	102.6
6	0.487	0.501	13.0	98.1

(資料:財政課)

各会計別
当初予算

区 分	合 計	一般会計	特 別 会 計					企業会計	
			国民健康 保険	農業集落 排水事業	介護保険	公共下水 道事業	後 期 高齢者 医 療	水道事業	下水道事業
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
令和3年度	21,175,029	12,815,367	3,258,153	164,905	2,943,987	483,556	638,735	870,326	-
4	23,034,737	14,555,367	3,287,925	159,898	2,966,007	535,224	656,008	874,308	-
5	23,755,818	15,190,634	3,170,568	-	2,958,842	-	655,363	796,259	984,152
6	21,691,862	13,307,952	3,021,603	-	3,072,391	-	710,519	775,461	803,936
7	23,504,202	15,061,564	3,054,018	-	3,119,330	-	732,060	762,934	774,296
8	22,447,348	14,357,017	2,976,190	-	3,151,606	-	769,379	640,062	553,094

(資料:財政課)

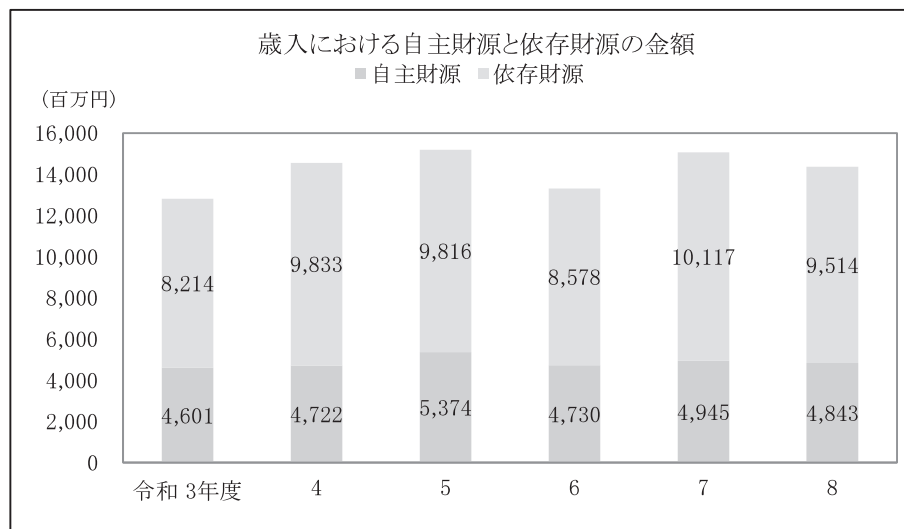
第8章 財政・行政

一般会計 当初予算 の推移

【歳入】

区 分	自主財源	構成比	依存財源	構成比	計
	百万円	%	百万円	%	百万円
令和 3年度	4,601	35.9	8,214	64.1	12,815
4	4,722	32.4	9,833	67.6	14,555
5	5,374	35.4	9,816	64.6	15,190
6	4,730	35.5	8,578	64.5	13,308
7	4,945	32.8	10,117	67.2	15,062
8	4,843	33.7	9,514	66.3	14,357

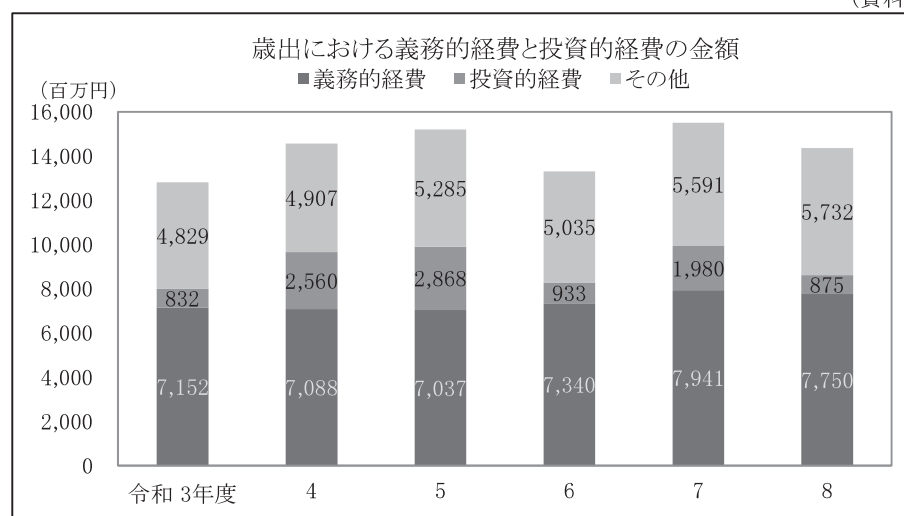
(資料:財政課)



【歳出】

区 分	義務的経費	構成比	投資的経費	構成比	その他	構成比	計
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
令和 3年度	7,152	55.8	832	6.5	4,829	37.7	12,815
4	7,088	48.7	2,560	17.6	4,907	33.7	14,555
5	7,037	46.3	2,868	18.9	5,285	34.8	15,190
6	7,340	55.2	933	7.0	5,035	37.8	13,308
7	7,941	49.7	1,980	13.1	5,591	37.2	15,062
8	7,750	54.0	875	6.1	5,732	39.9	14,357

(資料:財政課)



一般会計
決算額

【歳入】

科 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
	千円	%	千円	%	千円	%
総 額	17,878,652	100.0	17,617,481	100.0	16,195,531	100.0
市 税	3,382,612	18.9	3,327,466	18.9	3,316,771	20.5
地 方 譲 与 税	88,415	0.5	89,079	0.5	89,347	0.6
利 子 割 交 付 金	1,355	0.0	1,168	0.0	1,506	0.0
配 当 割 交 付 金	19,374	0.1	23,361	0.1	35,366	0.2
株式等譲渡所得割交付金	13,824	0.1	23,412	0.1	41,572	0.3
法 人 事 業 税 交 付 金	49,568	0.3	46,859	0.3	52,897	0.3
地 方 消 費 税 交 付 金	610,367	3.4	604,114	3.4	640,254	4.0
自動車取得税交付金	321	0.0	1,048	0.0	0	0.0
自動車税環境性能割交付金	9,234	0.1	11,347	0.1	11,541	0.1
地 方 特 例 交 付 金	18,640	0.1	18,687	0.1	98,755	0.6
地 方 交 付 税	4,364,216	24.4	4,410,841	25.0	4,664,306	28.8
交通安全対策特別交付金	1,878	0.0	1,625	0.0	1,611	0.0
分担金及び負担金	150,085	0.8	89,661	0.5	100,677	0.6
使用料及び手数料	218,297	1.2	212,737	1.2	209,843	1.3
国 庫 支 出 金	2,933,352	16.4	2,494,535	14.2	2,574,207	15.9
県 支 出 金	941,525	5.3	962,486	5.5	993,491	6.1
財 産 収 入	19,344	0.1	7,569	0.0	25,654	0.2
寄 附 金	1,268,632	7.1	1,298,655	7.4	1,307,472	8.1
繰 入 金	54,916	0.3	286,593	1.6	127,207	0.8
繰 越 金	1,179,876	6.6	1,287,749	7.3	853,818	5.3
諸 収 入	177,521	1.0	235,889	1.3	232,836	1.4
市 債	2,375,300	13.3	2,182,600	12.4	816,400	5.0

【歳出】

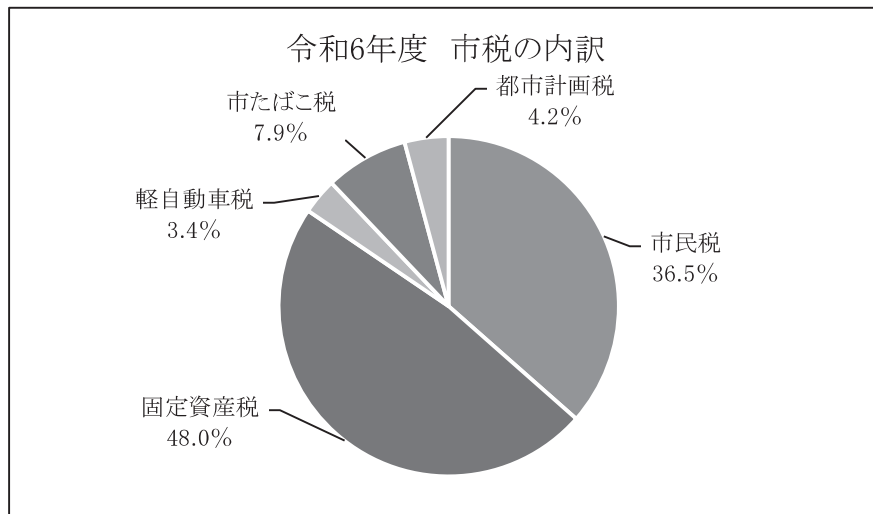
科 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
	千円	%	千円	%	千円	%
総 額	16,590,903	100.0	16,763,663	100.0	14,774,794	100.0
議 会 費	151,946	0.9	154,607	0.9	155,036	1.0
総 務 費	5,209,120	31.4	5,276,991	31.5	3,165,765	21.4
民 生 費	5,371,987	32.4	5,602,137	33.4	5,729,974	38.8
衛 生 費	1,457,526	8.8	1,373,570	8.2	1,404,138	9.5
労 働 費	9,188	0.1	9,188	0.1	9,476	0.1
農 林 水 産 業 費	256,789	1.5	305,161	1.8	136,742	0.9
商 工 費	372,228	2.2	99,981	0.6	108,188	0.7
土 木 費	749,720	4.5	873,017	5.2	1,021,011	6.9
消 防 費	555,672	3.3	464,183	2.8	569,354	3.9
教 育 費	1,004,279	6.1	1,086,497	6.5	1,162,854	7.9
災 害 復 旧 費	0	0.0	40,295	0.1	8,893	0.1
公 債 費	1,452,448	8.8	1,478,036	8.8	1,303,363	8.8
諸 支 出 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0

市 税
の 推 移

区 分	平成31年度		令和2年度		令和3年度	
	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比
総 額	千円 3,356,329	% 100.0	千円 3,316,793	% 100.0	千円 3,336,868	% 100.0
市 民 税	1,193,527	35.6	1,175,625	35.5	1,193,109	35.8
固 定 資 産 税	1,673,294	49.9	1,647,893	49.7	1,636,767	49.1
軽 自 動 車 税	97,642	2.8	103,460	3.1	105,379	3.2
市 た ば こ 税	247,259	7.4	245,594	7.4	259,826	7.8
都 市 計 画 税	144,607	4.3	144,221	4.3	141,787	4.2

区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	収入額	構成比	収入額	構成比	収入額	構成比
総 額	千円 3,382,612	% 100.0	千円 3,327,466	% 100.0	千円 3,316,771	% 100.0
市 民 税	1,214,577	35.9	1,159,443	34.8	1,212,774	36.5
固 定 資 産 税	1,647,990	48.7	1,644,638	49.4	1,592,023	48.0
軽 自 動 車 税	109,178	3.2	109,564	3.3	111,283	3.4
市 た ば こ 税	269,081	8.0	270,873	8.1	261,261	7.9
都 市 計 画 税	141,786	4.2	142,948	4.3	139,430	4.2

(資料:財政課)



歴代市長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	菅 原 清 六	昭和29年 4月26日	昭和34年 1月 5日
2	湯 川 周次郎	昭和34年 1月23日	昭和42年 1月22日
3	菅 原 清 六	昭和42年 1月23日	昭和47年 4月24日
4	玉 置 修吾郎	昭和47年 6月11日	平成 4年 6月10日
5	柏 木 征 夫	平成 4年 6月11日	令和 2年 6月10日
6	三 浦 源 吾	令和 2年 6月11日	

歴代副市長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	龍 神 康 宏	平成29年4月1日	令和3年3月31日

歴代助役

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	湯 川 周次郎	昭和29年 6月 7日	昭和33年12月28日
2	木 村 五郎松	昭和34年 6月12日	昭和35年 5月24日
3	橋 本 徳次郎	昭和38年 4月 1日	昭和42年 3月31日
4	玉 置 修吾郎	昭和42年 4月 1日	昭和47年 6月 1日
5	佐 藤 政 彦	昭和47年12月21日	平成 4年 6月10日
6	楠 崇	平成 5年 6月24日	平成13年 6月25日
7	柴 本 寛	平成 9年 9月25日	平成14年 9月26日
8	小 竹 博 一	平成14年11月 9日	平成18年11月 8日

*平成9年9月25日～平成13年6月25日まで助役2人制

歴 代
収 入 役

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	浜 口 邦次郎	昭和29年 6月 7日	昭和33年 6月 6日
2	芝 友三郎	昭和33年 6月13日	昭和41年 6月12日
3	中 村 栄太郎	昭和42年 4月 1日	昭和50年 3月31日
4	最 明 武 次	昭和50年 4月 1日	昭和60年 5月31日
5	楠 崇	昭和60年 6月27日	平成 5年 6月23日
6	岩 本 好 史	平成 5年 6月24日	平成 9年 6月23日
7	小 竹 博 一	平成 9年 6月26日	平成14年11月 8日
8	松 井 信 明	平成14年11月 9日	平成18年11月 8日

市職員数

(令和8年4月1日現在)

総 数	(正規職員のみ)	308
一般行政		183
特別行政	小 計	90
	教育部門	44
	消 防	46
公営企業等	小 計	35
	水道事業会計	13
	下水道事業会計	6
	国民健康保険特会	4
	後期高齢者医療特会	3
	介護保険特会	9

第8章 財政・行政

御 坊 市 行 政 機 構 一 覧 表

市 長	副 市 長	企画政策部	企画政策課	
			秘書室	
		総務部	総務課	
			情報化・イノベーション推進室	
			財政課	
			契約室	
			危機管理課	
		市民生活部	税務課	
			収納室	
			市民環境課	畜場
			保険年金課	
		福祉部	こども支援課	保育園 3 園
			社会福祉課	
			人権・男女共同参画推進室	
			健康長寿課	点線内「福祉事務所」
		産業建設部	産業振興課	
			都市建設課	
			土地対策室	
			建築住宅課	
		会計管理者	出納室	
		上下水道事務所		
		消防本部	消防総務課	総務係 : 企画係
			通信指令室	通信指令係 : 情報調整係
			予防課	予防係 : 危険物係
			警防課	警防調整係
			救急救助課	救急救助調整係
		消防署	消防防災班	第 1 消防防災係 : 第 2 消防防災係 : 調査調整係
			消防装備班	第 1 消防装備係 : 第 2 消防装備係
			救命救助班	第 1 救命救助係 : 第 2 救命救助係

行政委員会等

教育委員会	教育長	教育次長	教育課	給食センター
				幼稚園 3 園 : 小学校 6 校 : 中学校 4 校 中央公民館 : 図書館 : 児童センター 市民文化会館 : 勤青ホーム : 歴史民俗資料館 体育館 : 武道館
議会			事務局	
選挙管理委員会			事務局	
監査委員			事務局	
農業委員会			事務局	
公平委員会			事務局（選挙管理委員会）	
固定資産評価審査委員会			事務局（選挙管理委員会）	

和歌山県後期高齢者医療広域連合へ派遣

和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合へ派遣

第 9 章

議 会 ・ 選 挙

第9章 議会・選挙

● 議 会

議会構成

(令和8年4月1日現在)

条例定数	現 員	議 長 宮 路 雅 仁
14人	14人	副議長 松 屋 久 紀

常任委員会 議会運営委 員会及び特 別 委 員 会 (定 数)

(令和8年4月1日現在)

常任委員会		議会運営委員会	特別委員会	
総務文教	産業厚生		日高港振興対策	防災・減災対策
7人	7人	6人	7人	6人

議員名簿

(令和8年4月1日現在)

議 席	氏 名	住 所	党 派
1	楠 本 香 織	御坊市塩屋町南塩屋90	日本共産党
2	小 川 春 美	御坊市島307-22	日本共産党
3	西 本 裕 行	御坊市湯川町財部1059-5	自由民主党
4	天 倉 勝 也	御坊市湯川町小松原230-3	無所属
5	小 澤 俊 和	御坊市岩内486-16	無所属
6	芝 田 学	御坊市湯川町富安2000-1	公明党
7	松 屋 久 紀	御坊市野口1094-1	自由民主党
8	宮 路 雅 仁	御坊市湯川町小松原557-7	無所属
9	松 本 隆 史	御坊市湯川町財部217-6	無所属
10	小 池 佐左夫	御坊市菌247-3	無所属
11	山 田 勝 人	御坊市菌874-9	無所属
12	村 上 宗 隆	御坊市菌822	無所属
13	山 本 清 司	御坊市藤田町吉田656-1	自由民主党
14	向 井 孝 行	御坊市藤田町吉田463	無所属

常任委員会

総務文教常任委員会(7人)

◎委員長
○副委員長

氏 名	所 管 事 項
◎山田 勝人 ○小澤 俊和 楠本 香織 西本 裕行 宮路 雅仁 村上 宗隆 向井 孝行	企画政策部、総務部、市民生活部、消防本部、 出納室、教育委員会、選挙管理委員会、公平 委員会、固定資産評価審査委員会、監査委員 の所管に関する事項及び他の常任委員会の所 管に属さない事項

産業厚生常任委員会(7人)

氏 名	所 管 事 項
◎芝田 学 ○小川 春美 天倉 勝也 松屋 久紀 松本 隆史 小池 佐左夫 山本 清司	福祉部、福祉事務所、産業建設部、農業委員会、 上下水道事務所の所管に関する事項

議 会
運営委員会

議会運営委員会(6人)

氏 名		
◎山本 清司 ○小池 佐左夫	小川 春美 天倉 勝也	芝田 学 村上 宗隆

特別委員会

日高港振興対策(7人)

氏 名		
◎向井 孝行 ○西本 裕行	小川 春美 芝田 学 松屋 久紀	山田 勝人 山本 清司

防災・減災対策(6人)

氏 名		
◎松本 隆史 ○天倉 勝也	楠本 香織 小澤 俊和 小池 佐左夫	村上 宗隆

第9章 議会・選挙

議会選出組合議会議員等

役 職 名	氏 名
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合議会議員	天 倉 勝 也 山 本 清 司
御坊市日高川町中学校組合議会議員	小 川 春 美 西 本 裕 行 小 澤 俊 和 芝 田 学
御坊広域行政事務組合議会議員	小 池 佐左夫 山 田 勝 人
御坊日高老人福祉施設事務組合議会議員	楠 本 香 織 村 上 宗 隆
和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員	松 本 隆 史
御坊市監査委員	向 井 孝 行
御坊市公害対策審議会委員	楠 本 香 織 芝 田 学 松 本 隆 史 村 上 宗 隆
御坊市消防委員会委員	西 本 裕 行 芝 田 学 小 池 佐左夫 向 井 孝 行

当選回数別議員数

回 数	1回	2回	3回	4回	5回	～	9回	10回	合計
人 員	4	2	2	2	2		1	1	14

党派別議員数

党 派	自由民主党	日本共産党	公明党	無所属	計
人 員	3	2	1	8	14

年齢別議員数

(令和8年4月1日現在)

年 齢 別	25～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上
人 員	0	0	1	4	5	4	0

平均 62.2歳

歴代正副議長

議		長	
代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	竹 本 元 吉	昭和29年 4月 2日	昭和29年12月14日
2	柳 岡 哲 量	" 30年 2月 4日	" 34年 1月25日
3	芝 三之助	" 34年 2月 3日	" 38年 1月25日
4	塩崎貞二郎	" 38年 1月30日	" 42年 1月25日
5	中 田 由 蔵	" 42年 2月 3日	" 43年 3月11日
6	芝 三之助	" 43年 3月11日	" 44年 9月29日
7	谷 口 重 美	" 44年 9月29日	" 46年 1月25日
8	中 村 茂 任	" 46年 2月 1日	" 48年 3月10日
9	山 田 幹 雄	" 48年 3月10日	" 49年 3月11日
10	柳岡市次郎	" 49年 3月11日	" 50年 1月25日
11	中 村 茂 任	" 50年 2月 3日	" 51年 3月11日
12	谷 口 重 美	" 51年 3月11日	" 52年 3月10日
13	中 本 正 雄	" 52年 3月10日	" 53年 3月10日
14	岸 元 春 雄	" 53年 3月10日	" 54年 1月25日
15	谷 口 重 美	" 54年 2月 2日	" 55年 3月11日
16	岸 元 春 雄	" 55年 3月11日	" 56年 9月24日
17	谷 口 重 美	" 56年 9月24日	" 58年 1月25日
18	中 村 茂 任	" 58年 2月 2日	" 61年 3月10日
19	岸 元 春 雄	" 61年 3月10日	" 62年 1月25日
20	玉 井 甚 一	" 62年 2月 4日	" 63年 3月10日
21	松 本 亀 吉	" 63年 3月10日	平成 2年 3月 9日
22	小 池 重 信	平成 2年 3月 9日	" 3年 1月25日
23	上 田 敏 次	" 3年 2月 4日	" 4年 3月10日
24	辻 本 順 二	" 4年 3月10日	" 5年 3月11日
25	坂 本 守	" 5年 3月11日	" 6年 3月11日
26	上 田 季 児	" 6年 3月11日	" 7年 1月25日
27	坂 本 守	" 7年 2月 3日	" 8年 3月 8日
28	松 本 亀 吉	" 8年 3月 8日	" 9年 3月 7日
29	大 西 紀 夫	" 9年 3月 7日	" 10年 3月 6日
30	向 井 孝 行	" 10年 3月 6日	" 11年 1月25日
31	上 田 季 児	" 11年 2月 4日	" 15年 1月25日
32	上 田 季 児	" 15年 2月 5日	" 16年 3月 5日
33	谷 口 重 美	" 16年 3月 5日	" 16年 5月10日
34	西 本 和 明	" 16年 6月18日	" 17年 3月 4日
35	増 田 享	" 17年 3月 4日	" 18年 3月10日
36	向 井 孝 行	" 18年 3月10日	" 19年 1月25日
37	西 本 和 明	" 19年 2月 5日	" 20年 3月 7日
38	向 井 孝 行	" 20年 3月 7日	" 21年 3月 6日
39	上 田 季 児	" 21年 3月 6日	" 23年 1月25日
40	中 野 武 一	" 23年 2月 2日	" 25年 3月 8日
41	森 上 忠 信	" 25年 3月 8日	" 27年 1月25日
42	西 本 和 明	" 27年 2月 3日	" 29年 3月 3日
43	山 田 勝 人	" 29年 3月 3日	" 31年 1月25日
44	向 井 孝 行	" 31年 2月 5日	令和 3年 3月 5日
45	小 池 佐 左 夫	令和 3年 3月 5日	" 5年 1月25日
46	山 本 清 司	" 5年 2月 7日	" 7年 3月 7日
47	小 川 春 美	" 7年 3月 7日	" 7年 3月 7日
48	宮 路 雅 仁	" 7年 3月 7日	

副 議		長	
代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	野 村 益 勇	昭和29年 4月 2日	昭和29年12月14日
2	芝 三之助	" 30年 2月 4日	" 31年 9月28日
3	黒 川 貞 雄	" 31年 9月28日	" 34年 1月25日
4	柳岡市次郎	" 34年 2月 3日	" 38年 1月25日
5	中 田 由 蔵	" 38年 1月30日	" 42年 1月25日
6	岸 元 春 雄	" 42年 2月 3日	" 44年 3月17日
7	中 村 茂 任	" 44年 3月17日	" 45年 3月 6日
8	中 本 正 雄	" 45年 3月11日	" 49年 3月11日
9	大 藪 敏 雄	" 49年 3月11日	" 50年 1月25日
10	斎 藤 勲	" 50年 2月 3日	" 51年 3月11日
11	黒 川 貞 雄	" 51年 3月11日	" 52年 3月10日
12	坂 野 光 美	" 52年 3月10日	" 53年 3月10日
13	小 池 重 信	" 53年 3月10日	" 54年 1月25日
14	中 野 芳 蔵	" 54年 2月 2日	" 56年 9月24日
15	野 尻 知 治	" 56年 9月24日	" 57年 3月26日
16	山 田 美 和 男	" 57年 3月26日	" 58年 1月25日
17	松 本 亀 吉	" 58年 2月 2日	" 59年 3月10日
18	井 上 龍 男	" 59年 3月10日	" 60年 5月21日
19	上 田 敏 次	" 60年 5月21日	" 61年 3月10日
20	玉 井 甚 一	" 61年 3月10日	" 62年 1月25日
21	辻 本 順 二	" 62年 2月 4日	" 63年 3月10日
22	坂 本 守	" 63年 3月10日	平成元年 3月10日
23	阪 口 三 次	平成元年 3月10日	" 2年 3月 9日
24	増 田 享	" 2年 3月 9日	" 3年 1月25日
25	竜 田 豊 重	" 3年 2月 4日	" 4年 3月10日
26	籠 田 勉	" 4年 3月10日	" 5年 3月11日
27	向 井 孝 行	" 5年 3月11日	" 6年 3月11日
28	大 西 紀 夫	" 6年 3月11日	" 7年 1月25日
29	西 本 和 明	" 7年 2月 3日	" 8年 3月 8日
30	向 井 孝 行	" 8年 3月 8日	" 9年 3月 7日
31	伊 藤 勉	" 9年 3月 7日	" 11年 1月25日
32	西 晴 男	" 11年 2月 4日	" 12年 3月 3日
33	森 上 忠 信	" 12年 3月 3日	" 13年 3月 2日
34	樽 井 昭 三	" 13年 3月 2日	" 14年 3月 8日
35	佐 野 義 機	" 14年 3月 8日	" 15年 1月25日
36	西 本 和 明	" 15年 2月 5日	" 16年 3月 5日
37	森 上 忠 信	" 16年 3月 5日	" 17年 3月 4日
38	山 本 清 司	" 17年 3月 4日	" 18年 3月10日
39	佐 野 義 機	" 18年 3月10日	" 19年 1月25日
40	山 本 清 司	" 19年 2月 5日	" 20年 3月 7日
41	中 野 武 一	" 20年 3月 7日	" 21年 3月 6日
42	山 田 勝 人	" 21年 3月 6日	" 23年 1月25日
43	平 井 俊 哉	" 23年 2月 2日	" 25年 3月 8日
44	村 上 宗 隆	" 25年 3月 8日	" 27年 1月25日
45	山 本 直 治	" 27年 2月 3日	" 29年 3月 3日
46	小 池 佐 左 夫	" 29年 3月 3日	" 31年 1月25日
47	松 本 隆 史	" 31年 2月 5日	令和 3年 3月 5日
48	宮 路 雅 仁	令和 3年 3月 5日	" 5年 1月25日
49	芝 田 学	" 5年 2月 7日	" 7年 3月 7日
50	松 屋 久 紀	" 7年 3月 7日	

第9章 議会・選挙

本会議開会
日数
及び
付託件数

区分	招集回数		開会 日数	付託 件数	市長提出議案件数				議員提出議案件数		委員会提出議案件数		請願
	定例	臨時			条例	予算	決算	その他	条例	その他	条例	その他	
平成 28年	4	0	20	72	22	28	2	20	0	1	0	0	0
29	4	3	20	85	38	29	2	16	0	1	0	1	1
30	4	2	19	93	40	32	2	19	1	2	0	0	0
31	4	1	19	89	44	27	2	16	0	0	0	0	0
令和 2年	4	1	18	79	29	26	2	22	0	0	1	3	1
3	4	1	17	77	28	21	2	26	0	1	0	1	0
4	4	2	18	73	32	29	2	10	2	1	1	0	0
5	4	1	18	83	28	25	2	28	0	0	0	3	0
6	4	1	18	83	32	19	3	17	0	1	1	5	0
7	4	1	18	95	44	29	3	8	0	1	2	0	1

(資料:議会事務局)

常任委員会
開会日数
及び
付託件数

区分	総務文教常任委員会		産業厚生常任委員会	
	開会日数	付託件数	開会日数	付託件数
平成 28年	4	27	5	34
29	7	25	6	41
30	4	23	4	49
31	5	28	5	44
令和 2年	4	20	4	46
3	5	18	7	46
4	5	24	5	29
5	5	21	5	46
6	4	28	4	46
7	5	42	7	37

*請願は含まない

(資料:議会事務局)

議会運営委
員会
及び
特別委員会
開会日数

区分	議会運営 委 員 会	決 算	自然エネル ギー等調査	日高港湾及 び地域活性 化	防災・減災 対 策	日高港 振興対策	新庁舎 建設調査	新庁舎建 設	議員定数 等 調 査
平成 28年	9	5	－	－	5	4	1	－	
29	14	5	－	－	4	4	7	－	
30	11	5	－	－	4	2	5	－	
31	9	5	－	－	7	－	－	5	
令和 2年	11	4	－	－	4	－	－	4	
3	13	4	－	－	6	－	－	3	
4	11	4	－	－	3	－	－	4	－
5	10	4	－	－	5	5	－	－	－
6	9	4	－	－	6	6	－	－	－
7	12	4	－	－	5	3	－	－	－

(資料:議会事務局)

● 選挙

選挙投票状況

選挙名	執行年月日	当日有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
衆議院議員	H26.12.14	20,383	9,546	10,837	11,289	5,349	5,940	55.38	56.03	54.81
	H29.10.22	20,308	9,598	10,710	12,207	5,787	6,420	60.11	60.29	59.94
	R3.10.31	19,256	9,126	10,130	12,050	5,682	6,368	62.58	62.26	62.86
	R6.10.27	18,191	8,588	9,603	12,513	5,919	6,594	68.79	68.92	68.67
	R8.2.8	17,811	8,427	9,384	10,255	4,911	5,344	57.58	58.28	56.95
参議院議員	H25. 7.21	20,730	9,658	11,072	12,208	5,788	6,420	58.89	59.93	57.98
	H28. 7.10	20,570	9,685	10,885	12,101	5,709	6,392	58.83	58.95	58.72
	R1. 7.21	19,865	9,358	10,507	10,976	5,180	5,796	55.25	55.35	55.16
	R4.7.10	19,092	9,043	10,049	10,763	5,106	5,657	56.37	56.46	56.29
	R7.7.20	18,045	8,527	9,518	11,991	5,714	6,277	66.45	67.01	65.95
県知事	H22.11.28	20,844	9,693	11,151	11,081	5,160	5,921	53.16	53.23	53.10
	H26.11.30	20,244	9,477	10,767	9,621	4,503	5,118	47.53	47.52	47.53
	H30.11.25	19,886	9,400	10,486	9,367	4,384	4,983	47.10	46.64	47.52
	R4.11.27	18,880	8,927	9,953	8,592	4,054	4,538	45.51	45.41	45.59
	R7.6.1	17,769	8,383	9,386	8,142	3,780	4,362	45.82	45.09	46.47
県議会議員	H19. 4. 8				無	投	票			
	H23. 4.10	20,736	9,650	11,086	11,363	5,312	6,051	54.80	55.05	54.58
	H27. 4.11				無	投	票			
	H31. 4. 7	19,710	9,282	10,428	12,325	5,748	6,577	62.53	61.93	63.07
	R 5. 4. 9	18,608	8,781	9,827	11,420	5,338	6,082	61.37	60.79	61.89
市長	H20. 5.25				無	投	票			
	H24. 5.27	20,590	9,585	11,005	11,994	5,565	6,429	58.25	58.06	58.42
	H28. 5.22	19,862	9,308	10,554	15,512	7,173	8,339	78.10	77.06	79.01
	R 2. 5.24				無	投	票			
	R 6. 5.26	18,080	8,530	9,550	9,802	4,547	5,255	54.21	53.31	55.03
市議会議員	H19. 1.21	21,383	9,975	11,408	17,156	7,908	9,248	80.23	79.28	81.07
	H23. 1.23	20,847	9,698	11,149	16,307	7,545	8,762	78.22	77.80	78.59
	H27. 1.18	20,226	9,469	10,757	15,466	7,203	8,263	76.47	76.07	76.82
	H31. 1.20	19,873	9,388	10,485	14,177	6,657	7,520	71.34	70.91	71.72
	R 5. 1.22	18,820	8,905	9,915	12,005	5,686	6,319	63.79	63.85	63.73

(資料:選挙管理委員会)

衆議院議員選挙(比例代表)における党派別得票数(得票順) 〈令和8年2月8日執行〉

政党名	得票数	投票率(%)	政党名	得票数	投票率(%)
自由民主党	4,403	44.35	国民民主党	666	6.71
日本維新の会	1,210	12.19	参政党	646	6.51
中道改革連合	1,184	11.93	諸派	1,088	10.96
日本共産党	730	7.35	計	9,927.000	100.00

(資料:選挙管理委員会)

参議院議員選挙(比例代表)における党派別得票数(得票順) 〈令和7年7月20日執行〉

政党名	得票数	投票率(%)	政党名	得票数	投票率(%)
自由民主党	3,809.430	33.74	国民民主党	938.088	8.31
参政党	1,457.000	12.91	日本共産党	801.310	7.10
日本維新の会	1,133.000	10.04	諸派	2,078.168	18.41
公明党	1,073.000	9.50	計	11,289.996	100.00

(資料:選挙管理委員会)

第9章 議会・選挙

選挙のあゆみ

執行年月日	執行された選挙名	執行年月日	執行された選挙名
昭和 29. 4. 25	第1回 御坊市長選挙	平成 元. 7. 23	第15回 参議院議員通常選挙
昭和 29. 6. 3	参議院議員 補欠選挙	平成 元. 11. 26	和歌山県議会議員補欠選挙
昭和 30. 1. 26	御坊市議会議員一般選挙	平成 2. 2. 18	第39回 衆議院議員総選挙
昭和 30. 2. 27	第27回 衆議院議員総選挙	平成 3. 1. 20	御坊市議会議員一般選挙
昭和 30. 4. 23	第3回 和歌山県知事選挙	平成 3. 4. 7	第12回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 30. 4. 23	第3回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 3. 10. 27	第13回 和歌山県知事選挙
昭和 31. 7. 8	第4回 参議院議員通常選挙	平成 4. 5. 24	第12回 御坊市長選挙
昭和 33. 4. 16	第2回 御坊市長選挙	平成 4. 7. 26	第16回 参議院議員通常選挙
昭和 33. 4. 16	御坊市議会議員補欠選挙	平成 5. 7. 18	第40回 衆議院議員総選挙
昭和 33. 5. 22	第28回 衆議院議員総選挙	平成 7. 1. 22	御坊市議会議員一般選挙
昭和 34. 1. 23	第3回 御坊市長選挙	平成 7. 4. 9	第13回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 34. 1. 23	御坊市議会議員一般選挙	平成 7. 7. 23	第17回 参議院議員通常選挙
昭和 34. 4. 23	第4回 和歌山県知事選挙	平成 7. 11. 5	第14回 和歌山県知事選挙
昭和 34. 4. 23	第4回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 8. 5. 26	第13回 御坊市長選挙
昭和 34. 6. 2	第5回 参議院議員通常選挙	平成 8. 10. 20	第41回 衆議院議員総選挙
昭和 35. 11. 20	第29回 衆議院議員総選挙	平成 10. 7. 12	第18回 参議院議員通常選挙
昭和 37. 7. 1	第6回 参議院議員通常選挙	平成 10. 11. 8	参議院議員 補欠選挙
昭和 38. 1. 17	第4回 御坊市長選挙	平成 11. 1. 24	御坊市議会議員一般選挙
昭和 38. 1. 17	御坊市議会議員一般選挙	平成 11. 4. 11	第14回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 38. 4. 17	第5回 和歌山県知事選挙	平成 11. 10. 31	第15回 和歌山県知事選挙
昭和 38. 4. 17	第5回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 12. 5. 28	第14回 御坊市長選挙
昭和 38. 11. 21	第30回 衆議院議員総選挙	平成 12. 6. 25	第42回 衆議院議員総選挙
昭和 39. 6. 21	参議院議員 補欠選挙	平成 12. 9. 3	第16回 和歌山県知事選挙
昭和 40. 7. 4	第7回 参議院議員通常選挙	平成 13. 7. 29	第19回 参議院議員通常選挙
昭和 42. 1. 20	第5回 御坊市長選挙	平成 15. 1. 19	御坊市議会議員一般選挙
昭和 42. 1. 20	御坊市議会議員一般選挙	平成 15. 4. 13	第15回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 42. 1. 29	第31回 衆議院議員総選挙	平成 15. 11. 9	第43回 衆議院議員総選挙
昭和 42. 4. 15	第6回 和歌山県知事選挙	平成 16. 5. 23	第15回 御坊市長選挙
昭和 42. 4. 15	第6回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 16. 7. 11	第20回 参議院議員通常選挙
昭和 43. 7. 7	第8回 参議院議員通常選挙	平成 16. 8. 8	第17回 和歌山県知事選挙
昭和 44. 12. 27	第32回 衆議院議員総選挙	平成 17. 9. 11	第44回 衆議院議員総選挙
昭和 46. 1. 20	第6回 御坊市長選挙	平成 18. 12. 17	第18回 和歌山県知事選挙
昭和 46. 1. 20	御坊市議会議員一般選挙	平成 19. 1. 21	御坊市議会議員一般選挙
昭和 46. 4. 11	第7回 和歌山県知事選挙	平成 19. 4. 8	第16回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 46. 4. 11	第7回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 19. 7. 29	第21回 参議院議員通常選挙
昭和 46. 6. 27	第9回 参議院議員通常選挙	平成 20. 5. 25	第16回 御坊市長選挙
昭和 47. 6. 11	第7回 御坊市長選挙	平成 21. 8. 30	第45回 衆議院議員総選挙
昭和 47. 12. 10	第33回 衆議院議員総選挙	平成 22. 7. 11	第22回 参議院議員通常選挙
昭和 49. 7. 7	第10回 参議院議員通常選挙	平成 22. 11. 28	第19回 和歌山県知事選挙
昭和 50. 1. 23	御坊市議会議員一般選挙	平成 23. 1. 23	御坊市議会議員一般選挙
昭和 50. 4. 13	第8回 和歌山県知事選挙	平成 23. 4. 10	第17回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 50. 4. 13	第8回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 24. 5. 27	第17回 御坊市長選挙
昭和 50. 11. 23	第9回 和歌山県知事選挙	平成 24. 12. 16	第46回 衆議院議員総選挙
昭和 51. 5. 23	第8回 御坊市長選挙	平成 25. 7. 21	第23回 参議院議員通常選挙
昭和 51. 12. 5	第34回 衆議院議員総選挙	平成 26. 11. 30	第20回 和歌山県知事選挙
昭和 52. 7. 10	第11回 参議院議員通常選挙	平成 26. 12. 14	第47回 衆議院議員総選挙
昭和 53. 2. 19	参議院議員 補欠選挙	平成 27. 1. 18	御坊市議会議員一般選挙
昭和 54. 1. 21	御坊市議会議員一般選挙	平成 27. 4. 12	第18回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 54. 4. 8	第9回 和歌山県議会議員一般選挙	平成 28. 5. 22	第18回 御坊市長選挙
昭和 54. 10. 7	第35回 衆議院議員総選挙	平成 28. 7. 10	第24回 参議院議員通常選挙
昭和 54. 10. 28	第10回 和歌山県知事選挙	平成 29. 10. 22	第48回 衆議院議員総選挙
昭和 55. 5. 25	第9回 御坊市長選挙	平成 30. 11. 25	第21回 和歌山県知事選挙
昭和 55. 6. 22	第36回 衆議院議員総選挙	平成 31. 1. 20	御坊市議会議員一般選挙
昭和 55. 6. 22	第12回 参議院議員通常選挙	平成 31. 4. 7	第19回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 58. 1. 23	御坊市議会議員一般選挙	令和 1. 7. 21	第25回 参議院議員通常選挙
昭和 58. 4. 10	第10回 和歌山県議会議員一般選挙	令和 2. 5. 24	第19回 御坊市長選挙
昭和 58. 6. 26	第13回 参議院議員通常選挙	令和 3. 10. 31	第49回 衆議院議員総選挙
昭和 58. 10. 30	第11回 和歌山県知事選挙	令和 4. 7. 10	第26回 参議院議員通常選挙
昭和 58. 12. 18	第37回 衆議院議員総選挙	令和 4. 11. 27	第22回 和歌山県知事選挙
昭和 59. 5. 20	第10回 御坊市長選挙	令和 5. 1. 22	御坊市議会議員一般選挙
昭和 61. 7. 6	第38回 衆議院議員総選挙	令和 5. 4. 9	第20回 和歌山県議会議員一般選挙
昭和 61. 7. 6	第14回 参議院議員通常選挙	令和 6. 5. 26	第20回 御坊市長選挙
昭和 62. 1. 18	御坊市議会議員一般選挙	令和 6. 10. 27	第50回 衆議院議員総選挙
昭和 62. 4. 12	第11回 和歌山県議会議員一般選挙	令和 7. 6. 1	第23回 和歌山県知事選挙
昭和 62. 10. 25	第12回 和歌山県知事選挙	令和 7. 7. 20	第27回 参議院議員通常選挙
昭和 63. 5. 22	第11回 御坊市長選挙	令和 8. 2. 8	第51回 衆議院議員総選挙

※本表は、市制施行後執行した各種選挙を年次別に掲載したものである。

第 10 章

施 設 一 覽

施設一覧(市内の官公署及び主な施設)

市 関 係

施 設 名	所 在 地	電話番号
市 役 所	藪350-2	22-4111(代)
教 育 委 員 会	藪350-2	23-5525
消 防 本 部 ・ 署	湯川町財部221-1	22-0800
藤 井 浄 水 場	藤田町藤井2323	22-0942
市 民 サ ー ビ ス コ ー ナ ー	名田町野島1-8	29-3101
藪 会 館	島358-1	22-0436
湯 川 文 化 会 館	湯川町富安1913-7	22-7462
野 口 会 館	野口1185-2	23-1854
島 会 館	島486-1	22-6970
財 部 会 館	湯川町財部485	23-2394
藤 田 会 館	藤田町吉田286-1	23-2180
市 民 文 化 会 館	藪258-2	23-4881
体 育 館	藪76	
相 撲 場	藪310	
図 書 館	藪378-1	22-0441
中 央 公 民 館	藪378-1	22-0424
塩 屋 公 民 館	塩屋町北塩屋1121	23-4482
名 田 公 民 館	名田町野島1-8	29-3171
野 口 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	野口254	24-2270
藤 田 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	藤田町藤井2119-1	24-2280
湯 川 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	湯川町小松原317-1	23-5811
勤 労 青 少 年 ホ ー ム	藪76	22-5436
武 道 館	島426-1	
給 食 セ ン タ ー	塩屋町南塩屋1664-3	22-5437
福 祉 セ ン タ ー	藪350-2	22-5490
祓 井 戸 老 人 憩 の 家	名田町野島3371	
市 斎 場	島1078-2	23-4101
歴 史 民 俗 資 料 館	塩屋町南塩屋1123	23-2011
児 童 セ ン タ ー	藪897	23-3881
総 合 運 動 公 園	塩屋町南塩屋1123	24-2596
ふ れ あ い セ ン タ ー	野口1069	23-5669

学 校

施 設 名	所 在 地	電話番号
御 坊 小 学 校	藪226	22-3131
湯 川 小 学 校	湯川町小松原179	22-0910
藤 田 小 学 校	藤田町藤井2047-1	22-0480
野 口 小 学 校	野口756-1	22-0437
塩 屋 小 学 校	塩屋町南塩屋17	22-0859
名 田 小 学 校	名田町野島326	29-2334
御 坊 中 学 校	島10	22-3486
湯 川 中 学 校	湯川町小松原50	22-0778
河 南 中 学 校	塩屋町北塩屋300	22-0749
名 田 中 学 校	名田町上野1348-15	29-2314
日 高 高 等 学 校	島45	22-3151
日 高 高 等 学 校 附 属 中 学 校		22-0500
紀 央 館 高 等 学 校	湯川町小松原43-1	22-4011
和 歌 山 工 業 高 等 専 門 学 校	名田町野島77	29-2301
日 高 看 護 専 門 学 校	藪116-2	22-1277

幼稚園

施設名	所在地	電話番号
湯川幼稚園	湯川町財部831-1	23-5314
塩屋幼稚園	塩屋町南塩屋34	22-2505
名田幼稚園	名田町野島1-3	29-2330
御坊幼稚園	御坊100	22-0518

保育所

施設名	所在地	電話番号
つばさ保育園	島430-2	22-1481
わかば保育園	島333	22-6348
しらゆり保育園	湯川町富安1913-7	22-7463
愛徳保育園	藪275-7	22-2446
しんせい保育園	藤田町吉田550-9	22-6829
たんぽぽ乳幼児保育園	熊野162-2	23-4180

県関係

施設名	所在地	電話番号
日高振興局	湯川町財部651	22-3111
日高振興局・健康福祉部 御坊保健所	湯川町財部859-2	22-3481
御坊警察署	湯川町財部237-1	23-0110
和歌山県農業試験場暖地園芸センター	塩屋町南塩屋724	23-4005
和歌山県農業大学校就農支援センター	塩屋町南塩屋724	23-3488

国関係

施設名	所在地	電話番号
御坊税務署	藪430-3	22-0695
和歌山地方裁判所御坊支部	湯川町財部515-2	22-0006
和歌山家庭裁判所御坊支部	湯川町財部515-2	22-0006
御坊簡易裁判所	湯川町財部515-2	22-0006
和歌山地方検察庁御坊支部	藪369-6	22-0524
御坊区検察庁	藪369-6	22-0524
和歌山地方法務局御坊支局	藪369-6	22-0335
ハローワーク御坊公共職業安定所	湯川町財部943	22-3527
御坊労働基準監督署	湯川町財部1132	22-3571

第10章 施設一覧

そ の 他

施 設 名	所 在 地	電話番号
ひ だ か 病 院	菌116-2	22-1111
社 会 医 療 法 人 黎 明 会 北 出 病 院	湯川町財部728-4	22-2188
御 坊 広 域 行 政 事 務 組 合	湯川町財部651	23-2592
御 坊 広 域 清 掃 セ ン タ ー	名田町野島2731-4	29-3030
御 坊 ク リ ー ン セ ン タ ー	熊野1282	22-2504
御 坊 広 域 青 少 年 補 導 セ ン タ ー	湯川町財部651	22-2359
御 坊・日 高 障 害 者 総 合 相 談 セ ン タ ー	島369	32-7051
和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合	島356-1	23-1080
御 坊 郵 便 局	菌301-5	22-0050
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 日 高 博 愛 園	名田町野島1-9	29-3181
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム ご ぼ う の 郷	熊野44-4	22-5500
J R 御 坊 駅	湯川町小松原417	
J R 道 成 寺 駅	藤田町藤井1865-4	
紀 州 鉄 道 紀 伊 御 坊 駅	菌275	23-0001
御 坊 商 工 会 議 所	菌350-28	22-1008
J A わ か や ま 紀 州 地 域 本 部	湯川町財部668-1	22-2480
紀 州 日 高 漁 業 協 同 組 合	塩屋町南塩屋450-4	22-0451
紀 州 新 聞 社	島172	22-2536
日 高 新 報 社	湯川町財部604	24-0077

御 坊 市 民 憲 章

私たち 御坊市民は、日高川を母とする豊かな自然の恵みにこたえ、なによりも人権を重んじ、文化を高め、進んで 調和のとれた産業をおこし、紀中の中核都市にふさわしい、生きがいのある 住みよいまちをつくるため、ここに 市民憲章をさだめます。

- 1 自然を守り育て、ごみのないきれいなまちをつくりまします。
- 1 教養を深め、健康で ころろ豊かなくらしにつとめます。
- 1 仕事にはげみ、明るい家庭と職場をきずきます。
- 1 きまりをよく守り、人に迷惑をかけない市民になります。
- 1 たがいに助け合い、御坊へくる人を親切に迎えます。

御 坊 市 歌

- 1. 黒潮晴れて 明け渡る かがやく朝へ 波も鳴れ つばさはばたき 海陸に
りんとふみたつ 御坊市よ ああ このゆくて 栄あれ
- 2. 筏にゆるる 日高川 文化に映ゆる 街あかり 汗と火花を 匂わせて
生むは花さく 御坊市よ ああ 躍進の 力あれ
- 3. みどりの起伏 雲に入る 新たな地平 風通え つなぐこの手に 人の和の
夢もほほえむ 御坊市よ ああ とこしえに 光あれ

統計ごぼう 令和 8 年版 (2 0 2 6 年)

令和 8 年 8 月 吉日 発行

発 行 御坊市
編 集 企画政策部企画政策課
〒644-8686
和歌山県御坊市藺 3 5 0 番地 2
TEL 0738-23-5518 (直)
FAX 0738-24-2121
印刷所 有限会社 隆文社印刷所

